



# 報会剤薬新大

No.308. 2021(令和3年) 5・6・7月号



沖縄県薬剤師会



# ／目／次／

|          |                                                                                                               |         |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|
| 薬剤師綱領    | .....                                                                                                         | ( 1 )   |
| 会長挨拶     | 会長就任あいさつ..... 前濱朋子                                                                                            | ( 2 )   |
|          | 退任のご挨拶..... 亀谷浩昌                                                                                              | ( 3 )   |
| 役員紹介     | 新理事、新監事紹介.....                                                                                                | ( 6 )   |
| 第84回総会   | 第84回定時総会次第・出席者.....                                                                                           | ( 9 )   |
|          | 第84回定時総会概要報告..... 大城喜仁                                                                                        | ( 12 )  |
| 第84回総会資料 | 令和2年度会務並びに事業経過報告および令和2年度決算、その他議題資料.....                                                                       | ( 23 )  |
| 表彰       | 日本薬剤師会有功賞受賞.....                                                                                              | ( 43 )  |
|          | 安富祖勇先生、新垣美恵子先生、伊集俊雄先生、我喜屋宏先生、川武政子先生、<br>金城喜栄先生、玉那覇康三郎先生、渡嘉敷見先生、長嶺義一先生、浜元朝孝先生、<br>森根美智子先生、山内昌彦先生、與座圭子先生、吉田久子先生 |         |
| 災害対策     | 新型コロナウイルスワクチン相談業務対応研修会報告..... 吉田典子                                                                            | ( 44 )  |
| 実務実習     | 令和3年度第Ⅰ期薬学生実務実習報告 ..... 宮城幸枝                                                                                  | ( 46 )  |
|          | 令和3年度第Ⅰ期実務実習薬学生からの体験記・感想 ..... 仲宗根早紀・佐久本佳乃・玉城諒奈・大浦真也・仲村沙羅                                                     | ( 47 )  |
| 学薬部会     | 令和3年度学校薬剤師新人研修会 ..... 玉城和子                                                                                    | ( 50 )  |
| ふれいくたいむ  | ハママーチ（リュウキュウヨモギ）..... 与儀和子                                                                                    | ( 51 )  |
| 女性薬部会    | 令和2年度薬剤師継続学習通信教育講座スクーリング ..... 村田美智子・日高久美子・上原幸代・小野加那恵・宮城幸枝                                                    | ( 52 )  |
| 地区だより    | 一般社団法人那覇地区薬剤師会第8回通常総会 ..... 那覇地区薬剤師会事務局                                                                       | ( 59 )  |
| その他会務報告  | 沖縄戦殉職医療人之碑へ慰霊..... 大城喜仁                                                                                       | ( 60 )  |
| D I      | 薬事情報おきなわNo. 265..... 薬事情報センター                                                                                 | ( 61 )  |
| リレー随筆    | アウトドアサークルで沖縄を満喫..... 柁井亮太                                                                                     | ( 77 )  |
| 薬草学      | 身近な薬草を知ろう 第50回 田イモ：ターム：ターム ..... 狩俣イソ                                                                         | ( 78 )  |
| 薬連だより    | 令和3年度沖縄県薬剤師連盟評議員会報告 ..... 大城喜仁                                                                                | ( 80 )  |
|          | 政幸だより「全国薬剤師フォーラム」「コロナ禍の全国支部訪問」..... 神谷まさゆき                                                                    | ( 82 )  |
|          | 薬剤師の未来を輝かせるために現場の声を..... 神谷政幸                                                                                 | ( 83 )  |
|          | オレンジ日記「5月5日は薬の日」..... 本田顕子                                                                                    | ( 84 )  |
|          | 国会レポート「厚生労働委員会の質疑」「ワクチン開発・生産体制強化の国家戦略」藤井基之                                                                    | ( 85 )  |
| 理事会      | 令和2年度第12回理事会議事概要 ..... 大城喜仁                                                                                   | ( 86 )  |
|          | 令和3年度第1回理事会議事概要.....                                                                                          | ( 96 )  |
| 転載記事     | オキペイ、お薬手帳連携 スマホで調剤予約 沖縄と県薬剤師会.....                                                                            | ( 102 ) |
|          | 「薬学部創設 実現したい」前濱新会長が抱負.....                                                                                    | ( 103 ) |
|          | 次期沖縄振興計画素案（基本施策の要約）.....                                                                                      | ( 104 ) |
|          | 県、薬学部は「必要」 国公立大学に設置望ましい ..... 大城喜仁                                                                            | ( 105 ) |

・表紙

題字：豊平峰雲

「スイスの薬局」photo by 成川玲子（有限会社成和興産）

|         |                                    |            |
|---------|------------------------------------|------------|
|         | 薬学部新設「必要性高い」 複数の国公立大学が候補に .....    | (106)      |
|         | 沖縄初の薬学部設置、具体化へ 開設費用は130億円と試算 ..... | (107)      |
|         | 東風 “裏方” への脚光 .....                 | 吉田洋史 (108) |
|         | 東京五輪 沖縄聖火リレーに会員が希望の火をつなぐ.....      | (109)      |
| ふれいくたいむ | 沖縄戦に思い.....                        | 新垣正次 (110) |
|         | ワクチンに思う.....                       | 池間記世 (110) |
| 職員人事    | 沖縄県薬剤師会職員永年勤続表彰.....               | (111)      |
| 計 報     | 大城知也先生、ご冥福をお祈り申し上げます。 .....        | (111)      |
| 会務報告    | 令和3年4月～5月分 .....                   | (112)      |
|         | 沖縄県薬剤師連盟会務報告（令和3年4月～5月分） .....     | (113)      |
| 会員作品    | 誌上ギャラリー（裏表紙）について.....              | (114)      |
| 編集後記    | .....                              | (114)      |
| お知らせ    | 地区・部会からの原稿をお寄せ下さい！ .....           | (58)       |
|         | 会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について.....      | (111)      |

## 薬剤師綱領

一薬剤師は国から付託された資格に基き、  
医薬品の製造、調剤、供給において、その固有  
の任務を遂行することにより、医薬水準の向  
上に資することを本領とする

一薬剤師は広く薬事衛生をつかさどる専門職  
としてその職能を発揮し、国民の健康増進に  
寄与する社会的責務を担う

一薬剤師はその業務が人の生命健康にかかわる  
ことに深く思いを致し、絶えず薬学、医学の  
成果を吸収して、人類の福祉に貢献するよう  
努める。

日本薬剤師会



## 会長就任あいさつ

第二十代会長  
前濱 朋子



この度、2021年6月20日に開催されました沖縄県薬剤師会第84回定時総会にて、第20代沖縄県薬剤師会会長に就任いたしました。ここに就任のご挨拶を申し上げます。

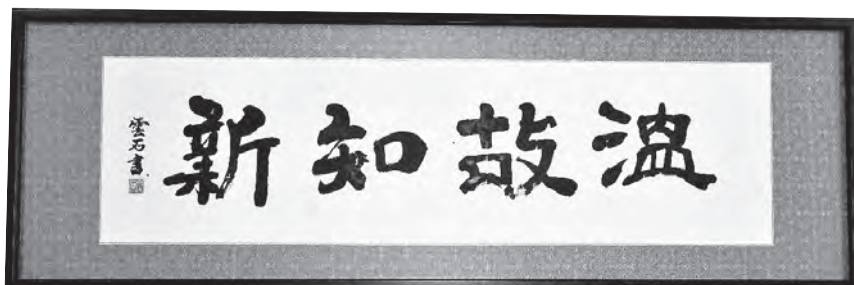
歴代の会長が、医薬分業を推進・発展させ、沖縄県薬剤師会会館を落成するなど、大いなる実績を残されてきました。そして、亀谷浩昌前会長が取り組まれた「沖縄県内の国公立大学への薬学部創設に向けての活動」は、薬剤師のみならず、その署名数の多さからも県民の願いであることを肝に銘じ、この大きな展望を実現させるべく、新役員共々、そして会員の皆様のお力も頂きながら、さらに注力して参る所存でございます。

さて、長引くコロナ禍において、我々薬剤師に求められる業務も拡大してきております。多くの会員が新型コロナウイルス感染症

に係る相談業務やワクチン充填作業の研修を受講し、その知識を活かして、本会館に設置された新型コロナウイルスワクチン接種専門相談センターでは電話相談員として活動し、また、コロナワクチン接種会場では、医師、看護師らに次ぐ力として、ワクチン充填作業や会場の衛生環境の保持に携わっております。県民の皆様のために、市町村や地区医師会と協働してコロナ対策に携わることで、「薬剤師に任せられる」という認識を広め、これが本会の大きな実績へと繋がります。

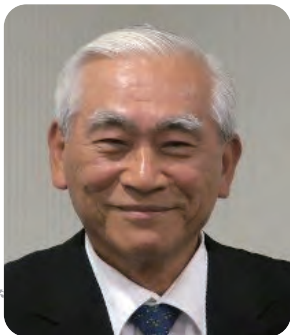
沖縄県薬剤師会の運営の主体は会員の皆様です。先輩方から教えを頂戴し、会員の皆様からの新しいアイディアを取り入れ、会の職員と共に、開かれた会の運営を目指して参りたいと思います。

よろしくお願い申し上げます。



城間雲石 書





## 退任のご挨拶

第十九代会長  
亀谷 浩昌



この度、沖縄県薬剤師会会長を退く事になりました。3期6年間、私を支えて下さった職員、理事、役員の先生方をはじめ、ご支援・ご協力を頂いた行政、議員、薬業界の皆様にご感謝申し上げます。

私は薬剤師という資格を使って、30有余年の大学病院勤務を勤め上げることができました。定年後は、恩恵を受けた薬剤師職能の向上に対し何らかの、私なりの貢献をしたいと考えていました。在職中は病院薬剤師会の事務局に関わり、同時に県薬剤師会の委員会活動にも関わっていました。縁があって、自分の薬局を持たないどころか保険薬局勤務の経験もないまま那覇地区薬剤師会会長を2年、県薬会長を6年勤めることになりました。但し、県薬会長となったからには私なりに全力を尽くそうと考え、定年後に勤めていた福祉施設の薬局薬剤師を辞し、フルタイム勤務の会長として頑張ってきました。

会長の仕事として、一つには、薬剤師の役割・価値を世間に知ってもらうため、いろいろな場面に顔を出して発言することにしました。次に、薬剤師の本分である薬の専門家たるスキル・知識を習得しやすい環境を会員に提供することとしました。この二つが私の会長在任中の大きな目標でした。

その他には、薬剤師不足で日々の運営も綱渡り的な「会営薬局とよみ」の立て直しがありました。さらには別組織のように運営されていた3会営薬局に会としてのガバナンスを確立し、会営薬局を薬剤師会が運営するに足る、会員のお手本となる薬局に変えることで

した。

私の考える会営薬局像はこうです。健全な経営で適切な利益を上げることはもちろんですが、薬局職員は日々の業務を立派にこなしながらも向上心に富み、研究心を育み、各種資格や認定を取得して会員の先導役を果たします。薬局としては日薬の方向性に沿った業態を実現して世間に示します。かかりつけ薬局や健康サポート薬局、在宅業務、投薬後も継続する薬剤師の見守り等です。

会長としては月曜から金曜、9時から18時まで薬剤師会館に詰め、いついかなる来訪者にも対応し、求められる審議会、会議には可能な限り出席しました。事務局職員にも意識改革及び仕事の効率化を求めました。例えば、委員の先生方の指示のままに動くのではなく、薬剤師会の進む方向に委員会の活動を添わせるように先生方をリードする気持ちで事務的支えをするのです。職員によってはこれまでと比べて居心地が多少悪くなったかもしれませんが、この会が会員から頂く貴重な会費によって運営されている以上、いい加減に働くことは許されません。短い会長の任期のうちにできる限りこの会を良くしていこうとの気持ちから、様々なことを実行しました。箇条書き風に思いつくままに書き連ねてみます。

○事務局における土曜日の勤務を廃止し、週休2日制とした。

○事務局のIT対応を進めた。県薬Weeklyニュースの電子配信や県薬ホームページ上での研修会参加申請やアンケート調査が行

えるようになった。現在はWeb会議を十分に活用できる環境の実現に力を入れている。

○勤怠管理システムを会営薬局も含めた会全体に取り入れ、会計の業務を軽減した。このシステムにより職員の出退勤が明確になり、超勤時間の改善につながった。

○人事考課制を取り入れた。職員の業務成績や能力・業務への取り組みに対する意欲を評価し、賃金管理・異動配置・能力開発などさまざまに活用するためである。

○給与規定を改訂した。時代の変化に合わせて今後も改善の余地があると思われる。

○会長の構想の下、会営薬局委員会と事務局主導で会営薬局の運営に当たれるように、会全体の責任者としてのガバナンスを確立した。これにより、個々の薬局間の人的移動を適切に行うことができ、会営薬局とよみの危機的状況の改善にも役立った。会営薬局委員会の構想がスピーディーに現場に反映されやすくなり、理想の会営薬局の実現に邁進できるようになった。また、3会営薬局の薬品購入を一元化し、仕入れ効率を上げることで利益が大幅に向上し、会の財務改善に大きく寄与した。これがもっと早く実現できていたら得られた金額は途方もなく大きくなっていただろうと思うと大いに悔やまれる。ここで記しておかなければならないことがある。この改革の実現に欠かすことができなかった又吉章元事務局長についてである。会長が構想を練り、事務局長が粛々と動いて、大きな山を乗り越えた。そのあとには会営薬局委員会の石川恵市委員長、佐藤雅美副委員長の両君の献身的な働きで細部を調整して改革が実現したのである。又吉章元事務局長無くしてこの改革は実現しなかった。一身上の都合により任期途中で会を去ったが、薬剤師会にとっては将来的にも大きな損失であろう。誠に惜しい人材であった。

○県内薬学部創設を目指して積極的に活動

し、賛同する県民の署名10万筆超を極めて短時間に収集した。政治連盟の活動にも力を入れ、薬学部の県内設置を県知事の公約にして頂いた。与野党両方に働きかけ、県内薬学部の創設に理解を深め、多くの協力を頂いた。その後、県が薬学部創設に関する調査を実施し、県内薬学部の必要性を裏付ける結果が公表された。もうひと頑張りである。

○自民党を中心に政党とのかかわりを深め、薬剤師・薬剤師会が抱える問題の解決に協力を頂けるように活動をしてきた。

○本田あきこ参議院議員の実現に取り組んだ。現在は、次の目標である神谷まさゆき氏の来年参議院選挙での勝利を目指し、連盟活動に取り組んでいる。

○行政薬剤師部会の会員数を飛躍的に増やし、薬剤師会と行政との連携を深めた。

○公的会合では折に触れて薬剤師の職能を説き、薬剤師に対する行政の理解を深めた。最近の県の新型コロナウイルス感染防止対策事業における薬剤師の活用につながっていると思われる。

○医師会との丁寧な付き合いにより相互信頼が深まった。これは目に見えにくいが薬学部創設活動への協力や公的委員会での薬剤師への配慮などから感じられる。我々薬剤師の積年の目標である完全分業は、国民の支持はもちろんであるが、医療のリーダーである医師会の理解なくしてあり得ない。今後も継続的、丁寧な対応が必要である。

○新沖縄県立八重山病院敷地内薬局を巡る問題には理事会決議に基づいて反対活動を行った。沖縄県病院事業局長の議会答弁において、「病院周辺に保険薬局ができて敷地内薬局の必要性が無くなった時点で終了する」との発言を得た。ただ、敷地内薬局に参入を希望する地元薬剤師もあり、現地での懇談の場で硬い表情を崩さなかった若い薬剤師の姿は今も記憶に残っている。公的には会長として組織の決定に従い動いた



のではあるが、私的には申し訳ない気持ちであった。

○会営薬局とよみの賃借料を20%引き下げた。  
この先も続く賃借料を考えると大幅な経費削減となる。

勝手に思うのですが、自分は明治の時代に光っては消えた江藤新平に似ていると言えはおこがましいでしょうか。江藤は仕事をする上では遠慮なし、同僚への付度をせず、是々非々を貫いて恨まれた。いわば仕事をし過ぎた男です。私も組織としての合理的行動を優先し、近くにいる人間からは不興を買うような場面がありましたが、多くの会員のためになることをしたとの自負はあります。My Wayを貫いた6年間でした。

道半ばで心残りの事もあります。会が主導して進めてきた県内薬学部の新設が今後どうなるのか、そして、琉球大学病院移転に伴う「会営薬局うえはら」の進むべき道や、来年に控える参議院選挙への対応などです。まだまだ薬剤師会の活動の手を緩めることはできません。職員の皆様にはこれからも課題解決の心構えで会の業務にご協力をお願いします。行政や薬業界に関係する皆様方には今後も一般社団法人沖縄県薬剤師会にご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、新執行部の役員や理事の皆様、各委員会の皆様の今後のご活躍に期待して私の退任のご挨拶といたします。



最終勤務日に職員から激励

## 新 理 事 紹 介

①生年 ②出身校 ③勤務先 ④担当職務、地区・職種部会代表



①昭和38年生  
②名城大  
③つる薬局  
④統括

会 長 マエハマ トモコ  
前濱 朋子



①昭和44年生  
②北海道大  
③琉球大学医学部  
附属病院  
④学術研修

副会長 ナカムラ カツノリ  
中村 克徳



①昭和25年生  
②九州大  
③うちどまり薬局  
④女性薬剤師  
部会代表

副会長 ムラタ ミチコ  
村田 美智子



①昭和47年生  
②北陸大  
③ミント薬局  
④財務

副会長 カワミツ ナオキ  
川満 直紀



①昭和39年生  
②熊本大  
③那覇市立病院  
④病院薬剤師部会  
代表

常務理事 キンジョウ ユウイチ  
金城 雄一



①昭和38年生  
②第一薬科大  
③(株)薬正堂・  
すこやか薬局  
グループ  
④薬学生実務実習  
受入

常務理事 サトウ マサミ  
佐藤 雅美



①昭和38年生  
②名城大  
③(株)沖縄健康  
企画  
④医療保険

常務理事 ミヤギ ユキエ  
宮城 幸枝



①昭和45年生  
②第一薬科大  
③ヴァインドラッグ  
あがり浜薬局  
④地域保健・  
那覇地区代表

常務理事 モリモト ナオヤ  
盛本 直也



①昭和56年生  
②摂南大  
③そうごう薬局  
④医療分業

常務理事 ニシカワ ユタカ  
西川 裕

(新)



①昭和51年生  
②北海道医療大  
③病院前薬局  
④北部地区代表

理 事 アサヌマ ケンイチ  
浅沼 健一



# 新 理 事 紹 介

①生年 ②出身校 ③勤務先 ④担当職務、地区・職種部会代表

|                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                                              |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(新)</p>  <p>理 事<br/>イシカワ ケイイチ<br/>石川 恵市</p> <p>①昭和50年生<br/>②北海道医療大<br/>③とくりん薬局<br/>比屋根店<br/>④中部地区代表<br/>会営薬局・広報</p> | <p>(新)</p>  <p>理 事<br/>ナカ ノリカツ<br/>名嘉 紀勝</p> <p>①昭和52年生<br/>②第一薬科大<br/>③西崎病院<br/>④南部地区代表</p>                               |
|  <p>理 事<br/>コウチ ヨシノブ<br/>幸地 良信</p> <p>①昭和36年生<br/>②第一薬科大<br/>③幸地薬局<br/>④八重山地区代表</p>                                    |  <p>理 事<br/>コジャ マサキ<br/>古謝 真己</p> <p>①昭和45年生<br/>②北海道医療大<br/>③コジャ薬局<br/>東店<br/>④宮古地区代表</p>                                 |
| <p>(新)</p>  <p>理 事<br/>アベ ヨシノリ<br/>阿部 義則</p> <p>①昭和32年生<br/>②昭和薬科大<br/>③沖縄肢体<br/>不自由児協会<br/>④行政薬剤師<br/>部会代表</p>      | <p>(新)</p>  <p>理 事<br/>ヒメノ コウイチ<br/>姫野 耕一</p> <p>①昭和40年生<br/>②第一薬科大<br/>③大浜第一病院<br/>④災害対策担当</p>                          |
|  <p>理 事<br/>シマブクロ<br/>島袋 さゆり</p> <p>①昭和37年生<br/>②北里大<br/>③(株)スズケン沖縄<br/>薬品<br/>④卸勤務薬剤師<br/>部会代表</p>                  | <p>(新)</p>  <p>理 事<br/>ヨシダ ノリコ<br/>吉田 典子</p> <p>①昭和38年生<br/>②名城大<br/>③沖縄県薬剤師会<br/>薬事情報センター<br/>④医療安全対策・<br/>薬事情報センター</p> |
|  <p>理 事<br/>チナ ヒロキ<br/>知名 博樹</p> <p>①昭和53年生<br/>②名城大<br/>③サンアイ薬品<br/>④学校薬剤師部会<br/>代表・試験検査<br/>センター</p>               |  <p>理 事<br/>ウエハラ タクロウ<br/>上原 卓朗</p> <p>①昭和57年生<br/>②名城大<br/>③あなたの<br/>かかりつけ薬局<br/>④青年薬剤師部会<br/>代表</p>                    |

## 新 監 事 紹 介

①生年 ②出身校 ③勤務先



エナツ 江夏  
キョウコ 京子

①昭和24年生  
②名城大  
③あかみち薬局

(新)



ヤマザト 山里  
イサム 勇

①昭和24年生  
②名城大  
③(株)ダイコー沖縄

ご退任されました役員の先生方、お疲れ様でした！

亀谷 浩昌会長      神谷 朝雄監事      吉田 洋史理事  
新垣 秀幸理事      笠原 大吾理事      友寄 安彦理事      中尾 滋久理事



退任役員

左より、友寄安彦理事、吉田洋史理事、亀谷浩昌会長、新垣秀幸理事、中尾滋久理事



旧役員で記念撮影



＜第84回定時総会次第＞

- 物故会員への黙祷
- 開会の辞
- 議長・副議長登壇挨拶  
(点呼・宣告)

- 日程説明
- 会長あいさつ

- 報告 第1号 令和2年度会務並びに事業経過報告
- 第2号 令和2年度会務並びに会計監査報告

- 議案 第1号 令和2年度決算承認の件
- 第2号 一般社団法人沖縄県薬剤師会監事選挙について

- 選挙管理委員会委員長 野崎 真 敏
- 第3号 一般社団法人沖縄県薬剤師会理事選出承認の件について
- 会長候補者 前濱 朋 子

- 地区薬剤師会代表質問

順番：①南部地区 ②北部地区 ③八重山地区 ④那覇地区 ⑤中部地区 ⑥宮古地区

- 一般関連質問

- 採 決 (議案第1号～3号の採決)

- 閉会の辞

司会 常務理事 西 川 裕

副 会 長 中 村 克 徳

議 長 名 嘉 紀 勝

副 議 長 新 垣 慶 朗

常務理事 村 田 美智子

会 長 亀 谷 浩 昌

常務理事 佐 藤 雅 美

監 事 神 谷 朝 雄

理 事 川 満 直 紀

選挙管理委員会委員長 野崎 真 敏

会長候補者 前濱 朋 子

常務理事 金 城 雄 一

〔第84回定時総会出席者〕

敬称略

＜理事・監事＞

- |                 |                  |                 |
|-----------------|------------------|-----------------|
| ○亀谷 浩昌 (会長)     | ○中村 克徳 (副会長)     | ○宮城 幸枝 (常務理事)   |
| ○村田美智子 (常務理事)   | ○金城 雄一 (常務理事)    | ○佐藤 雅美 (常務理事)   |
| ○西川 裕 (常務理事)    | ○前濱 朋子 (組織強化担当)  | ○川満 直紀 (財務担当)   |
| ○友寄 安彦 (北部地区代表) | ○盛本 直也 (那覇地区代表)  | ○新垣 秀幸 (南部地区代表) |
| ○古謝 真己 (宮古地区代表) | ○幸地 良信 (八重山地区代表) | ○島袋さゆり (卸部会代表)  |
| ○中尾 滋久 (医療安全担当) | ○吉田 洋史 (災害対策担当)  | ○知名 博樹 (学薬部会代表) |
| ○上原 卓朗 (青年部会代表) | ○神谷 朝雄 (監事)      | ○江夏 京子 (監事)     |

＜代議員＞

- |                |                  |                |
|----------------|------------------|----------------|
| ○玉城 純 (名護支部)   | ○新垣 紀子 (首里支部)    | ※大城 博次 (浦添支部)  |
| ※西坂 順 (名護支部)   | ※上間 祥子 (首里支部)    | ※杉山 英司 (浦添支部)  |
| ※屋嘉比康作 (名護支部)  | ※大塚成一郎 (首里支部)    | ※武富 弘記 (浦添支部)  |
| ※江夏 恭範 (うるま支部) | ※磯 昭子 (那覇東支部)    | ※日高久美子 (浦添支部)  |
| ※徳嶺 恵子 (うるま支部) | ※上原美沙子 (那覇東支部)   | ※宮城 友寛 (浦添支部)  |
| ○福地 健治 (うるま支部) | ※仲宗根かおり (那覇東支部)  | ※伊敷松太郎 (糸満支部)  |
| ※阿嘉 秀寅 (沖縄支部)  | ※備瀬 紀子 (那覇東支部)   | ※小湾 勝敏 (糸満支部)  |
| ○石川 恵市 (沖縄支部)  | ※又吉 晴美 (那覇東支部)   | ☆名嘉 紀勝 (糸満支部)  |
| ※鈴木 直志 (沖縄支部)  | ※諸見川裕子 (那覇東支部)   | ※松本 圭五 (糸満支部)  |
| ※玉城 武範 (沖縄支部)  | ※狩俣 イソ (那覇北支部)   | ※兼城 崇 (南風原支部)  |
| ※仲間 聖 (沖縄支部)   | ※平良 博文 (那覇北支部)   | ※川上雄一朗 (南風原支部) |
| ※普久原 隆 (沖縄支部)  | ○枅井 亮太 (那覇北支部)   | ※川上 善久 (南風原支部) |
| ※諸見里めぐみ (沖縄支部) | ○阿部 義則 (那覇中央支部)  | ○城間 盛伸 (南風原支部) |
| ※藤原 明人 (嘉手納支部) | ※我喜屋智香子 (那覇中央支部) | ○知念 大輔 (南風原支部) |
| ◎新垣 慶朗 (宜野湾支部) | ※小湾 喜彦 (那覇中央支部)  | ※下地 仁 (平良支部)   |
| ※新川 祥平 (宜野湾支部) | ※國吉 直子 (小禄支部)    | ※新嵩 由香 (石垣支部)  |
| ※仲座 方利 (宜野湾支部) | ※又吉智賀子 (小禄支部)    |                |

☆：議長 ◎：副議長 ○：現地出席 ※議長へ委任 (書面による議決権行使)

〔第84回定時総会スナッフ写真〕



開会の辞  
中村克徳 副会長



議長：名嘉紀勝代議員（左） 副議長：新垣慶朗代議員（右）



会長あいさつ  
亀谷浩昌 会長



日程説明  
村田美智子 常務理事



報告第1号  
佐藤雅美 常務理事



報告第2号  
神谷朝雄 監事



議案第1号  
川満直紀 理事



議案第2号  
野崎真敏 選挙管理委員長



議案第3号  
前濱朋子 会長候補者



監事立候補所信表明  
江夏京子 監事立候補者



監事立候補所信表明  
山里 勇 監事立候補者



< 地区薬剤師会代表質問 >



知念大輔 南風原支部代議員  
(南部地区代表)



玉城 純 名護支部代議員  
(北部地区代表)



柊井亮太 那覇北支部代議員  
(那覇地区代表)



福地健治 うるま支部代議員  
(中部地区代表)



西川 裕 常務理事  
研修シラバス・認定薬局制度  
関連質問答弁



吉田洋史 理事  
新型コロナウイルス感染症  
対策関連質問答弁



宮城幸枝 常務理事  
0401対応・公費負担医療  
の取扱い関連質問答弁



金城雄一 常務理事  
基幹病院の疑義照会  
プロトコル統一関連質問答弁



物故会員へ黙祷

## 第84回総会

## 第84回定時総会概要報告

日時：令和3年6月20日（日）13:35～15:40

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

司会の西川裕常務理事の進行で定時総会を開催する旨の案内が定刻より少し遅れて午後1時35分にアナウンスされ開会した。

コロナ禍における今回の開催の取り扱いは、当然のごとく、県外往来、海外渡航者、感染者への濃厚接触者、発熱や風邪症状がある、体調に不安がある場合等は、参加の自粛を要請、また、参加に際しては、マスク着用や手指消毒等の感染予防を心掛け、濃厚接触を避けていただくこととし、どうしても出席を避けたい、他事由により出席できない場合は、本会定款第19条の「議決権の代理行使」を行使するよう案内していた。しかし、その後、沖縄県は緊急事態宣言を受け、本日の定時総会も緊急事態宣言下となっていることから、去る6月12日開催の本会理事会にて改めて開催について協議した結果、できるだけ参加人数を削減すること、時間短縮をすることで決議された。これらの事情を理解いただき、極力、「議決権の代理行使」を行使いただき、地区薬剤師会代表質問をする代議員や特段の質疑がある代議員を除いて、来場を控えていただくようお願いしたところ、50名の代議員の内、本日欠席の代議員40名が「議決権の代理行使」を行使し、議長に議決権を委任するとの書面を提出されていることが述べられた。

開会挨拶の前に、会員物故者13名（澤野祐一、島田博光、眞栄城玄一、神里よし子、上原正徳、玉山善正、大城トシ子、我部政男、金城清、糸数和子、宮城初枝、仲吉文男、大城知也）の先生方のご冥福を祈るため、起立黙祷した。

中村克徳副会長が、第84回定時総会開会を告げた。

定款第15条の規定により、議長、副議長を選出。議長は糸満支部の名嘉紀勝代議員、副議長に宜野湾支部の新垣慶朗代議員が選出された。村田美智子常務理事が、同会の日程及び議題の審議について説明し、亀谷浩昌会長が挨拶した。

### <報告第1号 令和2年度会務並びに事業経過報告>

佐藤雅美常務理事が、(1) 会員・薬局等の業態現況報告、(2) 会議等の開催状況、(3) 講演会・研修会等の開催状況、(4) 公的機関等の会議・公的活動、(5) 各種委員会等の開催状況、(6) 公的機関への協力、(7) 地区・支部活動について、配付資料に基づき端的に報告した。続けて、本会の令和2年度事業経過報告（沖縄県内の国公立大学への薬学部創設に向けての活動、医薬分業対策、生涯学習、医療安全対策、医療保険、地域保健、健康サポート薬局推進、薬学生実務実習受入、災害支援対応、各部会活動、薬と健康の週間行事、日本薬剤師研修センター認定研修会の受講状況、試験検査センター事業、薬事情報センター事業）を、配布資料に基づき主な事項を具体的に報告した。

### <報告第2号 令和2年度会務並びに会計監査報告>

神谷朝雄監事が次のとおり報告した。

定款第26条に基づいて、令和3年5月7日に江夏京子監事と共に行った一般社団法人沖縄薬剤師会の令和2年4月1日から令和3年3月31日までの令和2年度における会計及び業務の監査実施に基づ



く監査報告書（添付資料）を読み上げて監査報告とした。

#### 1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

#### 2. 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表等は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財産状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正行為、又は法令、もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

### ＜議案第1号 令和2年度決算承認の件＞

川満直紀理事より、概ね分かり易く纏められた比較正味財産増減計算書を基に説明することが述べられた。法人全体の合算で貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録の大科目について順次説明し、公益事業にあたる実施事業等会計、共益事業にあたるその他会計（会営薬局うえはら・会営薬局とよみ等）、薬剤師会本体の管理にあたる法人会計に仕訳された合算内訳について、順次説明した。

また、令和2年度は会館設立より12年経過していることから、外壁の防水や全塗装を含むメンテナンス工事で多額の費用を計上した。コロナ禍による3会営薬局の収入減も相まって、財務面にも影響を及ぼす形となったが、卸会社との薬価交渉窓口を一本化することで、例年以上の薬価差益を計上し、会全体の利益を引き上げる要因となったことも説明した。

### ＜議案第2号 一般社団法人沖縄県薬剤師会監事選挙の件＞

名嘉紀勝議長が、監事立候補者が配付資料に掲載されている立候補一覧表のとおりであることを述べ、野崎真敏選挙管理委員長を入場させ、経緯説明等をするよう求めた。

野崎真敏選挙管理委員長は次のとおり述べた。「去る3月15日に亀谷浩昌会長名で今回の選挙の公示をした。これは、「一般社団法人沖縄県薬剤師会会長候補者及び監事選挙規則」、「同施行細則」により、本で行われる監事を決定するための選挙である。去る3月13日に開催した本会定例理事会において、同選挙の公示日ならびに選挙期日等を決定し、本会ホームページ等に当該選挙に関する公示およびスケジュールを掲載した。この公示に基づき、6月4日の午後5時を以て候補者の届け出を締め切り、同選挙規則第6条により候補者一覧表を本会事務所に掲示した。立候補者は、江夏京子氏、山里 勇氏の二人から届け出があった。届け出に不備は無く、多くの推薦を得てこれを承諾し立候補の届け出をされている。このあと執行される監事選挙については、立候補者数が員数を超していないので、選挙規則第9条に則って、本日の定時総会に出席とみなされた代議員の議決を経て、投票を行わずに、その候補者をもって当選者としていただきたい。」

新垣慶朗副議長より、選挙規則施行細則第9条に、「立候補者、被推薦者または推薦者の1名は、所信表明または推薦演説をすることができる。」とあるので、立候補者は所信表明をするよう伝えた。副議長の進行により江夏京子氏、山里勇氏の順で所信表明をした。副議長より、選出については、後の採決の際に行うことが告げられた。

### ＜議案第3号 一般社団法人沖縄県薬剤師会理事選出の件＞

前濱朋子会長候補者が、6地区薬剤師会および6部会からの代表が選出されてきていること、残りの7名は本会の主要職の専任として指名した旨の説明をした。新理事候補者名簿を資料として提示しているので承認を頂きたいと述べた。

休憩を挟み、再び議長と副議長が登壇して質疑応答の時間に入った。質疑応答は、前半に地区薬剤師会代表質問、後半に一般関連質問という構成である。地区薬剤師会代表質問の順番は去る4月の定例理事会にて地区代表理事によるクジ引きにより決定されたこと、1地区あたりの代表質問は去る5月の定例理事会で質疑応答を含め7分と決定したこと、また、時間超過で質問できなかった事項に関しては一般関連質問の際に質疑応答の時間を設けることが、議長より説明された。

代表質問は、6地区薬剤師会から選出された代議員が、

- ①南部地区薬剤師会 （南風原支部：知念大輔代議員）
- ②北部地区薬剤師会 （名護支部：玉城 純代議員）
- ③八重山地区薬剤師会 （石垣支部：新嵩由香代議員）
- ④那覇地区薬剤師会 （那覇北支部：柗井亮太代議員）
- ⑤中部地区薬剤師会 （うるま支部：福地健治代議員）
- ⑥宮古地区薬剤師会 （平良支部：下地 仁代議員）

の順で行い、これらの質問に対し各担当理事が順次答弁した。ただし、質問順番③の八重山地区薬剤師会と質問順番⑥の宮古地区薬剤師会の代表質問をする代議員が欠席のため、代わりに副議長が質問を読み上げて、担当理事が答弁した。

### 地区薬剤師会代表質問

#### ＜南部地区薬剤師会＞

#### 知念大輔代議員 質問①

令和3年8月1日施行の薬機法等の一部改正に伴う地域連携薬局と専門医療機関連携薬局について、沖縄県薬剤師会の取り組みや計画があれば教えていただきたい。

#### 西川裕常務理事 答弁

特定の機能を有すると認められる薬局について、都道府県の認定により名称表示を可能とする制度（認定薬局制度）が本年8月1日からスタートする。

一部、都道府県においては6月1日より申請が開始となっているが、現時点で沖縄県では「連携薬局の認定審査」等に関する通知は出しておらず、沖縄県保健医療部衛生薬務課に問い合わせたところ7月下旬から「申請手続を開始する」との返答であった。申請の手続きは、他県と同様に薬局の管轄保健所（保健福祉（環境）事務所）へ認定申請書や添付書類、手数料を納付といった流れになりそうである。

沖縄県薬剤師会の取り組みとしては、地域連携薬局に関するものとして、要件である「無菌製剤処理を実施できる体制の整備」として会営薬局うえはらの共同利用に関わる研修会や「地域包括ケアシステムに関する研修」となる「健康サポート薬局研修」を行ってきた。今年度は、参加申し込み数が増加することが予想され、開催数を増やすことを検討中である。

専門医療機関連携薬局に関するものとして、配置基準となる「がんの専門性を有する薬剤師」



の育成に向けて日本医療薬学会と連携し、実習施設である琉球大学病院と沖縄病院においてマッチングを行っている。昨年度、沖縄県では、地域ケア専門薬剤師のジェネラルに関して7名の暫定認定を受けることができた。しかし、まだ人数としては十分ではないと考え、今年度も、がんの副領域を含めて専門薬剤師の育成に力を入れていきたいと考えている。

## 知念大輔代議員 質問②

日医工、小林化工の営業停止を受けて、一部のナショナルブランド、ジェネリック医薬品の流通の滞りが顕著に現れ始めている。後発調剤体制加算にも影響するので、メーカー、卸へ遺憾表明できないか。

## 西川裕常務理事 答弁

小林化工や日医工の問題によりジェネリック医薬品への信頼が失われ、会員には大変な混乱と不安が生じていると認識している。これまでに、沖縄県薬剤師会では、当該企業の沖縄営業担当者へ、本会会員への謝罪ならびに本会薬事情報センターへの情報提供の遅滞を指摘するとともに、遺憾表明を行った。その上で、会員にホームページ上で情報提供を行ってきた。また、日本薬剤師会の対応は、業務停止の処分に至った事態を再度招来せぬよう、製造手順や製品の品質に関する確認等を入念に行うこと、供給遅延により必要な患者の薬物治療に支障が生じることのないよう、適切な代替品の確保並びに、当該企業のホームページはもとより、書面で医療機関等に周知する等、あらゆる手段をもって該当製品のリストや代替品に関する情報等の周知徹底策を講ずるよう、当該企業に申し入れを行った。

本件については、医療上の必要性や他の薬剤への代替性の困難さなどを踏まえ優先順位を付け、日本薬剤師会と連携し、国の関係省庁や製薬メーカーなどに適切な対応を要請していく考えである。

## <北部地区薬剤師会>

### 玉城純代議員 質問

コロナ禍で研修会の実施が減少し、日本薬剤師研修センター認定単位の取得が難しくなっている。WEB形式の研修会もあるが、その中には当該センター認定の基準を満たさず単位が付与されない研修会も増えているため、沖縄県薬剤師会からメーカーに対して、当該センター認定単位が取得できる研修会の企画開催を促してほしい。

また、パソコンやスマートフォン等を使いこなせないため、WEB研修会も参加出来ない会員が一定数いることから、そのフォローも検討して頂きたい。

## 中村克徳副会長 答弁

沖縄県病院薬剤師会へ共催依頼が来た際は、その都度研修センターの単位が付与されるように要請している。近年、メーカーも予算の都合のため主催する研修会は減少傾向にあり、コロナ禍で益々減少している。(平成30年度：85件、令和元年：79件、令和2年：22件)

WEB研修会の単位付与はコロナ禍における日本薬剤師研修センターの特例措置であり、適用されたのが令和2年8月からであった。メーカーに周知した11月以降には多くの単位付与の研修会が開催されている。WEB研修会は会場費等のコストが削減できるため、今後の主流になると考えられる。

また、本会主催の研修会では、現地とWEBのハイブリッド開催をしているが、WEB受講率が高く、現地では多くの空席がみられる。パソコン等を使いこなせない方へは、現地受講を案内している。WEB研修会開催当初は、使用方法の問い合わせが多数寄せられたが、現在はほとんどない。

なお、JPALS（ジェイパルス）クリニカルリーダーも本会会員は無料で、認定シールがなくても申請できるので活用していただきたい。

### <八重山地区薬剤師会>

#### 新嵩由香代議員 質問①（代弁：新垣慶朗副議長）

沖縄県薬剤師会へ依頼していた八重山地区でのコロナワクチン希釈・充てん講習会は沖縄県立八重山病院薬剤部の協力の下、5月17日に無事終了することができた。しかしながら、使用器材や講師の人数の兼ね合いもあり、8名限定での参加であった。コロナワクチン接種は長期戦が強いられるかと思うので、八重山地区において協力できる人数確保のためにも継続的な開催をお願いしたい。

#### 吉田洋史理事 答弁

5月の研修会は本会から講師派遣をすることが困難であったため、沖縄県立八重山病院に依頼して開催していただいた。その後、特に開催要望の話が無く、第4回の募集をFAX一斉同報で全県に送信したところ4名の八重山地区の会員から申し込みがあった。しかし、八重山地区での開催と勘違いしていたとして参加辞退の申し出があった。その後、八重山地区薬剤師会の荒谷敏巳会長と相談して現地開催の日程調整を行ったが緊急事態宣言下のため会場が確保できないとして保留になっている。時機をみて開催を調整したい。

#### 新嵩由香代議員 質問②（代弁：新垣慶朗副議長）

緊急事態宣言や蔓延防止措置中に、業務により当該地域への渡航など感染予防にPCR検査等の実施を余儀なくされる場合がある。また、コロナワクチン希釈・充填作業における離島への派遣も今後想定されるため、感染拡大防止への観点からPCR検査補助をお願いしたい。

#### 吉田洋史理事 答弁

現在、那覇、宮古、下地島、新石垣の各空港ではPCR検査を希望で受けられる。検査料金は、県内在住者は3千円、県外在住者は5千円となっている。本島には民間のセンターもある。病院やクリニック、薬局でも検査を受け付けている施設もある。本会からの補助というより、県から薬剤師への補助が出せないか相談していく。

#### 新嵩由香代議員 質問③（代弁：新垣慶朗副議長）

一部の大手薬局においては、郵便局や配送業者と連携して処方医薬品の配送を開始している所もある。0410対応により、オンライン診療から処方医薬品配送という接触を避けるための一連の流れが加速していくことが予想される。

沖縄県薬剤師会は今後、処方医薬品の配送について小規模薬局への支援や配送業者との提携の考えや計画があればお聞かせいただきたい。

## 宮城幸枝常務理事 答弁

0410対応について、令和2年度補正予算による「薬局における薬剤交付支援事業」については、令和3年3月31日付けで厚生労働大臣より都道府県薬剤師会に対し事業の延長が通知されたところである。令和3年度版の主なポイントは、①0410 対応の場合の患者負担金額を200円から100円に変更、②本年度事業は令和3年4月1日以降の配送を対象として実施する、等になる。引き続き活用していただきたい。

また、オンライン服薬指導における薬剤の配送料は自費となる。各薬局において個別の対応をしていただきたい。

## 新嵩由香代議員 質問④（代弁：新垣慶朗副議長）

昨年度、コロナウイルス感染拡大により賛助会員B会費の3か月分免除が実施された。今年度も、コロナ禍の影響を受け経営状況はかなり落ち込み、経営回復には時間がかかることと思う。昨年度に引き続き、会費などの免除についてはお考えか。

## 川満直紀理事 答弁

令和2年度は、賛助会員B会費の3ヶ月免除があり、例年と比べて会費収入が約1,000万円減少した。

沖縄県全体の処方せん発行枚数について、社会保険診療報酬支払基金沖縄支部と沖縄県国民健康保険団体連合会からの資料に基づき令和元年度と比較すると、処方せん発行枚数が約15%減少している。ご周知の通り、賛助会員B会費は前年度の処方せん受付回数で納付金額を算定するため、今年度、会費収入が減少することは明らかであり、免除のあった昨年と同等かそれ以上の減収が予想される。以上のことから、2月の財務委員会において、令和3年度は会費の免除等を行わず毎月徴収していくことが提案され、3月の理事会で協議した結果、全会一致で承認されている。

しかしながら、コロナ禍で沖縄県全体の薬局で収益が減少していることは充分理解しているため、前年度を上回るような処方せん発行枚数の減少が続く場合は、免除等の救済措置に関して理事会で協議していくので、引き続き委任していただきたい。

## <那覇地区薬剤師会>

### 栢井亮太代議員 質問①

コロナ禍の影響や後発品回収が多く代替品の手配が難しくなっている。出荷調整品が多く、薬を探すのに時間がかかってしまうため、不動態在庫・備蓄ネットワークシステムの復活を検討していただきたい。

## 西川裕常務理事 答弁

現在コロナの影響で取り扱う医薬品品目が増え、長期処方に対応するために備蓄数量も増加している状況になっていると承知している。そんな中、小林化工などの問題により、処方を受けても卸から取り扱える医薬品に制限がかかり、代替品の手配も難しくなり、苦勞されているかと思われる。不動態在庫・備蓄ネットワークに関する質問は今年度で3回目になる。昨年度の質問の際には、次年度以降に予算化できるか、担当委員会である医薬分業対策委員会などで検討するとして、それまでは、現在、本会が推奨している「薬VAN」という無料サービスの不動態在庫システムを小分けなどに活用していただくこととしていたが、質問があった5月末日までに医薬分業対策



委員会で検討を行えてなかった。

備蓄ネットワークは、沖縄県の場合、離島も多く、沖縄本島に1か所ではなく、地域単位、例えば宮古・八重山・北部などにそれぞれ不動産在庫システムが構築されているのがふさわしい姿であるとする。沖縄県薬剤師会としては、地域における備蓄ネットワークシステム構築を応援したいと考えている。県の補助金などを活用できるかなど検討し、地区薬剤師会と協働して備蓄ネットワーク構築に努めていく。

## 栢井亮太代議員 質問②

病院毎に疑義照会プロトコルの内容が違いため、基幹病院のプロトコルを統一できないか検討してもらいたい。

## 金城雄一常務理事 答弁

処方箋における疑義照会プロトコルについて、日本医療薬学会がプロトコルに基づく薬物治療管理導入マニュアルを平成28年に発出した。そこには、医療機関がプロトコルを作成するにあたり、地域における職能団体に対し、「薬担規則に抵触している」と誤解されないような配慮が必要であると記載されている。これまで、プロトコル作成にあたり、職能団体である薬剤師会は介入をしていなかった。今後、新規に医療機関においてプロトコルを作成する際は、この導入マニュアルの文言を根拠に、薬剤師会にもプロトコルの内容を確認してもらうように呼びかけ、プロトコルの作成に地区薬剤師会が参画できるように働きかけていきたいと考える。こうして、薬剤師会が医療機関のプロトコル作成に関与することにより、他の医療機関などと共通したプロトコルの内容になるよう提案していくことが有効だと思われる。

また、現在、沖縄県病院薬剤師会においてもモデルとなるプロトコルの内容等について検討を始めるところである。今後、プロトコルの作成について、地区薬剤師会へ参画を図ることの理解と協力をお願いする。

## <中部地区薬剤師会>

### 福地健治代議員 質問①

沖縄県医師会・各地区医師会等からワクチン接種事業への協力要請があるが、実際の薬剤師派遣実績はどのようになっているか。(薬剤師に係わる具体的な作業内容・トラブル等はないか) 今後、全県からの協力要請に沖縄県薬剤師会として対応可能か。

現場では、薬剤師2人体制で希釈・充填作業をダブルチェックする事が理想と考えられるが、各自治体で統一は難しいと思われる。沖縄県薬剤師会として基本となるマニュアルを作成し、我々会員が何処に派遣されても、最低限同じ作業が担保される仕組みはできないか。(経験が浅いと充填時の気泡混入等、不安が多い)

また、研修を受けた薬剤師が派遣される際の薬局への薬剤師派遣も考慮できないか。

## 吉田洋史理事 答弁

ワクチン接種は市町村単位での事業になっている。対応が困難なところは広域で地区医師会と連携して対応している。離島など地域で対応が困難な場合は沖縄県が中心となり集団接種を行っている。地区薬剤師会には市町村や地区医師会から協力要請がきているかと思うが、沖縄県薬剤師会ではすべてを把握していない。地区薬剤師会から沖縄県薬剤師会に相談があったところ、沖

沖縄県薬剤師会に直接相談があったところは派遣している。充填作業に係る研修会を受講してもらった方を派遣している。また5月はワクチン接種2回目を終えていないこともあり、病院薬剤師会へ協力いただき、座間味、渡嘉敷、北大東、南大東、与那国、石垣本島へ派遣。6月も2回目の接種などで引き続き離島対応を継続中。

また、6月1日からは那覇市医師会から高齢者施設での巡回接種にも薬剤師の協力依頼があり、平日の午前と午後に1名ずつ派遣している。6月15日からの大規模接種会場への薬剤師協力依頼が沖縄県医師会からきて対応している。具体的な内容はワクチンの運搬、解凍、希釈、充填、接種する看護師の作業補助、薬やワクチンに対する質問など現場で臨機応変に活動している。現場にあるアルコール濃度が低かったり、グローブの材質がよくなかったり、6本取れるところ5本しか取れなかった等はあるが、今のところ大きなトラブルはない。今後も協力依頼があれば病薬とも連携してできる限り対応していく。

基本的には現場近くの薬剤師に応援に行ってもらいたいので各地区でも対応できそうな薬剤師の掘り起こし声掛けをお願いしたい。県薬としてのマニュアル作成は各種資料のアップデートの頻度が高いため煩雑になるので作成する予定はない。研修会で紹介した資料を熟読していただくことで対応は十分可能と考えている。手技に関しては研修会でもお伝えしたように30バイアル程の練習で対応できると思う。ご存じのように薬剤師不足の本県では手配が難しい状況である。

#### 福地健治代議員 質問②

新琉球大学病院敷地内への移転を中止にしたが、今後の会営薬局の在り方をどう考えているか。

#### 亀谷浩昌会長 答弁

会営薬局からの利益は会の運営に大きく影響することは明らかである。「会営薬局とよみ」や「会営薬局うえはら」の現状及び将来の見込みは楽観を許さない。3会営薬局の薬品購入一本化により利益が大幅に向上したが、これも会営薬局があればこそその利益である。

「会営薬局とよみ」については、健康サポート薬局への進化を計り、在宅関連やかかりつけ薬剤師指導料・包括管理料などの調剤報酬の獲得やOTC薬及び健康関連商品の販売増を図り、収益の改善に努める。

「会営薬局うえはら」については、琉球大学病院敷地内への参入を諦めたが、敷地外の開局適地を探して薬局の存続を図るべきと考える。今後、本会としては定款を変更し、不動産を扱えるようにして、戦略的に適地を確保し、琉球大学病院の開院に備えるべきと考える。

#### 福地健治代議員 質問③

去る6月2日付け地元紙に沖縄県内大学への薬学部設置の可能性や必要性を探る沖縄県の令和2年度調査が紹介されていたが、沖縄県薬剤師会としての今後の展望や手応えはどうか。

#### 亀谷浩昌会長 答弁

令和4年度から令和13年度の今後10年間の沖縄振興計画の素案に「県内国公立薬学部設置など、総合的な薬剤師確保に取り組む」と記載されている。また、沖縄県による沖縄県内薬学部創設に関する調査結果が、沖縄県内薬学部設置の必要有りとなった。加えて、政府の地方創生政策によって、これまで無理と言われていた琉球大学の定員増の可能性が開けた。薬剤師会が先頭に立って薬学部創設活動に取り組んできた成果と考えている。

今後は、沖縄県や琉球大学が主体性をもって誘致活動に入るように働きかけることが重要との認識をもって活動していく。

#### 福地健治代議員 質問④

地域薬学ケア専門薬剤師（一般および副領域：がん）の育成はどう考えているか。また、基幹病院の指導薬剤師の増員も必須と考えるが、県薬で費用負担する等して取得してもらうことは可能か。

#### 中村克徳副会長 答弁

病薬（病院薬剤部）においても対応に苦慮している問題である。がん専門・指導薬剤師取得へのハードルは非常に高く、取得を希望する若い薬剤師も減少しており、また既に取得した専門資格を更新するのも困難になってきているのが現状である。

費用負担の件については、研修施設での実習に参加することへの補助や、大学病院においては寄付講座の設置が考えられる。今後、財務委員会などとも話し合って沖縄県などからの公的資金の導入も検討していきたい。

#### <宮古地区薬剤師会>

#### 下地仁代議員 質問①（代弁：新垣慶朗副議長）

コロナワクチン接種に関して各自治体から「ワクチン希釈」「シリンジへの充填」など、これまで薬局薬剤師として日常殆ど経験の無い協力が求められている。幸いにして、宮古地区は沖縄県立宮古病院薬局の協力を得て、「ワクチン希釈」「シリンジ充填」の研修を行う事ができたが、地区によっては研修の機会を得る事が困難な状況もあるかと思う。他の都道府県薬剤師会によっては、「WEB配信」などを積極的に行い、これまでにない研修活動を展開している。沖縄県薬剤師会としても今後、研修活動を模索する必要があるかと思う。また、このコロナ禍を機会に薬剤師の役割も変わっていくかを感じる。沖縄県薬剤師会としてどうお考えか。

#### 吉田洋史理事 答弁

災害対策委員会ではこれまでに5回のワクチン充填作業に係る研修会を開催し、132名の参加があった。広く久米島や北部からの参加もあった。WEBでの研修会も検討したが、手技に関しては実地研修が必要と判断した。実際、会場では初めて作業する方から、実技をしながらの質問も多く、WEBでは伝えづらいと感じた。座学の部分に関してはWEBが良いと思った。薬剤師はあらゆる薬に関わっていくということが再確認できたのではないかと思う。そうして、かかりつけ薬剤師、在宅医療も進んでいくのではないかと思った。

#### 下地仁代議員 質問②（代弁：新垣慶朗副議長）

日本薬剤師会の推進する「患者のための薬局ビジョン」に沿って進められている「研修シラバス」であるが、そのプログラムの中の「医療薬学的知識と技能」4項目、「疾病特性に基づく薬学的管理・指導の知識と技能」12項目は地区薬剤師会で行う事になっている。しかし、通常の会活動の中で消化していくにはハードルの高い項目の研修もあるのに加え、「コロナ禍」による各種講習会も軒並み中止になる現状では益々困難となり、このままでは「絵に描いた餅」になってしまう。沖縄県薬剤師会で企画した研修会、各地区薬剤師会で開催される研修会をWEB配信し、これに各人で参加し、履修状況を地区薬剤師会で集計するなどの方法に変更できないか。



## 西川裕常務理事 答弁

「薬剤師のかかりつけ機能強化のための研修シラバス」は、名前の通り薬剤師が対人業務においてその専門性等を発揮し、かかりつけ薬剤師としての役割を果たすために、関係団体・学会等がこのシラバスを共通の指標として、必要な研修機会を提供していくことを期待して作成された。

研修シラバスの内容は、「倫理・社会資源の活用」「医療薬学的知識と技能」「疾病特性に基づく薬学的管理・指導の知識と技能」から構成されており、合計33項目から構成され、3ヵ年で網羅するためには1年に約11項目ずつ行う必要がある。この1年11項目というのをすべて「地区薬剤師会」もしくは「沖縄県薬剤師会」で実施することは難しいだろうということで、分担して実施することで進めてきた。また、現状のコロナ禍においては、講習会の開催は難しい状態であるのは承知している。

そのため、提案の「沖縄県薬剤師会で企画した研修会、各地区薬剤師会で開催される研修会をWEB配信し、これに各人で参加し、履修状況を地区で集計するなどの方法」を6月度の理事会で協議した結果承認されたことをこの場を借りて報告する。今後、具体的な方法については地区会長会議の機会を通して周知徹底していく。

ただし、地区薬剤師会と分担して研修を行う理由は、単に沖縄県薬剤師会だけで実施できないという理由ではなく、地区薬剤師会において「講師役ができる薬剤師を養成すること」や、「地域包括ケアシステムの実現のために、介護との連携も大切であり、地区薬剤師会がハブとなって連携をすすめてほしい」のもある。そのため、コロナ禍が落ち着いた際には、地区薬剤師会においても積極的に開催していくものだと考える。

## 下地仁代議員 質問③（代弁：新垣慶朗副議長）

厚労省通知「新型コロナウイルス感染症に係る公費負担の取り扱いについて」の中で、指定医療機関での受診が困難な場合は他の医療機関でも受診できるとある。これまで指定薬局以外の薬局が自立支援の処方箋を取り扱った事例はあるか。その際、支払基金などと特に問題は生じなかったか。

また、指定医療機関が原則1医療機関1薬局というのは、指定薬局が冠婚葬祭などで休業した場合、患者さんに不都合が生じるなど問題があるかと思うが、どうお考えか。

## 宮城幸枝常務理事 答弁

令和2年3月4日事務連絡「新型コロナウイルス感染症に係る公費負担医療の取扱いについて」による特例的な取扱いとはなっているが、沖縄県福祉保健部地域保健課精神保健班へ問い合わせたところ、実際に指定保険薬局以外での取り扱い事例はあるとのことである。実際に新型コロナウイルスによるものであったかの判断を行っているようだが、現在のところ特に問題は発生していないようである。取扱いに迷った場合は、市町村の担当窓口連絡すれば対応するとのことであった。

同様の質問を、沖縄県子ども生活福祉部障害福祉課地域生活支援班にも行った。改めて厚労省へ問い合わせたようである。「緊急の場合は」というのは、医療機関が閉鎖かつ、役所も閉鎖で対応の手段がない場合のため、ほとんどないとの返答であったが、実際には各市町村窓口が把握をしているとのことであった。

よって、那覇市障害福祉課に同様の問い合わせを行ったところ、この文書の発出以前でも異なる医療機関の場合は、事後的に変更を行っているとの返答であり、新型コロナウイルスであったかどうかはわからないということであった。

原則1医療機関1薬局の指定については、個別的な私見は差し控えさせていただきます。

### 一般関連質問

一般関連質問の時間に入った。同時間は前述の議題及び地区薬剤師会代表質問に関連する質疑応答の時間として設けられている。

議長が、代議員へ質疑を促したが、特に無かったため、一般関連質問を終了した。

#### <採決（議案第1号、第2号、第3号）>

議長が、議案第1号、第2号、第3号を一議案毎に読み上げ、賛成の挙手による承認を求めた。

議案第1号、令和2年決算承認の件について、全員賛成で承認された。

議案第2号、一般社団法人沖縄県薬剤師会監事選挙については、野崎真敏選挙管理委員長から選挙規則第9条第1項に則って、選ぶべき員数を超えていないので、投票を行わずに、その候補者をもって当選者とする事ができるとの説明があったことから、立候補者2名に対して挙手にて当選の承認を求めた。全員賛成の承認を得て、江夏京子氏と山里勇氏が監事に当選した。

議案第3号、一般社団法人沖縄県薬剤師会理事選出承認の件については、浅沼健一氏（北部地区薬剤師会代表）、阿部義則氏（行政薬剤師部会代表）、石川恵市氏（中部地区薬剤師会代表・会営薬局担当・広報担当）、上原卓朗氏（青年薬剤師部会代表）、川満直紀氏（財務担当）、金城雄一氏（病院薬剤師部会代表）、幸地良信氏（八重山地区薬剤師会代表）、古謝真己氏（宮古地区薬剤師会代表）、佐藤雅美氏（薬学生実務実習受入担当）、島袋さゆり氏（卸勤務薬剤師部会代表）、知名博樹氏（学校薬剤師部会代表・試験検査センター担当）、名嘉紀勝氏（南部地区薬剤師会代表）、中村克徳氏（学術研修担当）、西川裕氏（医薬分業対策担当）、姫野耕一氏（災害対策担当）、前濱朋子氏（会長候補者）、宮城幸枝氏（医療保険担当）、村田美智子氏（女性薬剤師部会代表）、盛本直也氏（那覇地区薬剤師会代表・地域保健担当）、吉田典子氏（医療安全対策・薬事情報センター担当）、以上の者達が、全員賛成で理事就任を承認された。

議案第1号、第2号、第3号ともに全員賛成で承認された。

議題を滞りなく進行した議長と副議長が降壇し、進行を司会に移した。

今回、新役員が承認されたことで、新任の監事1名（山里勇氏）と理事6名（浅沼健一氏、阿部義則氏、石川恵市氏、名嘉紀勝氏、姫野耕一氏、吉田典子氏）を登壇させ紹介した。

次に、退任する監事1名（神谷朝雄氏）と理事6名（亀谷浩昌氏、吉田洋史氏、笠原大吾氏、新垣秀幸氏、友寄安彦氏、中尾滋久氏）を登壇させ、その中で、会長を務めてきた亀谷浩昌氏に退任役員を代表して挨拶をいただき、続けて他6名からも一言ずつ挨拶をいただいた。

最後に、金城雄一常務理事より、更なる会発展のために尽力することが述べられ、閉会した。

（報告：事務局 大城 喜仁）

## 第84回総会資料

<報告第1号 令和2年度会務並びに事業経過報告>

### 令和2年度 会員・薬局等の業態現況報告

(1) 会 員 数

令和3年3月末現在

|             |                                                                 |                                                          |
|-------------|-----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| ① 正 会 員     | 1,243 人                                                         | (A会員 592人、B会員 576人、C会員20人、特別会員A 11人、特別会員B 24人、特別会員C 20人) |
| ( 内 訳 )     | 【前年度比較】総会員数 11人減<br>(A会員 3人減、B会員 1人減、C会員1人増、特別会員A 1人減、特別会員C7人減) |                                                          |
| 名 誉 会 員     | 2 人                                                             | 新垣正次、長嶺義仁                                                |
| 薬 局 開 設 者   | 180 人                                                           |                                                          |
| 一 般 販 売 業   | 30 人                                                            |                                                          |
| 卸 勤 務 薬 剤 師 | 28 人                                                            |                                                          |
| 勤 務 薬 剤 師   | 829 人                                                           | 薬局(767)、病院(61)、製造輸入(1)                                   |
| そ の 他       | 174 人                                                           | 行政(20)、教研(2)、他職勤務者(24)、無職(108)、学生 (20)                   |
| ② 賛 助 会 員 A | 39 人                                                            |                                                          |
| 合 計         | 1,282 人                                                         | ① (1,243人) + ② (39人)                                     |

(2) 薬局開設者等 (前年度との比較)

令和3年3月末現在

|               | 令和元年度  | 令和2年度  | 増 減   |
|---------------|--------|--------|-------|
| 薬 局 開 設 者     | 220 人  | 180 人  | -40 人 |
| 一 般 販 売 業     | 12 人   | 30 人   | 18 人  |
| 卸 売 一 般 販 売 業 | 24 人   | 28 人   | 4 人   |
| 勤 務 薬 剤 師     | 827 人  | 829 人  | 2 人   |
| 保 険 薬 剤 師     | 1078 人 | 1081 人 | 3 人   |
| そ の 他         | 169 人  | 174 人  | 5 人   |

(3) 保険薬局等 (前年度との比較)

令和3年3月末現在

|               | 令和元年度 | 令和2年度 | 増 減 |
|---------------|-------|-------|-----|
| 保 険 薬 局       | 545 軒 | 551 軒 | 6 軒 |
| 処 方 箋 応 需 薬 局 | 539 軒 | 546 軒 | 7 軒 |



## 第84回総会資料

### 令和2年度事業経過報告

#### 1. 沖縄県内の国公立大学への薬学部創設に向けての活動

これまでの「沖縄県内の国公立大学への薬学部創設を求めるための活動（以下、本活動）」の経緯は次のとおりである。

平成29年12月の理事会で本活動を行うことが決議され、沖縄県医師会、沖縄県歯科医師会、沖縄県看護協会から連名での同署名活動の賛同を得て平成30年1月から開始し、一般県民を始め、県内の大手・中小企業、経営者協会、幼小中高、PTA連合会、各自治体・自治会、各種団体等に対して署名の協力依頼を平成30年4月27日まで行った。地元紙へ薬学部県内設置の必要性を訴えた投稿に加え、本会の署名活動がマスコミ等に取り上げられると、署名活動の趣旨に理解いただいた県民から応援と協力が多く寄せられた。

平成30年4月10日には沖縄県庁記者会見室にて三師会（薬剤師会、医師会、歯科医師会）会長が「沖縄県内の国公立大学への薬学部創設に向けて」共同記者会見を行い、目標の5万筆を超えて10万筆を集めた。平成30年6月13日には琉球大学本館第一会議室にて四師会（薬剤師会、医師会、歯科医師会、看護協会）で、琉球大学への薬学部創設を求める署名10万1,660筆をマスコミ各社が同席する中、琉球大学学長に要請書とともに提出した。平成30年7月13日時点で署名は10万2,876筆となった。

その後も、本会は、沖縄県（砂川靖沖縄県保健医療部長、他）と琉球大学本部（西田睦琉球大学学長）を表敬訪問。また、名城大学本部（高良文雄理事長・山里勝己学長）へも表敬訪問し、本活動への現状報告も兼ねて説明を行った。

亀谷浩昌会長は、沖縄県の主要会議の委員となって本活動を推進していく。第68回沖縄県振興審議会にて亀谷浩昌会長が委員に委嘱された。これを機に、沖縄県振興審議会の福祉保健部会や学術・人づくり部会にて、本活動に関する提案や要請をしていった。沖縄21世紀ビジョン基本計画（沖縄振興計画）等総点検報告書（素案）へ「県内国公立大学での薬剤師養成に向けた取組を強化する必要がある。」と本文へ追加するよう要請。「科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成の考えに沿うためにも質の高い薬剤師を養成する必要がある。県外学生の県内への流入を図る上からも、設置する薬学部は国立大学ないしは公立大学とすべきである。」と記載することを提案する。同時期に、自由民主党沖縄支部連合会の一政調会において、沖縄県内の国公立大学へ薬学部（科）を創設する旨の要請をした。

令和2年2月6日、玉城デニー沖縄県知事が編成した2020年度沖縄県予算案の保健医療分野に、「薬剤師不足の解消に向け、県内大学への薬学部設置の可能性などを調査する事業に1,191万円」と、地元紙に掲載される。続けて令和2年2月14日、玉城デニー沖縄県知事の所信表明の中に、令和2年度の沖縄県施策の概要の中に、「薬剤師確保については、薬剤師の需給予測及び県内国公立薬学部設置の可能性等について調査していく」と地元紙に掲載される。

令和2年度における同活動は下記のとおりである。

令和2年7月15日（水）

沖縄県が「令和2年度薬学部設置可能性等調査業務」に係る企画提案の募集を掲げる。

令和2年8月11日（火）

沖縄県委託事業「令和2年度薬学部設置可能性等調査業務」に、三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社が選出される。

令和2年9月12日（土）

令和2年度第6回理事会にて、自由民主党一日政調会へ「沖縄県内国公立大学への薬学部（科）創設に関する要望について」を再提出することが決議される。令和2年9月3日（木）の琉球新報に、「政府が9月2日、地方大学の魅力向上策を検討する有識者会議において、若者の地元定着を促すため、地方国立大の定員を2020年度以後に増員することを目指し、年内に大学改革の方向性をまとめる。年末に改定する地方創生の総合戦略に反映させる考えだ。」と掲載され、同文言を追記したうえの再提出となった。

令和2年11月13日（金）

沖縄県保健医療部衛生薬務課より、令和2年度薬学部設置可能性等調査業務事業委託会社を通して、沖縄県内の保険薬局管理薬剤師と病院薬局長宛に「薬剤師の確保等に関するアンケート調査」「20歳代薬剤師アンケート調査」を配布する。

令和2年11月18日（水） 沖縄県議会

沖縄県議会議長および沖縄県議会自由民主党会派長に沖縄県内国公立大学への薬学部（科）創設および薬剤師確保に関する陳情を提出。（亀谷会長、大城次長）

令和3年 2月 5日（金） パシフィックホテル沖縄

自民党沖縄振興調査会（会長は小淵優子議員）の幹事長である西銘恒三郎衆議院議員と面会。

沖縄県の「新たな沖縄振興のための制度提言」中間報告（令和2年11月）の保健医療分野の薬剤師確保対策制度に、「県内国公立大学への薬学部（科）の設置に要する費用に係る財政支援を創設する」「設置する薬学部（科）に対し、地域枠入学試験制度の導入を義務付ける」「薬剤師法第19条に規定する調剤の業務について規制を緩和する※」が新規提言されていることを伝える。（亀谷浩昌会長、大城次長）

※規制緩和の内容：県内国公立大学に薬学部が設置され、県内において薬剤師が充足されるまでの間、沖縄県全域に薬剤師が派遣できるよう規制を緩和。（沖縄らしいSDGsの優先仮題）

令和3年 2月15日（月） 宮崎政久後援会

宮崎政久衆議院議員と面会。

先の2月5日の西銘恒三郎衆議院議員との面会と同内容。（亀谷浩昌会長、大城次長）

令和3年 2月28日（日） 沖縄県薬剤師会館 会長室・会議室

自由民主党沖縄県選挙区支部長との意見交換会を開催。

亀谷浩昌会長が、沖縄県内国公立大学への薬学部（科）創設の件について、薬剤師数が平成24年から全国最下位で、その差が年々拡大していることや、県内の国公立大学の状況を報告。また、政府が地方大学の魅力向上策、若者の地元定着を促すため地方国立大学の定員を2022年

度以降に増員することを目指し、地方創世の総合戦略に反映する計画があることを受け、これまでの「沖縄県内国公立大学への薬学部（科）創設に関する要望」の文面に、新たに当該事項を盛り込み、沖縄県議会に提出したことも報告。さらに、沖縄県の沖縄振興計画骨子の「薬剤師の育成」「薬剤師の確保」分野に対し、新たに「薬剤師確保対策制度」を盛り込む旨の提言が、沖縄県から政府への「新たな沖縄振興のための制度提言」中間報告に記載され、その制度の内容が「県内国公立大学への薬学部（科）の設置に要する費用に係る財政支援を創設する」「地域枠入学試験制度の導入を義務付ける」等が謳われていることから、先に西銘恒三郎議員と宮崎政久議員に面会し要請したことを報告。今後も同件を提示・要請し、県内国公立大学の意向も聞き取りし、引き続き、薬学部（科）創設の要望を推し進めていきたいが、本会の同活動への指導、協力を要請した。

國場議員から、文部科学省高等教育局から得た琉球大学の学部新設状況及び学部設置構想、国立大学新学部設置のための手続きや学部等新設審査スケジュール等の情報提供があった。半世紀以上、国立大学に薬学部が設置されていない壁は大きい。他県の国会議員の力添えも必要である。

同意見交換会の出席者は、自由民主党沖縄選挙区支部長として、國場幸之助第1選挙区支部長、宮崎政久第2選挙区支部長、島尻安伊子第3選挙区支部長、西銘恒三郎第4選挙区支部長。本会から、亀谷浩昌会長、江夏京子監事、佐藤雅美常務理事、吉田洋史理事、前濱朋子理事、盛本直也理事、大城次長。

## 2. 医薬分業対策

地域包括ケアシステムの構築が進む中で、薬剤師・薬局がその役割を果たすためには、各地域の実情に応じ、医師をはじめとする他の職種や医療機関等の関係機関と情報共有しながら連携して、患者に対して一元的・継続的な薬物療法を提供することが重要である。薬剤師が本来の役割を果たし、地域の患者を支援するための患者本位の医薬分業を実現するため、以下の事業を行った。

なお、例年8月～9月ごろに開催している、「医薬分業対策委員会主催研修会」「医薬分業対策会議」「FAXコーナー職員向け研修会」は、令和2年7月1日の医薬分業対策委員会で協議した結果、コロナ禍において医師会や病院では集合研修を行っていない状況から病院現場で勤務しているものを集合させることは不相当だという点、連携を目的とした医薬分業対策会議の趣旨からweb開催は効果的ではないという点から、令和2年度は開催を見送った。

### (1) お薬手帳・電子お薬手帳の啓発活動

本会が販売しているアリカワコウヘイ氏とコラボしたお薬手帳を用いて、電子お薬手帳の啓発活動を実施した。2020年度調剤報酬改定にて薬剤服用歴管理指導料の算定要件が新たに追加され、患者の「日常的に利用する薬局」をお薬手帳に記載することが必要になったため、本会が販売しているお薬手帳（首里城、マシュー君）においても対応を実施した。

### (2) 医療機器販売業等の営業所管理者、医療機器修理業の責任技術者に対する継続研修

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、日本薬剤師会制作コンテンツ（録画）を令和2年12月1日から12月7日間で配信し、Web研修会とした。

### (3) その他

○令和2年度薬局ビジョン実現に向けた薬剤師のかかりつけ機能強化事業次世代薬剤師指導者研修会へ参加（西川裕常務理事、鈴木毅、玉城武範）令和3年2月11日（木・祝）



○薬と健康の週間における県民への「かかりつけ薬剤師・薬局」の啓発:地元紙へ投稿

- ・西川 裕常務理事執筆:沖縄タイムス 令和2年10月14日(水)掲載
- ・宮城幸枝常務理事執筆:琉球新報 令和2年10月16日(金)掲載

### 3. 生涯学習

#### (1) 新任・新人薬剤師研修会

令和2年8月2日にWebで開催し、34名の参加があった。研修会では、「医薬品情報業務について」を浦添総合病院の宮里弥篤氏が担当し、DI業務、情報検索の基本、検索サイト紹介など多岐にわたる有益な講義であった。「薬歴の書き方について」は、すこやか薬局グループの喜屋武芳美氏に保険調剤薬局での薬歴の書き方について講義いただいた。「疑義照会について」は、学術研修委員会委員で保険薬局薬剤師でもある中尾滋久氏に講義いただいた。講義後は各部会について、行政薬剤師部会から沖縄県保健医療部衛生薬務課薬務室技師の吉本尚志氏、学校薬剤師部会から知名博樹副部会長、女性薬剤師部会部から村田美智子部会長、青年部会から上原卓朗部会長が部会紹介を行った。講師やテーマを工夫することにより、連続聴講しても実りのある研修会となるよう今後も努力したい。

#### (2) 第80回九州山口薬学大会

令和2年11月22・23日に沖縄コンベンションセンターで開催予定であった第80回九州山口薬学大会は、実行委員会設置、ホームページの立ち上げ、プログラム作成などの準備を着々と進めていたが、新型コロナウイルス感染症の第3波が襲来し、中止せざるを得ないという苦渋の決断を強いられた。開催はできなかったものの、同大会にあたり、多くの会員が一致団結して準備を進めたのは今後の生涯学習のための良い経験になったと思われる。また、県民の感染対策を最優先し、開会中止を判断したのは英断であったと考えられる。

#### (3) 医療薬学フォーラム2021 / 第29回クリニカルファーマシーシンポジウム

令和3年7月24・25日に医療薬学フォーラム2021 / 第29回クリニカルファーマシーシンポジウムを沖縄にて開催する予定である。本会では企画の段階から協力して、実行委員会の設置、ホームページの立ち上げ、プログラム作成などの準備を着々と進めている。新型コロナウイルス感染症の収束状況が不確実であることから、当初予定していた沖縄コンベンションセンターでの開催はWeb開催への変更が決定されている。学術発表の機会が減少している状況下では、医療薬学フォーラム2021が生涯学習の絶好の機会となるため、多くの会員の発表と学会への参加を期待したい。

#### (4) 薬剤師のための臨床研究入門研修会

令和2年12月20日、名古屋市立大学大学院薬学研究科・臨床薬学教育研究センターの鈴木匡先生にリモートでご講演いただき、現地とWebのハイブリッド形式にする等、新型コロナウイルス感染防止対策を施した上で開催した。参加者は、62名(現地11名、Web51名)であった。講演テーマは、「倫理・社会資源の活用エビデンスの創出 大学と薬局・病院との新しい連携臨床研究をすすめる <薬剤師の社会貢献を科学研究する>」で、薬剤師の業務が社会で評価され、経済的な手当てを受けさらに新しいステージに上がるためには「科学的な証拠」の提出によって、「如何に役に立つかを科学的に証明する」必要があることをご講義いただいた。

#### 4. 医療安全対策

##### (1) 令和2年度医療安全講習会を開催

令和3年2月21日に本会館ホールで、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に行いながら、次の内容で開催した。

参加者179名（会場36名、WEB143名）が受講した。

○講義1「官民一体となったテロ対策の推進について」沖縄県那覇警察署警備課

○講義2「新型コロナウイルス感染症対応店舗休業補償制度の説明及び事故過誤事例報告」  
損害保険ジャパン株式会社 坂元徹矢

○講義3「安全な医療を提供するために薬剤師ができること」

日本薬剤師会常務理事 亀井美和子※

(※:オンラインでの講義)

##### (2) D E M事業への参加案内

令和3年2月1日より開始されたD E M事業への周知を一斉同報F A Xにて行い、報告を促した。

協力案内:令和3年1月5日

調査開始案内:令和3年1月29日

調査終了案内:令和3年2月22日（終了日:2月28日）

#### 5. 医療保険

令和2年12月10日に本会館ホール及びWebにて新型コロナウイルス感染防止対策を十分に行いながら薬剤師向けに「令和2年度調剤報酬請求業務・個別指導における指摘事項について」の講習会を開催した。参加者は、247名（会場41名、Web206名）であった。また、同講習会にて録画した内容を薬局従事者も閲覧できるよう、令和2年12月25日から令和3年1月25日まで本会ホームページでYouTubeにて公開し、約900回の再生回数があった。

令和2年度に実施された指導は、集団的個別指導は中止、個別指導3薬局、新規個別指導18薬局であった。また、集団指導（新規指定）25薬局、集団指導（新規登録）70名、集団指導（更新時）42薬局については、資料を収録したCD-Rの送付又は厚生労働省ホームページに掲載している集団指導用資料の案内となった。

新型コロナウイルス感染症関連では、感染拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱いについて（0410事務連絡）、薬局における薬剤交付支援事業、新型コロナウイルス感染症に係る調剤報酬上の臨時的な取扱いについて、保険薬局にFAX一斉同報にて通知した。

#### 6. 地域保健

##### (1) 薬剤師の地域貢献に関する事業

今年度はコロナ禍により、かかりつけ薬剤師届出のための地域活動が困難であったことにより、会員からの問い合わせが多かったため、本委員会にて考案した“残薬回収月間”を九州厚生局沖縄事務所に地域活動として認められるか確認したうえで、令和3年3月1日から21日まで実施した。参加人数は92名であった。

## (2) 自殺予防・対策事業

全国自殺者数は10年連続の減少で2万169名（2019年）であったが、新型コロナウイルスの感染拡大が影響したのか11年ぶり増加に転じ、前年比750名増の2万919名となった。沖縄県の自殺者数は、平成10年から平成23年までは14年連続で300名を超えていたが年々減少し、平成30年は、男性172名、女性49名の計221名であったが、令和元年には249名と前年よりも増加、令和2年は214名と再び減少はしたが、まだ多くの自殺者がいることから、沖縄県自殺対策連絡協議会は、引き続き関係機関と連携し自殺対策に取り組むことになっている。

2020年度の自殺予防対策事業は、例年のように国が制作した啓発ポスターを会員薬局に周知した。また、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底したうえで薬剤師がゲートキーパーとしてのスキルアップのための研修会を令和3年3月14日に日本産業カウンセラー協会沖縄支部から講師を派遣していただき開催した。参加者は、15名であった。

## (3) 薬剤師認知症対応力向上研修

平成28年度より沖縄県の委託事業として行っている認知症対応力向上研修会を、沖縄県が作成した新型コロナウイルス感染対策ガイドラインに従い、令和3年1月17日に現地のみの受講として開催した。参加者は45名で、延べ536名の薬剤師が研修し、修了者には沖縄県より修了証が発行されている。

## (4) 禁煙事業について

平成19年に発足した禁煙支援薬局・薬剤師の認定制度(3年毎更新)は、現在、認定薬剤師は82名、禁煙サポート薬局は16軒である。以前より、禁煙支援に携わる薬剤師のモチベーションを高く維持するための工夫が必要であることが本年度も確認され、薬局における禁煙補助薬の販売ならびに指導について取り組むこととした。また、令和2年度は、禁煙サポート薬局支援継続事業として、例年実施している「禁煙アドバイザー育成講習会（日本禁煙科学会と共催）」は実施できなかった。

また、県内の禁煙事業を多職種で集まって報告を行う“沖縄県禁煙協議会総会”も実施されなかった。

一方、学校薬剤師を中心とした教育現場における防煙(初めの1本を吸わせない)活動については継続して行われた。これらの活動が小学校から高等学校の児童・生徒に対して継続して展開していることは、喫煙防止に大いに貢献するものである。加えて、「新型タバコ（加熱式タバコ、電子タバコ等）」についての情報提供も行った。さらに、健康増進法改正に伴う受動喫煙対策ならびにタバコはCOPDの大きなリスクファクターとしての位置づけからの禁煙・防煙活動の啓発も視野に取り組む。

## (5) 地域ケア会議

平成30年度より全面実施の運びとなっている地域包括ケアに基づいた地域ケア会議において、薬剤師は“専門職アドバイザー、助言者”として参加が要請される。令和2年度は、那覇市、浦添市、沖縄市、宮古島市、宜野湾市、糸満市、うるま市、嘉手納町、北谷町、八重瀬町、読谷村に薬剤師の派遣を行った。これらの会議への参加依頼ならびに参加報告は可能な限り本会で集約している。

平成30年度より、地域ケア会議に参加した薬剤師のために助言記録シートを本会ホームページ



ジにアップして活用を図っている。

また、沖縄県内における当事業の専門職アドバイザーの養成のための講習会は、沖縄県リハビリテーション専門職協会が県より委託を受けた事業を行っており、当会は当初よりこの協力メンバーの団体の一つとなっている。令和2年度もこれらの事業の研修会（多職種コンソーシウム実践研修会：令和2年11月22日：オンライン配信）に参加した。

## 7. 健康サポート薬局推進

### (1) 健康サポート薬局のモデル薬局整備事業（令和2年度沖縄県地域医療介護総合確保基金事業）

昨年度に引き続き、健康サポート薬局届け出数の増加を目的とし、それをめざす会員の便に供するために当事業に取り組んだ。すなわち、会営薬局うえはらを健康サポート薬局として届け出、そこを研修場所とし、在宅訪問、OTC取扱いならびに健康相談等の“健康サポート機能”を展開することをめざした。

実際は、会営薬局うえはらの人事等内部事情により、昨年度に引き続いて健康サポート薬局の届け出はかなわなかった。届け出はできなかったものの、無菌調剤共同利用施設の活用に資する研修会『会営薬局うえはら無菌調剤室共同利用に関する講習会』（令和3年3月3日、参加者8名）を実施した。ならびに一般用医薬品（OTC医薬品）の販売は継続して行われ、そのために2月14日に感染拡大に配慮してグループワークを含む研修会を県薬剤師会で実施した（参加者17名）。一方、コロナ禍で地域貢献に関する取組等は全く着手できなかった。

本基金事業は今年度で終了となるが、今後は、事業としては継続して取り組む方針であり、そのためには「会営薬局委員会」と共同で、実施場所も会営薬局うえはらに限定することなく、他の会営薬局での展開も視野にして、会員の健康サポート薬局の届け出促進に寄与するように取り組んでいく。

### (2) 「健康サポート薬局県内100軒実現に向けて」の取組み（研修会等）

昨年度に引き続き下記の研修会を実施した。

「OTC販売を取り巻く現状とその具体的取組方策」（令和3年3月18日、講師：盛本直也氏他6社による説明会）および「健康サポート薬局の活用・推進について - 県内新サポート薬局の取り組み -」（令和3年3月10日、講師：県内3薬局における取り組み例の紹介とコロナ禍において健康サポート薬局はどのように展開したらよいのかについてディスカッション）であった。どちらも“ハイブリッド”形式で実施した。

### (3) 健康サポートのための多職種連携研修会の実施

『健康サポートのための多職種連携研修会A（以下研修会A）』及び『健康サポートのための薬剤師の対応研修会B（以下研修会B）』を沖縄本島で1回（令和3年1月10日）実施した。昨年度と同様に1日で研修会A、研修会Bを連続して行った。内容は、研修会Aの講義については2回の実施で一部講師を変えて実施した。研修会Bについてはグループワークを実施した。参加者のグループは地域ごとに分けて編成し、地域の社会資源について効果的に討論できるよう配慮した。受講者人数は研修会A：19名、研修会B：20名であった。平成28年度から実施しているA・B研修の累積修了者人数は550名、沖縄県内における健康サポート薬局軒数は14軒となった。（令和3年3月末時点）。この14軒については、本会ホームページに掲載している。今後も引き続き県民に対する「健康サポート薬局」の周知活動に取り組んでいく予定である。なお、研修会Aについ

ては、研修会の枠組みや時間の使い方の若干の変更があった。研修会Bについては来年度に大幅な内容の変更が予定されている。

#### (4) 訪問薬剤管理指導推進事業（令和2年度沖縄県地域医療介護総合確保基金事業）

昨年に引き続き、健康サポート薬局をめざす薬局・薬剤師ならびに在宅医療を担う薬剤師の養成・支援を目的として本事業を行なった。参加希望者に対して指導薬剤師が同行し、患者宅または施設を訪問しながら学んでいく事業で、今回はコロナ禍の影響が大きく3件の実施にとどまった（昨年度は11件実施）。また、離島へき地に薬剤師が在宅医療でできることの啓発も企画していたが、同様の理由で全く実施できなかった。本事業は、来年度も実施予定であるが、実施方法として最低限実施する内容についてあらかじめ決定して申し込んでもらうこと、以前の希望者に限らず改めて参加者を募ることなど改良案が出された。

#### (5) 在宅医療支援薬局の広報周知活動

以前より本会ホームページに在宅医療を支援できる薬局の一覧を掲載していたが、内容が細かくて使いにくい、掲載している薬局に問い合わせをしたら断われた等の苦情に対処するため、リニューアルを行ったが、こちらを継続して実施した。すなわち、項目を簡略化して、毎月1回情報を更新するようにした。現在、登録している薬局数は79軒である。

今後は、那覇市、浦添市など医療と介護の連携組織を持つ地域（那覇市⇒“ちゅいしーじ那覇”、浦添市⇒“うらっしー”など）が情報として提供を希望する内容についても掲載していくなどの連携が必要と考えている。

#### (6) 在宅医療支援のための講演会・講習会

##### ①「九州山口薬学会在宅医療推進協議会ミーティング」の実施

令和3年2月27日福岡県で実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のためWeb会議として開催された。司会は福岡県薬剤師会が担当した。

内容は、コロナ禍での各県の在宅医療に関する取組の状況ならびに各県が知りたい内容について、予め寄せられたものを基に以下のテーマに集約してそれに基づいて意見交換を行った。

テーマ①薬-薬連携について、テーマ②多職種連携について、テーマ③医療用麻薬の取り扱いについて、テーマ④無菌調剤について、テーマ⑤医療材料、衛生材料等の薬局での取り扱いについて、テーマ⑥在宅医療の研修会の開催について、テーマ⑦ターミナルケアについて

各県ともコロナ禍で新しい取り組みが進んでいるところは残念ながらほとんど無かった。今後もこのような現状が続いても、各県の実情に応じた展開と情報交換は必要であるとまとめられた。

#### 8. 薬学生実務実習受入

実習生受け入れ11年目になるこの年は、13大学より1期11名、2期17名、3期6名、合計34名の実習受入を行った。大学の内訳は以下の通りである。第一薬科大学2名、九州保健福祉大学3名、福岡大学3名、長崎国際大学6名、崇城大学2名、徳島文理大学7名、徳島文理大学香川薬学部1名、明治薬科大学1名、神戸学院大学2名、兵庫医療大学1名、名城大学1名、福山大学4名、広島国際大学1名。

認定実務実習指導薬剤師養成のための講座は、新規2回、更新2回開催した。

文部科学省から薬科大3大学へ委託された「大学における医療人養成の在り方に関する調査研究委託事業」である「薬学実務実習の諸課題についての調査・研究」についてアドバンストWSへ参加協力した。

## 9. 災害支援対応

令和2年7月豪雨被災会員への義援金を募集し、10月に164,000円を日本薬剤師会へお届けした。

新型コロナウイルス感染症関連の対応は、沖縄県や日本薬剤師会、その他関係団体と連携を取りながら、保険薬局や会員向けに逐一FAX一斉同報（計23回）を行い、本会ホームページ等にて情報提供を行った。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、全国で衛生資材が不足した際には他企業と連携を取り、市場価格より割安で薬局へ案内した。医療従事者への新型コロナウイルスワクチン予防接種については、沖縄県と連携のもと全保険薬局に接種希望者数の調査を行い、接種希望者全員の名簿を収集して提出した。

## 10. その他関連事業

- (1) 「薬と健康の週間」事業（10月17日～10月23日）
- (2) 各種関連協議会への参加協力
- (3) 関連機関団体との協議及び懇談
- (4) 関係行政当局との定期的連絡協議会
- (5) おきなわ薬剤師会報の発行
- (6) 薬剤師求人求職斡旋事業・薬剤師確保対策事業
- (7) 日本薬剤師会賠償責任保険・個人情報漏えい保険等の加入促進
- (8) 公共関連機関団体等への寄附
  - ・沖縄県へ首里城火災復旧支援金1,565,644円を寄附（第二弾：令和2年10月19日）
  - ・沖縄県交通遺児育成会募金 など

## 令和2年度薬事情報センター事業報告

### 1. 情報提供業務

- (1) 質疑応答業務（集計内容の詳細は別紙参照）
  - ・調査件数：553件／年（医療関係者246、医療関係者以外307） 46件／月
  - ・質問者数：458人／年 38人／月
  - ＊今年度は消毒・予防関連、薬事行政・保険の項目が増加。
  - ・予防関連：コロナ関連消毒剤、学校・職場での感染予防対策等
  - ・薬事行政・保険：0410対応でのFAX処方箋、電話診察、郵送、公費負担医療等
- (2) WEBサイト（ホームページ）による情報提供
- (3) 会報「薬事情報おきなわ」の編集・発行（隔月刊）No. 259～No. 264を発行
- (4) 会員向けメール配信業務（Weekly News）

### 2. 情報収集業務

- (1) 新規図書総数
- (2) 購読雑誌
- (3) 各都道府県薬剤師会機関誌



- (4) 業界新聞：4紙（薬事日報、薬局新聞、薬事ニュース、国保新聞）
- (5) メーカー・卸機関誌
- (6) 厚生労働省および日薬からの各種情報・通知
- (7) 製薬企業からの情報
- (8) 医療安全レポート（一般社団法人 医療安全全国共同行動発行）

### 3. 情報管理業務

- (1) 当センターで独自に入力・管理を行なっているデータベース
  - ①沖縄県薬事情報センター質疑応答事例(ファイルメーカー Pro)
  - ②購読雑誌、文献データベース
- (2) 日薬と協同作成のデータベース（文献書誌情報検索システム：Bunsaku）  
 沖縄県薬担当雑誌（「新薬と臨床」「総合診療」「臨床薬理」「おきなわ県薬会報」「産科と婦人科」）
- (3) 子ども医療電話相談事業（＃8000）の質問記録の管理

### 4. 日本薬剤師会関連研修会

- (1) 令和2年度 都道府県薬剤師会アンチ・ドーピング活動担当者研修会（オンライン開催）  
 日時：令和2年11月29日（金）
- (2) 令和2年度 第1回日本薬剤師会 薬事情報センター実務担当者研修会（オンライン開催）  
 日時：令和3年2月5日（金）

### 5. 沖縄県スポーツ協会関連研修会等

- (1) 2020年度 沖縄県体育協会 スポーツ医・科学サポートプログラム説明会（資料提供）
- (2) 令和2年度 第1回スポーツ医・科学委員会（オンライン開催）  
 日時：令和2年8月4日（火）（主催：沖縄県スポーツ協会）
- (3) 国民体育大会に向けたアンチ・ドーピング講師養成講習会（オンライン開催）  
 日時：令和2年11月26日（木）（主催：日本スポーツ協会）
- (4) 2020年度アンチ・ドーピング研修会（オンライン開催）
  - ・第1回アンチ・ドーピング定期研修会(禁止表国際基準の変更点及びTUE申請における注意点等)  
 日時：令和2年12月18日（金）（主催：日本アンチ・ドーピング機構）
  - ・第2回アンチ・ドーピング定期研修会(国内におけるアンチ・ドーピング規則違反の事例について)  
 日時：令和3年2月19日（金）（主催：日本アンチ・ドーピング機構）
- (5) 第76回国民体育大会冬季大会 沖縄県選手団結団式 アンチ・ドーピング研修会(講師:笠原大吾)  
 日時：令和3年1月18日（月）（主催：沖縄県）
- (6) 2021年版アンチ・ドーピング研修会（講師：笠原大吾、吉田典子）  
 （オンライン開催ならびにYou Tubeを使用したオンデマンド配信（～3月31日））
  - ・スポーツとアンチ・ドーピング
  - ・アンチ・ドーピングのルール（規則違反、日常における注意点、TUE）
 日時：令和3年2月4日（木）（主催：沖縄県スポーツ協会）
- (7) 令和2年度サポートプログラム調整会議（オンライン開催）  
 日時：令和3年2月16日（火）（主催：沖縄県スポーツ協会）
- (8) 令和2年度 第2回スポーツ医・科学委員会（オンライン開催）

日時：令和2年3月26日（金）（主催：沖縄県スポーツ協会）

## 6. 会議・研修会等

- (1) 令和2年度 第1回薬事情報センター委員会  
日時：令和3年1月25日（月）（於：県薬・Zoom）
- (2) 新型コロナウイルスワクチン専門電話相談事業キックオフミーティング  
日時：令和3年3月16日（火）（於：県薬・Zoom）

## 7. その他

- (1) DI業務支援
  - ・平良恭子：令和2年4月～（半日／週）
  - ・金城みどり：令和2年4月～（平日：8時半～17時半）
  - ・赤嶺朝健：令和2年4月～（2～3日／月：1日2時間）
- (2) 会営薬局とよみへ出向（令和2年4月～令和3年2月）
  - ・吉田典子（週1回程度（約4時間／日））
- (3) 沖縄県難病支援センター「アンビシャス」の原稿執筆（月1回）
  - 令和2年 4月：とんぷく薬って何ですか？
  - 5月：お薬の使用期限について
  - 6月：保湿剤を効果的に使おう
  - 7月：薬がうまく飲み込めないんです。
  - 8月：いざという時のための「救急箱」の中身は？
  - 9月：「禁忌」（きんき）ってなに？
  - 10月：「ジェネリック医薬品」とは？
  - 11月：温湿布と冷湿布はどう違うの？
  - 12月：お薬と食べ物の飲み合わせ (1) 「グレープフルーツジュース」
  - 令和3年1月：お薬を飲み忘れた時はどうしていますか？
  - 2月：災害時の対策
  - 3月：お茶での服用
- (4) 新型コロナウイルスワクチン専門電話相談業務（沖縄県委託業務）：令和3年3月15日開始
  - ・調査件数：26件（令和3年3月15日～令和3年3月31日）
  - ・質問者数：17人（令和3年3月15日～令和3年3月31日）

## 令和2年度 試験検査センター事業報告

### 1. 医薬品検査について

#### (1) 計画的試験

- \* 令和2年度の計画的試験検査については、試験検査センター委員会（書面表決）の了承を得て、
  - 1) トラネキサム酸錠の定量試験、2) ロキソプロフェンナトリウム製剤の定量試験及び
  - 3) 漢方薬の細菌試験を実施した。検体の提出は178検体であった。

また、漢方薬の細菌試験については第17改正日本薬局方「参考情報」を結果判定の参考とした。

| 検査対象          | 検査項目 | 178検体 |
|---------------|------|-------|
| トラネキサム酸錠      | 定量試験 | 63    |
| ロキソプロフェンナトリウム | 定量試験 | 57    |
| 漢方薬           | 細菌試験 | 58    |

## (2) 令和2年度医薬品精度管理試験（日薬）

- \* 日薬より試験実施要領及び検体が発行された後、下記の試験を行った。
- \* トラネキサム酸錠の定量試験 令和3年1月13日提出

## (3) 令和2年度登録試験検査機関技能試験（厚生労働省）

- \* 国立医薬品食品研究所より検体及び試験法が発行され、下記の試験を行った。
- \* シロスタゾールの定量試験及び確認試験（分析法）HPLC法、TLC法 令和3年3月22日提出

## (4) 依頼医薬品・化粧品検査

- \* 主に、化粧品の細菌検査及び医薬品の規格試験等の依頼を受けた。

|    | 検査数 | 検査料金    |
|----|-----|---------|
| 依頼 | 12  | 267,300 |

## 2. 水質検査について

### (1) 学校関係水質検査

- \* 学校関係の水質検査は以下のとおりである。
- 県立学校及び市町村の水質検査、また、琉球大学附属小学校・中学校等の水質検査を行った。今年度は新型コロナの影響で5月半ばまで休校が続き、学校再開から徐々に検査を実施した。また、那覇市や浦添市ではほとんどのプール授業が中止となるなど、プール水の検査数は少なくなった。

|        | 検査数 |      | 検査料金      |
|--------|-----|------|-----------|
|        | 飲料水 | プール水 |           |
| 県立学校   | 79  | 65   | 1,984,840 |
| 市町村 など | 470 | 206  | 6,943,739 |
| 計      | 549 | 271  | 8,928,579 |

### (2) 依頼水質検査

- \* 令和2年度ともに、公立学校からの個別依頼、こども園などの検査を行っている。
- 令和2年度、八重瀬町営プールの検査は改修工事のため無かった。



|      | 検査数 | 検査料金      |
|------|-----|-----------|
| 一般依頼 | 118 | 1,372,646 |

### 3. 空気環境検査について

#### (1) ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の検査

- \* 令和2年度は、県立学校及び那覇市 等より空気環境検査の委託を受けた。  
検体を取りまとめ財団法人東京顕微鏡院へ分析を依頼した。

|        | 検査数 | 検査料金      |
|--------|-----|-----------|
| 県立学校   | 82  | 1,064,360 |
| 市町村 など | 116 | 1,782,880 |
| 計      | 198 | 2,847,240 |

ただし、東京顕微鏡院への外注費は、1,889,360円。

#### (2) ダニ又はダニアレルゲン検査

- \* 県立学校、那覇市及び国立沖縄工業高等専門学校の検査を行った。

|        | 検査数 | 検査料金      |
|--------|-----|-----------|
| 県立学校   | 231 | 643,720   |
| 市町村 など | 610 | 1,314,500 |
| 計      | 841 | 1,958,220 |

### 4. 随時の調査等依頼への対応

- 学校環境衛生や医薬品等の検査に関する問い合わせについて、資料提供を行った。 10 件  
1) 学校での換気方法 2) 消毒方法について など

### 5. 試験検査センター委員会

- 新型コロナ禍のため、書面にて表決を行った。 期限：令和2年12月18日

#### (1) 報告事項

- ①令和元年度報告及び令和2年度中間報告（医薬品検査・水質検査等）  
②外部精度管理の報告（平成30年度及び令和元年度）について  
③公用車の購入について

#### (2) 議題

- ①令和2年度計画的試験について ②令和3年度 事業計画(案) について

## 第84回総会資料

<議案第1号 令和2年度決算承認の件>

### 正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

一般社団法人 沖縄県薬剤師会

(単位:円)

| 科 目                   | 当年度           | 前年度           | 増減            |
|-----------------------|---------------|---------------|---------------|
| I 一般正味財産増減の部          |               |               |               |
| 1. 経常増減の部             |               |               |               |
| (1) 経常収益              |               |               |               |
| 特 定 資 産 運 用 益         | 1,485         | 1,488         | △ 3           |
| 特 定 資 産 受 取 利 息       | 1,485         | 1,488         | △ 3           |
| 受 取 入 会 金             | 897,500       | 850,000       | 47,500        |
| 受 取 入 会 金             | 897,500       | 850,000       | 47,500        |
| 受 取 会 費               | 99,023,020    | 105,207,909   | △ 6,184,889   |
| 正 会 員 受 取 会 費         | 57,434,200    | 53,427,600    | 4,006,600     |
| 賛 助 会 員 受 取 会 費       | 41,252,820    | 51,470,309    | △ 10,217,489  |
| 特 別 会 員 会 費           | 336,000       | 310,000       | 26,000        |
| 事 業 収 益               | 1,793,843,418 | 1,925,845,355 | △ 132,001,937 |
| 出 版 物 事 業 収 益         | 5,002,326     | 3,911,409     | 1,090,917     |
| 広 告 料 事 業 収 益         | 0             | 470,000       | △ 470,000     |
| そ の 他 事 業 収 益         | 8,343,777     | 9,674,707     | △ 1,330,930   |
| 調 剤 報 酬 収 入           | 1,586,427,442 | 1,674,710,311 | △ 88,282,869  |
| 一 部 負 担 金 収 入         | 144,924,436   | 184,637,898   | △ 39,713,462  |
| 小 分 治 療 剤 収 入         | 13,073,567    | 10,971,807    | 2,101,760     |
| 保 険 外                 | 9,206,520     | 11,942,451    | △ 2,735,931   |
| 受 取 手 数 料             | 5,034,567     | 5,772,791     | △ 738,224     |
| 保 険 等 調 整 増 減         | 3,976,818     | 900,944       | 3,075,874     |
| 新 規 契 約 賦 課 金         | 30,000        | 40,000        | △ 10,000      |
| 利 用 契 約 金             | 2,350,000     | 2,400,000     | △ 50,000      |
| 医 薬 品 検 査 手 数 料       | 267,300       | 158,840       | 108,460       |
| 水 質 検 査 手 数 料         | 10,342,105    | 15,978,194    | △ 5,636,089   |
| 空 気 検 査 手 数 料         | 4,852,560     | 4,269,003     | 583,557       |
| 衛 生 検 査 手 数 料         | 12,000        | 7,000         | 5,000         |
| 受 取 補 助 金 等           | 5,945,377     | 6,020,908     | △ 75,531      |
| 受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金 | 4,862,000     | 3,990,000     | 872,000       |
| 受 取 民 間 助 成 金         | 0             | 900,000       | △ 900,000     |
| 受 取 補 助 金 等 振 替 額     | 1,083,377     | 1,130,908     | △ 47,531      |
| 受 取 寄 付 金             | 365,207       | 725,207       | △ 360,000     |
| 寄 付 金 収 入             | 100,000       | 460,000       | △ 360,000     |
| 寄 付 金 等 振 替 額         | 265,207       | 265,207       | 0             |
| 貸 倒 引 当 金 戻 入 益       | 610,000       | 20,000        | 590,000       |
| 雑 収 益                 | 4,032,616     | 4,183,289     | △ 150,673     |
| 受 取 利 息               | 2,707         | 2,937         | △ 230         |
| 雑 収 入                 | 618,927       | 844,079       | △ 225,152     |
| 事 務 受 託 金 収 益         | 3,410,982     | 3,336,273     | 74,709        |
| 経常収益計                 | 1,904,718,623 | 2,042,854,156 | △ 138,135,533 |

| 科 目     |     |   |  |  | 当年度           | 前年度           | 増減            |
|---------|-----|---|--|--|---------------|---------------|---------------|
| (2)経常費用 |     |   |  |  |               |               |               |
| 事       | 業   | 費 |  |  | 1,860,108,981 | 1,960,330,275 | △ 100,221,294 |
| 期首      | 棚卸  | 高 |  |  | 75,306,024    | 66,599,827    | 8,706,197     |
| 仕入      | 高   |   |  |  | 1,512,652,054 | 1,624,944,983 | △ 112,292,929 |
| 期末      | 棚卸  | 高 |  |  | △ 68,372,000  | △ 77,300,313  | 8,928,313     |
| 役員報酬    |     |   |  |  | 4,014,147     | 4,263,796     | △ 249,649     |
| 給料      | 手当  |   |  |  | 81,841,305    | 92,376,453    | △ 10,535,148  |
| 雑賞      |     |   |  |  | 81,720,927    | 81,011,847    | 709,080       |
| 賞与      |     |   |  |  | 15,540,800    | 15,624,151    | △ 83,351      |
| 退職給付費用  |     |   |  |  | 3,592,443     | 2,798,590     | 793,853       |
| 法定福利費   |     |   |  |  | 22,245,956    | 24,385,914    | △ 2,139,958   |
| 福利厚生費   |     |   |  |  | 680,220       | 1,076,679     | △ 396,459     |
| 科目      |     |   |  |  | 当年度           | 前年度           | 増減            |
| 会議費     |     |   |  |  | 473,550       | 1,909,830     | △ 1,436,280   |
| 旅費      | 交通費 |   |  |  | 10,035,430    | 16,063,267    | △ 6,027,837   |
| 通運搬却費   |     |   |  |  | 6,031,056     | 5,259,141     | 771,915       |
| 減価償却費   |     |   |  |  | 13,501,197    | 12,043,277    | 1,457,920     |
| 消耗品費    |     |   |  |  | 7,251,088     | 12,779,228    | △ 5,528,140   |
| 修繕費     |     |   |  |  | 13,718,310    | 362,400       | 13,355,910    |
| 印刷費     |     |   |  |  | 10,000        | 20,140        | △ 10,140      |
| 出版物代    | 印刷費 |   |  |  | 8,164,941     | 7,611,570     | 553,371       |
| 地家賃     |     |   |  |  | 21,767,408    | 21,772,277    | △ 4,869       |
| 光熱水料    |     |   |  |  | 6,178,393     | 6,185,010     | △ 6,617       |
| 賃借料     |     |   |  |  | 2,415,288     | 2,065,794     | 349,494       |
| 広報費     |     |   |  |  | 4,269,430     | 4,141,274     | 128,156       |
| 保険料     |     |   |  |  | 1,541,288     | 1,314,699     | 226,589       |
| 諸謝金     |     |   |  |  | 772,370       | 791,930       | △ 19,560      |
| 租税公課    |     |   |  |  | 3,191,868     | 3,095,204     | 96,664        |
| 支払負担金   |     |   |  |  | 1,538,929     | 990,180       | 548,749       |
| 支払補助金   |     |   |  |  | 6,560,000     | 6,000,000     | 560,000       |
| 支払附金    |     |   |  |  | 100,000       | 1,093,324     | △ 993,324     |
| 外注費     |     |   |  |  | 1,962,400     | 2,061,912     | △ 99,512      |
| 支払手数料   |     |   |  |  | 12,717,777    | 9,748,776     | 2,969,001     |
| 交際費     |     |   |  |  | 31,385        | 37,714        | △ 6,329       |
| 管理維持費   |     |   |  |  | 5,000,908     | 5,124,756     | △ 123,848     |
| 新聞図書費   |     |   |  |  | 723,141       | 959,342       | △ 236,201     |
| 貸倒引当金繰入 |     |   |  |  | 210,000       | 240,000       | △ 30,000      |
| 支払利息    |     |   |  |  | 774,785       | 873,519       | △ 98,734      |
| 商廃棄損失   |     |   |  |  | 1,833,343     | 1,994,289     | △ 160,946     |
| 雑損      |     |   |  |  | 112,820       | 9,495         | 103,325       |
| 管理費     |     |   |  |  | 39,057,619    | 37,828,861    | 1,228,758     |
| 役員報酬    |     |   |  |  | 1,505,853     | 1,756,204     | △ 250,351     |
| 給料      | 手当  |   |  |  | 5,951,356     | 6,963,360     | △ 1,012,004   |
| 退職給付費用  |     |   |  |  | 184,820       | 327,506       | △ 142,686     |
| 法定福利費   |     |   |  |  | 1,077,110     | 1,174,707     | △ 97,597      |
| 福利厚生費   |     |   |  |  | 59,195        | 75,538        | △ 16,343      |
| 会議費     |     |   |  |  | 355,189       | 974,864       | △ 619,675     |



| 科 目                   | 当年度           | 前年度           | 増減           |
|-----------------------|---------------|---------------|--------------|
| 旅 費 交 通 費             | 3,055,567     | 4,413,272     | △ 1,357,705  |
| 通 信 運 搬 費             | 923,914       | 871,107       | 52,807       |
| 減 価 償 却 費             | 1,149,656     | 1,066,068     | 83,588       |
| 消 耗 品 費               | 1,791,273     | 1,079,330     | 711,943      |
| 修 繕 費                 | 2,819,364     | 66,739        | 2,752,625    |
| 研 修 費                 | 0             | 4,950         | △ 4,950      |
| 光 熱 水 料 費             | 685,586       | 647,335       | 38,251       |
| 賃 借 料                 | 418,520       | 321,377       | 97,143       |
| 保 険 料                 | 52,654        | 177,447       | △ 124,793    |
| 租 税 公 課               | 427,132       | 426,349       | 783          |
| 支 払 負 担 金             | 16,137,790    | 14,776,200    | 1,361,590    |
| 支 払 寄 附 金             | 20,000        | 20,000        | 0            |
| 支 払 手 数 料             | 1,475,701     | 1,318,133     | 157,568      |
| 交 際 費                 | 349,805       | 726,572       | △ 376,767    |
| 管 理 維 持 費             | 190,417       | 156,178       | 34,239       |
| 新 聞 図 書 費             | 304,761       | 359,595       | △ 54,834     |
| 支 払 利 息               | 111,696       | 125,930       | △ 14,234     |
| 雑 損 失                 | 10,260        | 100           | 10,160       |
| 経常費用計                 | 1,899,166,600 | 1,998,159,136 | △ 98,992,536 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額       | 5,552,023     | 44,695,020    | △ 39,142,997 |
| 評価損益等計                | 0             | 0             | 0            |
| 当期経常増減額               | 5,552,023     | 44,695,020    | △ 39,142,997 |
| 2. 経常外増減の部            |               |               |              |
| (1) 経常外収益             |               |               |              |
| 固 定 資 産 売 却 益         | 14,169        | 0             | 14,169       |
| 車 両 運 搬 具 売 却 益       | 14,169        | 0             | 14,169       |
| 経常外収益計                | 14,169        | 0             | 14,169       |
| (2) 経常外費用             |               |               |              |
| 固 定 資 産 除 却 損         | 3             | 1             | 2            |
| 什 器 備 品 除 却 損         | 0             | 1             | △ 1          |
| 建 物 付 属 設 備 除 却 損     | 2             | 0             | 2            |
| 車 両 運 搬 具 除 却 損       | 1             | 0             | 1            |
| 経常外費用計                | 3             | 1             | 2            |
| 当 期 経 常 外 増 減 額       | 14,166        | △ 1           | 14,167       |
| 税引前当期一般正味財産増減額        | 5,566,189     | 44,695,019    | △ 39,128,830 |
| 法 人 税 等               | 170,000       | 10,214,500    | △ 10,044,500 |
| 当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額 | 5,396,189     | 34,480,519    | △ 29,084,330 |
| 一 般 正 味 財 産 期 首 残 高   | 775,709,748   | 741,229,229   | 34,480,519   |
| 一 般 正 味 財 産 期 末 残 高   | 781,105,937   | 775,709,748   | 5,396,189    |
| II 指定正味財産増減の部         |               |               |              |
| 一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額 | △ 1,348,584   | △ 1,396,115   | 47,531       |
| 地 方 公 共 団 体 補 助 金     | △ 1,083,377   | △ 1,130,908   | 47,531       |
| 寄 付 金                 | △ 265,207     | △ 265,207     | 0            |
| 当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額 | △ 1,348,584   | △ 1,396,115   | 47,531       |
| 指 定 正 味 財 産 期 首 残 高   | 23,939,528    | 25,335,643    | △ 1,396,115  |
| 指 定 正 味 財 産 期 末 残 高   | 22,590,944    | 23,939,528    | △ 1,348,584  |
| III 正味財産期末残高          | 803,696,881   | 799,649,276   | 4,047,605    |

## 貸借対照表

令和3年3月31日現在

一般社団法人 沖縄県薬剤師会

(単位:円)

| 科 目         | 当年度           | 前年度           | 増 減          |
|-------------|---------------|---------------|--------------|
| I 資産の部      |               |               |              |
| 1. 流動資産     |               |               |              |
| 現金預金        | 302,167,071   | 292,144,202   | 10,022,869   |
| 未収入金        | 287,628,266   | 317,221,476   | △ 29,593,210 |
| 商品          | 66,538,657    | 75,306,024    | △ 8,767,367  |
| 立替金         | 220,379       | 2,486,815     | △ 2,266,436  |
| 前払費用        | 1,252,540     | 687,693       | 564,847      |
| 仮払金         | 246,048       | 274,846       | △ 28,798     |
| 貸倒引当金       | △ 2,910,000   | △ 3,310,000   | 400,000      |
| 流動資産合計      | 655,142,961   | 684,811,056   | △ 29,668,095 |
| 2. 固定資産     |               |               |              |
| (2) 特定資産    |               |               |              |
| 退職給付引当資産    | 59,172,958    | 64,969,036    | △ 5,796,078  |
| 九山積立預金      | 9,419,925     | 11,360,796    | △ 1,940,871  |
| 法務対策積立預金    | 5,002,669     | 5,002,626     | 43           |
| 会館修繕積立預金    | 32,749,395    | 44,749,017    | △ 11,999,622 |
| 災害対策積立      | 3,001,718     | 3,001,693     | 25           |
| 移転積立預金      | 60,005,669    | 50,004,239    | 10,001,430   |
| 特定資産合計      | 169,352,334   | 179,087,407   | △ 9,735,073  |
| (3) その他固定資産 |               |               |              |
| 建物          | 127,369,695   | 132,508,155   | △ 5,138,460  |
| 造作物         | 1,173,465     | 1,543,698     | △ 370,233    |
| 建物付属設備      | 6,682,663     | 7,938,837     | △ 1,256,174  |
| 構築物         | 3,679,125     | 4,158,193     | △ 479,068    |
| 車両運搬具       | 777,166       | 1,322,088     | △ 544,922    |
| 什器備品        | 8,485,650     | 10,367,436    | △ 1,881,786  |
| 土地          | 157,097,850   | 157,097,850   | 0            |
| 電話加入権       | 2,765,413     | 2,765,413     | 0            |
| ソフトウェア      | 749,550       | 342,396       | 407,154      |
| 敷金          | 1,250,000     | 1,250,000     | 0            |
| 差入保証金       | 5,081,850     | 5,081,850     | 0            |
| その他固定資産合計   | 315,112,427   | 324,375,916   | △ 9,263,489  |
| 固定資産合計      | 484,464,761   | 503,463,323   | △ 18,998,562 |
| 資産合計        | 1,139,607,722 | 1,188,274,379 | △ 48,666,657 |
| II 負債の部     |               |               |              |
| 1. 流動負債     |               |               |              |
| 買掛金         | 172,939,478   | 203,493,730   | △ 30,554,252 |
| 未払金         | 23,726,272    | 19,121,204    | 4,605,068    |
| 前受金         | 260,000       | 280,000       | △ 20,000     |
| 預り金         | 1,600,671     | 4,011,808     | △ 2,411,137  |
| 賞与引当金       | 5,291,100     | 4,416,400     | 874,700      |
| 未払法人税等      | 170,000       | 10,214,500    | △ 10,044,500 |
| 流動負債合計      | 203,987,521   | 241,537,642   | △ 37,550,121 |

| 科 目                 | 当年度           | 前年度           | 増 減          |
|---------------------|---------------|---------------|--------------|
| 2. 固定負債             |               |               |              |
| 長 期 借 入 金           | 79,215,000    | 89,211,000    | △ 9,996,000  |
| 退 職 給 付 引 当 金       | 52,708,320    | 57,876,461    | △ 5,168,141  |
| 固定負債合計              | 131,923,320   | 147,087,461   | △ 15,164,141 |
| 負債合計                | 335,910,841   | 388,625,103   | △ 52,714,262 |
| Ⅲ 正味財産の部            |               |               |              |
| 1. 指定正味財産           |               |               |              |
| 地 方 公 共 団 体 補 助 金   | 16,013,449    | 17,096,826    | △ 1,083,377  |
| 寄 付 金               | 6,577,495     | 6,842,702     | △ 265,207    |
| 指定正味財産合計            | 22,590,944    | 23,939,528    | △ 1,348,584  |
| 2. 一般正味財産           | 781,105,937   | 775,709,748   | 5,396,189    |
| (うち特定資産への充当額)       | 110,179,376   | 114,118,371   | △ 3,938,995  |
| 正味財産合計              | 803,696,881   | 799,649,276   | 4,047,605    |
| 負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 | 1,139,607,722 | 1,188,274,379 | △ 48,666,657 |

<議案第2号 一般社団法人 沖縄県薬剤師会 監事選挙について>

|  |          |          |               |
|--|----------|----------|---------------|
|  | 卸        | 開局       | 区分            |
|  | 202      | 201      | 受付番号          |
|  | 山里<br>勇  | 江夏<br>京子 | 立候補者氏名        |
|  | 那覇地区     | 中部地区     | 所属地区<br>薬剤師会名 |
|  | 川満<br>直紀 | 佐藤<br>雅美 | 推薦者代表         |

監事立候補名簿

### ＜議案第3号 一般社団法人沖縄県薬剤師会理事選出の件＞

一般社団法人沖縄県薬剤師会理事候補選出要綱に基づいて、六地区薬剤師会及び定款施行規則第4条に定める部会から各1人を理事候補として推薦されてきた理事候補者、並びに第83回臨時総会で執り行われた会長候補者選挙にて当選した会長候補者が指名する理事候補者は、下記名簿に示されたとおりである。一般社団法人沖縄県薬剤師会理事として選任いただきたい。

## 理事候補名簿

[50音順・敬称略]

| No. |    | 氏名      | ふりがな        | 所属・担当               |
|-----|----|---------|-------------|---------------------|
| 1   | 新  | 浅 沼 健 一 | あさぬま けんいち   | 北部地区薬剤師会            |
| 2   | 新  | 阿 部 義 則 | あ べ よ し の り | 行政薬剤師部会             |
| 3   | 新  | 石 川 恵 市 | いしかわ けいいち   | 中部地区薬剤師会<br>会営薬局・広報 |
| 4   | 現職 | 上 原 卓 朗 | うえはら たくろう   | 青年薬剤師部会             |
| 5   | 現職 | 川 満 直 紀 | かわみつ なおき    | 財務                  |
| 6   | 現職 | 金 城 雄 一 | きんじょう ゆういち  | 病院薬剤師部会             |
| 7   | 現職 | 幸 地 良 信 | こうち よしのぶ    | 八重山地区薬剤師会           |
| 8   | 現職 | 古 謝 真 己 | こ じ ゃ ま さ き | 宮古地区薬剤師会            |
| 9   | 現職 | 佐 藤 雅 美 | さ と う ま さ み | 薬学生実務実習受入           |
| 10  | 現職 | 島 袋 さゆり | しまぶくろ さゆり   | 卸勤務薬剤師部会            |
| 11  | 現職 | 知 名 博 樹 | ち な ひ ろ き   | 学校薬剤師部会<br>試験検査センター |
| 12  | 新  | 名 嘉 紀 勝 | な か の り か つ | 南部地区薬剤師会            |
| 13  | 現職 | 中 村 克 徳 | なかむら かつのり   | 学術研修                |
| 14  | 現職 | 西 川 裕   | にしかわ ゆたか    | 医薬分業対策              |
| 15  | 新  | 姫 野 耕 一 | ひめの こういち    | 災害対策                |
| 16  | 現職 | 前 濱 朋 子 | まえはま ともこ    | 会長候補者               |
| 17  | 現職 | 宮 城 幸 枝 | みやぎ ゆきえ     | 医療保険                |
| 18  | 現職 | 村 田 美智子 | むらた みちこ     | 女性薬剤師部会             |
| 19  | 現職 | 盛 本 直 也 | もりもと なおや    | 那覇地区薬剤師会<br>地域保健    |
| 20  | 新  | 吉 田 典 子 | よしだ のりこ     | 医療安全対策<br>薬事情報センター  |



## 日本薬剤師会有功賞 受賞



おめでとうございます

|     |       |     |       |    |      |
|-----|-------|-----|-------|----|------|
| 安富祖 | 勇先生   | 新垣  | 美恵子先生 | 伊集 | 俊雄先生 |
| 我喜屋 | 宏先生   | 川武  | 政子先生  | 金城 | 喜栄先生 |
| 玉那覇 | 康三郎先生 | 渡嘉敷 | 見先生   | 長嶺 | 義一先生 |
| 浜元  | 朝孝先生  | 森根  | 美智子先生 | 山内 | 昌彦先生 |
| 與座  | 圭子先生  | 吉田  | 久子先生  |    |      |



我喜屋 宏氏（右）へ伝達授与



渡嘉敷 見氏（左）と吉田 久子氏（右）へ伝達授与

※例年、伝達授与を6月の定時総会懇親会もしくは熟年の集いにて執り行っているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、賞状と記念品（徽章）は発送にて対応することが令和3年度第1回理事会で決議された。上記写真の3氏は、発送前に本会に来館されたことによる伝達授与となった。

## 災害対策

# 新型コロナウイルスワクチン相談業務対応研修会報告

日時：令和3年6月10日（木）19:00～20:30

会場：沖縄県薬剤師会館 研修室およびWeb研修

### ＜プログラム＞

司会進行：薬事情報センター 担当理事 中尾 滋久

1. 「新型コロナウイルスワクチンの概要」講師：薬事情報センター委員会 委員長 糸嶺 達
2. 「相談事例の紹介」講師：新型コロナウイルスワクチン相談センター相談員 山内 一姫

去る6月10日に新型コロナウイルスワクチン相談業務対応研修会が開催された。「参加者はWeb66名、現地35名の計101名。本研修会は、会員の皆様がコロナワクチンについての理解を深めると同時に、ワクチンに関する相談を行う際の参考になるよう企画し開催された。

薬事情報センター委員会  
吉田 典子



### プログラム1

#### 「新型コロナウイルスワクチンの概要」

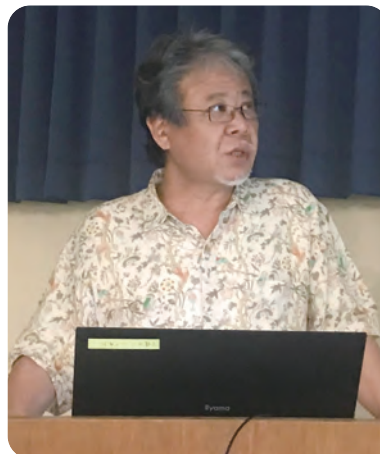
糸嶺達委員長よりワクチンの最新情報とともに押さえておきたいポイントなどをご講義いただいた。

講義では、各ワクチンの特徴について解説、集団接種に使用されるmRNAワクチン「COVID-19ワクチンモデルナ筋注」接種後の遅延性の皮膚反応モデルナアーム（COVID arm）や現在報告されている種々の変異株に対する抗体価や中和抗体の持続期間（6か月）など最新情報についての説明があった。また、千葉大学が発表した「COVID-19ワクチンに対する免疫応答を規定する機構の解明」を紹介、抗体価が上がりやすい人はCOVID-19の既往歴あり。女性。ワクチンの接種間隔が長い（18-25日）、抗アレルギー剤を内服していることと関連し、逆に抗体価が上がりにくいのは高齢、免疫抑制剤内服、ステロイド内服、飲酒頻度が多い等であった。また、「接種後の発熱はワクチンによる副反応か、ワクチンの前後のコロナ感染によるものか」といった問合せ事例について、ワクチンによる副反応では、咳、咽頭痛、呼吸器などの気道症状や、味覚、嗅覚異常は通常現れない。ワクチンに

よる発熱は2-3日以内に治まること、ワクチンではPCRや抗原検査は陽性にはならないことをあげた。ワクチン接種の可否選択については打った時、打たなかったときのそれぞれのリスクとベネフィットをよく考えて、現在の自分の状況に合わせて判断する等いくつかのポイントについて紹介した。

#### 【まとめ】

新型コロナウイルスワクチンは発症と重症化を防ぐ。mRNAワクチンの有効性は約94-95%、安全も高い。ワクチンは適切な承認プロセスを得て承認されている。アナフィラキシーは非常に稀であり、備えることができる。

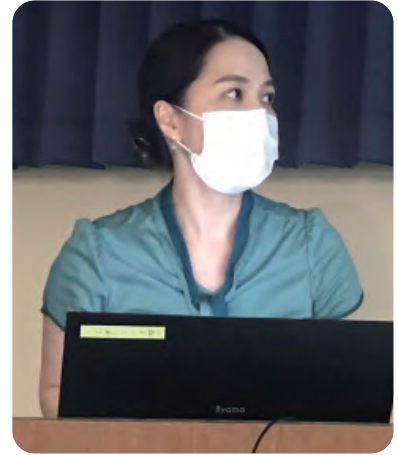


プログラム1 講師  
糸嶺 達 薬事情報センター委員長

## プログラム2「相談事例の紹介」

相談員の山内一姫氏よりご講義いただいた。

接種後の発熱に対する市販解熱薬、他のワクチンとの接種間隔、接種は努力義務であること、影響のある薬剤、妊娠を希望する方への接種等実際の事例を基にどのような資料で、どのように返答しているのか等具体的な情報提供の仕方などを説明された。また、海外と日本のガイドラインには、推奨の違いがあること、最新情報、ガイドラインなどを常に確認することの重要性を語った。



プログラム2 講師

山内 一姫氏

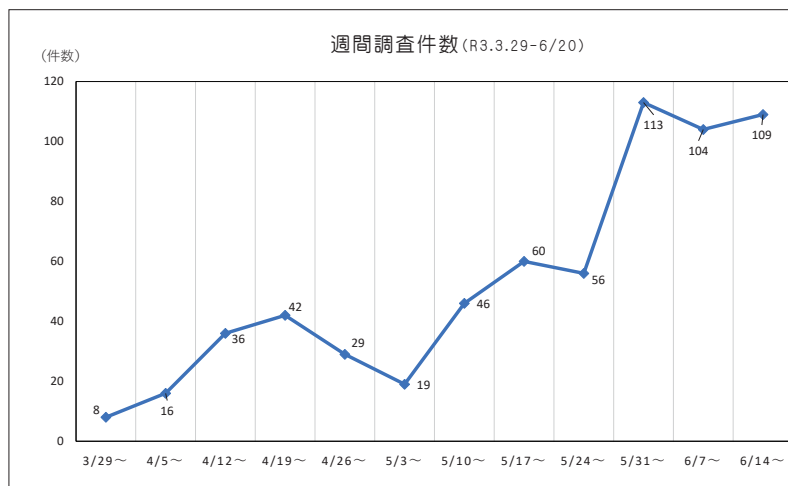
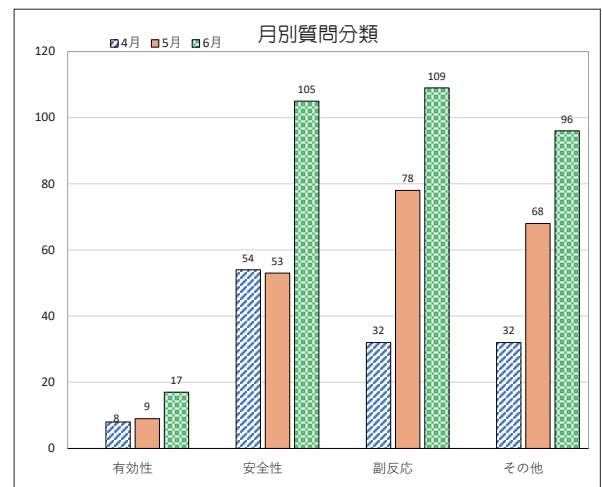
新型コロナウイルスワクチン相談センター相談員

## 質疑応答

糸嶺委員長は「薬局が患者に対して何か貢献できることは？」の質問に対し、薬剤師が出来ることとして、抗凝固薬やアナフィラキシーの既往など予診票に記載できるよう薬局ではお薬手帳を確認すること、患者様へは接種会場へお薬手帳の持参を促すよう求めた。最後に、抗凝固薬を服用中の患者様の接種部位周囲が広範囲に腫れているのを実際に見て、その可能性も踏まえ規定の2分間はしっかり押さえて頂く必要があると注意喚起を行った。

3月から設置された県の委託事業「沖縄県新型コロナウイルスワクチン専門相談センター」では現在応募された薬剤師24名にご協力いただいている。6月には高齢者や基礎疾患を持つ患者様への接種も始まり、1週間当たりの相談件数は6月末時点で100件を超え増加傾向にある。新型コロナウイルスワクチン接種については、接種会場での接種補助業務

や薬局における相談など地域の薬剤師としての役割は大きい。地域住民に安心して接種していただけるようワクチンに関する正しい知識を持ち、住民に信頼される薬剤師としての役割を果たすことが求められている。



# 実務実習

## 令和3年度第Ⅰ期薬学生実務実習報告

令和2年の年明け早々に発生した「新型コロナウイルス感染症」によるパンデミックがなかなか収束しない中、感染対策を十分に行いながら、令和3年度実務実習第Ⅰ期（2月22日～5月9日）が実施されました。

Ⅰ期は、実習生20名（8大学：第一薬科大学・福岡大学・長崎国際大学・九州保健福祉大学・医療創生大学・徳島文理香川薬学部・神戸学院大学・広島国際大学）を指導薬剤師19名（19薬局）で受け入れました。コロナ禍の緊張感の中、薬局の繁忙期とも重なり、大変な時期ではありましたが、受け入れて頂いた指導薬剤師、薬局の皆様にご心より感謝申し上げます。

コロナ禍で長期処方が増え、実習期間中に

薬学生実務実習受入委員会  
副委員長 宮城 幸枝



同じ患者さんに複数回指導することが難しいことや施設などへの入室の制限などもあり、ロールプレイやリモート対応などを組み込みながら、実習内容を工夫されて行ったとの報告もありました。Withコロナ時代の実習で今後参考にさせて頂きたいと思います。

以下に、実習生の感想文と実習薬局、実習協力機関を掲載いたします。紙面をもってお礼に代えさせていただきます。ありがとうございました。

### 協力施設・委員会・団体

（以下、順不同・敬称略）

- ぼたん薬局      ○（株）薬正堂（すこやか薬局グループ）      ○こくら虹薬局  
○会営薬局医療センター前      ○ヴァインドラッグ 末吉店      ○すこやか薬局 野嵩店  
○すこやか薬局 松島店      ○（株）琉薬      ○（株）アトル      ○（株）スズケン沖縄薬品  
○学校薬剤師部会      ○各地区薬剤師会      ○学校薬剤師の先生方

### 実務実習薬学生・受入薬局

| 氏名     | 大学       | 実習薬局           | 指導薬剤師  |
|--------|----------|----------------|--------|
| 宮里 彩愛  | 第一薬科大学   | とくりん薬局 比屋根店    | 高木 英子  |
| 漢那 幸希  | 第一薬科大学   | 経塚薬局           | 神田 寛之  |
| 平良 百絵  | 第一薬科大学   | クララ薬局ティエラ      | 宮本 直樹  |
| 眞喜志 康克 | 第一薬科大学   | ミドリ薬局 美里店      | 玉城 武範  |
| 仲宗根 早紀 | 第一薬科大学   | すこやか薬局あげだ店     | 仲間 聖   |
| 中西 久菜  | 福岡大学     | そうごう薬局新赤十字前店   | 西川 裕   |
| 佐久本 佳乃 | 福岡大学     | すこやか薬局松島店      | 古堅 直也  |
| 宮里 さつき | 福岡大学     | りんご薬局古謝店       | 鈴木 直志  |
| 伊野波 桃香 | 長崎国際大学   | すこやか薬局ライカム店    | 金谷 智尋  |
| 大城 貴輝  | 長崎国際大学   | ほがらか薬局         | 小酒 千佳代 |
| 仲村 璃沙子 | 長崎国際大学   | つる薬局           | 新垣 紀子  |
| 上原 響聖  | 九州保健福祉大学 | すこやか薬局具志川店     | 三上 まどか |
| 大浦 真也  | 九州保健福祉大学 | コジャ薬局 東店       | 古謝 真己  |
| 玉城 諒奈  | 九州保健福祉大学 | とくりん薬局赤嶺駅前店    | 仲宗根 雅恵 |
| 友利 拓人  | 九州保健福祉大学 | 病院前薬局          | 上川畑 剛  |
| 宮坂 公輔  | 九州保健福祉大学 | レモン薬局          | 平田 崇   |
| 仲村 沙羅  | 医療創生大学   | すこやか薬局あげだ店     | 仲間 聖   |
| 太 梨穂   | 徳島文理大学   | メイト平良川薬局       | 福地 健治  |
| 藤田 琴音  | 神戸学院大学   | ハーブ薬局 おもろまち駅前店 | 上間 祥子  |
| 砂川 充美  | 広島国際大学   | とくりん薬局 前田店     | 宇津野 宣仁 |



## 令和3年度第Ⅰ期実務実習薬学生からの体験記・感想

第一薬科大学 5年 仲宗根 早紀  
(すこやか薬局 あげだ店 実習 指導薬剤師 仲間 聖)

11週間の薬局実務実習を無事に終えることができ安堵すると共に、実習前よりも多くの調剤技術を学び、たくさんの知識を得ることができたと実感しています。

この度、調剤技術を向上させることができたことは大きな収穫でした。薬局実習で初めてハサミや錠剤カッターを用いて錠剤を分割したり、一包化調剤を行ったりしました。それは患者の服用コンプライアンスを向上させるためにとても必要な調剤技術であり、臨床でしか経験することができないことだと思います。軟膏の混合・充填、散剤や水剤の調剤は大学でも学びますが、多くの処方箋に触れたことでスムーズに調剤することができるようになったと感じています。また、調剤ロボットを初めて操作し便利さを実感したとともに、ロボットに頼るだけではなく、薬剤師の目でしっかり監査し患者が安全に服薬できるようサポートすることが大切だと思いました。

さらに、在宅業務や学校薬剤師の講義・体験を通して、薬剤師としてどのように地域に

携わることができるかについての知識を深めることができました。特に、在宅業務では医療従事者と連携し、患者やその家族のQOLを維持・向上させるための重要な役割があることを実感しました。薬剤師として地域の衛生環境や地域医療にどのように関わっていくかを考えながら今後も勉学に励んでいきたいです。

実務実習を通して、多くのことを学び自分自身成長できたと感じると共に、コミュニケーション能力の不足も強く実感し課題も見えてきました。服薬指導をする中で、緊張してうまく聞き取りができなかったり、伝えるべきことを伝えられなかったりしました。また、在宅業務の体験で関わった薬剤師の先生が、患者や医師、管理栄養士、医療事務の方々と円滑にコミュニケーションを取る姿を見て、このような薬剤師になれるよう努力したいと思いました。

最後に、このようなコロナ禍に実習を受け入れてくださった薬局、薬剤師の先生方に大変感謝しています。

福岡大学 5年 佐久本 佳乃  
(すこやか薬局 松島店 実習 指導薬剤師 古堅 直也)

私が薬局実習で学んだことは、薬剤師の資質がなぜ必要なのか、薬剤を扱うことの責任の重さや難しさを感じたことです。事前学習などで何度も練習したことも、実際に現場で体験すると予想以上に時間がかかってしまうことが多く、焦ってしまうと似ている名前の薬剤の取り間違いや数え間違いなど、ミスを犯すポイントが身近にたくさんあることに驚きました。大学での実習と違い、自分が調剤し、指導を行ったことが直接患者さんの手に渡るので、まずは監査システムを通してから調剤することや、適正量であるかなど、適切に薬剤を扱うことの責任の重さを感じました。

服薬指導では、患者さんの症状や薬剤に関して困っていることについて話の引き出し方など、自分で服薬指導した時と先生方が指導を行った時で情報量の差が大きいことを感じ、処方箋や薬歴から患者さんの状態を想像

するだけでなく、会話の中からも体調や薬剤に関して困っていることなど、服薬指導の進め方について見学させていただきました。指導を行う中で、患者さんの不安に寄り添い、安心して服用いただける指導を行うために、専門用語や副作用の症状などをわかりやすくお伝えすることや、患者さんの症状や薬剤に関して困っていることについて、コミュニケーション能力や問題解決能力を育てていくことの大切さを学びました。また、副作用の症状や同じ効果のある薬剤の違いについての質問を受けることが多々あり、大学の授業で学んだ薬理学や作用機序の違いなどの知識不足を痛感し、自己研鑽を続けることの必要性を、実習を通して改めて感じました。11週という短い間でしたが、忙しい中手厚くご指導いただきありがとうございました。今回学んだことを忘れずに、病院実習や将来にも活かせるよう勉学に励んでいこうと思います。

九州保健福祉大学5年 玉城 諒奈

(とくりん薬局 赤嶺駅前店 実習 指導薬剤師 仲宗根 雅恵)

11週の薬局実習を終え、現場薬剤師の偉大さを実感しました。また、薬や病態に関する知識が必要なのはもちろん、コミュニケーションの重要さも感じました。薬剤師の方が患者さんの名前を覚えているだけでなく、その患者さんの性格や服用状況まで把握していることに驚きました。患者さんの性格を把握しているからこそ、一人ひとりにあった投薬ができるのだと感じました。

実習するまでは患者さんに用法用量などのOSCEで決められていた事項を聞けばいいと思っていました。しかし、薬局に来る患者さんは慢性疾患の方が多く、その薬を何年も服用している場合がほとんどです。このような患者さんには、服薬状況を確認することが重要だと学びました。飲み忘れがある場合には、いつ飲み忘れるのかななどを聞き、少しでもコンプライアンスが上がるように提案をしていました。投薬をさせてもらいましたが、話す順番がいつも同じになってしまったり、患者さんに質問して返答が返ってきてもリアク

ションが薄くなってしまったり、患者さんから質問されても回答に自信がなかったりと、知識不足やコミュニケーション力が足りないと痛感しました。授業でもオープンクエスションとクローズクエスションについて学びましたが、実際患者さんと話すときクローズクエスションばかりで、なかなかオープンクエスションで話すことができませんでした。薬剤師の方は使い分けをしながら話していて、患者さんの病態についてだけでなく、世間話をしたり質問の仕方を変えるだけで話がこんなに広がるんだという印象を受けました。調剤や投薬だけでなく、在宅医療、学校薬剤師、OTC医薬品などの事についても学ぶことができました。

薬局実習では薬についての知識はもちろん、直接患者さんと接することで、学校では学べない薬剤師としての態度や在り方について学ぶことができました。この経験を次の病院実習やこれからは活かしていきたいと思います。

九州保健福祉大学5年 大浦 真也

(コジャ薬局 東店 実習 指導薬剤師 古謝 真己)

薬局実習を通して、実際に薬剤師の仕事を体験することで、自分の課題を発見することができました。1つ目はコミュニケーション能力です。大学の講義では、紙上の問題を相手に、薬や疾患についてインプット・アウトプットをしていました。しかし、現場では患者さんを相手に説明や質問をします。患者さんは年齢、性別、性格など人によって様々ですが、どんな人とでも話ができなくてはなりません。そのために、上手く患者さんの緊張を解き、情報を聞き出せるようなコミュニケーション能力が必要だと感じました。また、疑義照会や医薬品の在庫管理などを通して、ドクターや卸さんなど様々な職種の方々と関わり、ここでもコミュニケーションが必要になります。このように、現場では様々な人と会話をする機会が多く、誰とでも仲良くなれるようなコミュニケーション能力を身につけることが大切だと思いました。

2つ目は薬や症状に対する知識です。服薬指導をする際、患者さんに症状を聞いたり見

せてもらったりしました。また、OTC医薬品を選ぶときも、患者さんの症状を見たり聞いたりしていました。症状の知識があれば、薬剤師側から患者さんに話を聞くことができます。OTC医薬品を使ってもいいか、受診勧奨をするべきかの判断もできます。他にも、薬の中には、症状と薬が対応していて、処方箋を見ただけで患者さんの治療が分かるものや、長期服用で副作用に気をつける必要があるものがありました。このように、症状や薬の知識があれば、調剤時に調べることができ服薬指導時に患者さんに伝えることができます。

将来薬剤師として働くために、残りの大学生活でこの課題を解決できるよう頑張りたいです。そのためには、友達や教員だけでなく、先輩や後輩、学外の方々など多くの人たちと積極的に関わっていききたいです。また、症状や薬について勉強するときは、国試に向けた専門的な勉強だけでなく、患者さんに説明する視点からも勉強していきたいです。

医療創生大学5年 仲村 沙羅  
(すこやか薬局 あげだ店 実習 指導薬剤師 仲間 聖)

第一期は、すこやか薬局あげだ店にて11週に渡り薬局実務実習を行いました。実習が始まり最初に感じた事は、薬局では薬剤師だけではなく、事務員も同等に、業務に欠かせない存在であるということです。自分が患者として薬局に伺う際は、投薬時に関わる薬剤師の印象が大きく、受付以外ではほぼ関わることのない事務員は、薬剤師の補助的役割であるという程度に思っていました。しかし、実際の現場では無くてはならない存在であり、協働することによって、薬剤師がより患者へ時間を割くことが出来ているのだと学ぶことが出来ました。

実習内容としては、ピッキングを中心とした調剤業務や、服薬指導、外部実習では在宅医療や学校薬剤師の業務に同行し仕事内容を見学し、夜間救急の薬局の役割についてや、医薬品卸の業務について学ぶことが出来ました。学内実習では主に実技試験の合格を目指した調剤手技の練習を行っていましたが、本実習では、散剤や水剤、軟膏剤の調剤に実際に携わることで、調剤技術を向上させることが出来たと感じました。外部実習の中でも特に印象に残っているのが、在宅医療について

です。薬剤師は、患者に処方された医薬品に対しての知識だけではなく、食事等の栄養管理についてや、バイタルサイン、水分管理、病態についてなど、幅広い知識が必要であることを知る機会となりました。また、患者を介助する家族へのサポートやケアも行っていくことも併せて学ぶことが出来ました。

本実習にて初めて実際の患者に対して服薬指導を行い、薬歴を記載しました。コミュニケーションを取ることが苦手だったため毎回緊張してしまいましたが、アドバイスを参考にしながら挑むことが出来ました。薬剤師は今後、患者とのコミュニケーションを十分に取ることが特に求められるため、とても有意義な経験をさせていただいたと感じました。

本実習を通して、こういった知識が不足しているのか、また、今自分はどのような分野を学ぶべきなのかを知ることが出来たため、実習後は具体性を持って勉学に励んでいきたいです。

東北地方の大学からの実習参加となりましたが、受け入れてくださり本当にありがとうございました。



令和3年度第I期実務実習薬学生記念撮影



## 学薬部会

### 令和3年度学校薬剤師新人研修会

日時：令和3年4月11日（日）13：30～16：00

会場：沖縄県薬剤師会館ホール及びWEB（Zoom）

#### <式次第>

1. 開会挨拶

2. 研修

(1) 学校薬剤師の役割～学校薬剤師の職務～

(2) 学校環境衛生の定期検査に係る実技について

3. 事務連絡

司会 学校薬剤師部会 副部会長 笠原 大吾  
学校薬剤師部会 部会長 村田 成夫

学校薬剤師部会 那覇支部長 新垣 紀子  
学校薬剤師部会 担当理事 知名 博樹  
副部会長 上原 卓朗  
学校薬剤師部会 副部会長 平良 恭子

学校薬剤師の新人向けの実務研修が4月に会館とWEB(Zoom)の両方で開催されました。

研修の内容として、最初に学校薬剤師の役割、職務についての説明がありました。学校薬剤師は、幼保連携型認定こども園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校に必ず配置することが学校保健安全法で定められていること。主な職務として、学校保健計画・学校安全計画の立案に参与、学校環境衛生基準に基づく学校の飲料水、水泳、プール、照明、空気、換気、騒音などの検査、学校環境衛生について評価し指導と助言、学校で使用する医薬品についての指導助言、学校施設、地域社会において薬物乱用防止の活動、喫煙・飲酒防止教育、アンチドーピング、医薬品の適正使用(くすり教育＝薬育)の啓発に協力、学校保健委員会に参加し子供達の健康と安全において医師・歯科医師と共に関わるとの説明がありました。実際、学校現場では毎週水質検査報告で訪問する保健室の先生からは、新型コロナウイルス感染予防対策や生徒の健康相談(エピペンや服用薬など)もよくあります。最近では、新型コロナウイルス感染対策として予算が組まれたとのことで、CO2モニターの学校での購入についてのアドバイスも求められ、災害避難場所に指定されている学校ではコロナ後も避難所運営で毎日使うことであると回答しました。



研修1 講師  
新垣紀子 那覇支部長

次に、部会で揃えている機器についての説明と手技についての説明がありました。生徒の健康状態を守るために、残留塩素測定器、騒音測定器、照度測定器、浮遊粉塵測定器、CO2測定などに使用する検知管、学校給食施設等で使用されるATP抜き取り検査であるルミテスターなどを検査センターに常備され、貸出が行えるということです。手技指導では、水質検査時の水の



研修2 講師  
知名博樹 担当理事



研修2 講師  
上原卓朗 副部会長



採取時のポイントなどや注意事項についての説明がありました。現場での検査時は一人なので、手技の指導と資料は大変心強いです。15年ほど前、非常に短期間だけ学校薬剤師の経験がありますが、その時と比べて検査項目が大分増えていました。

教本の紹介では、「学校環境衛生基準解説」、「学校環境衛生管理マニュアル」という学校薬剤師でのマニュアルとなる書籍の紹介と希望者には購入もできました。

また、情報伝達手段として、沖縄県薬剤師会の会員ホームページから最新情報を確認が可能なこと、特に重要な最新情報は個人登録されたFAXで情報伝達されることが伝えられました。

最後に、担当学校で困りごとや機器貸し出しの相談等を相談しているように壇上での各支部長の顔と連絡先の紹介があった後、無事閉会となりました。

(報告：きじゅ薬局 玉城 和子)



事務連絡  
平良恭子 副部会長



開会挨拶  
村田成夫 部会長



司会  
笠原大吾 副部会長

## ぶれいくたいむ



### ハママーチ (リュウキュウヨモギ) キク科 ヨモギ属 *Artemisia campestris*. L

ハママーチをご存知でしょうか。大方はきっと、「何？それ。」「知らない。」「聞いたこともない。」と言うでしょう。

名前の由来は葉が松の葉に似ていること。そして、海岸の砂地に自生していたことから「浜の松」、つまり方言でハママーチなんですね。今では、その存在はほとんど知られていませうが、実は昔から沖縄では、黄疸、胆石、腎臓病に良いとされ、乾燥したものが市場で売られていました。

今、薬草園でハママーチの艶やかな緑の葉が、ぐんぐん伸びて広がっています。葉を摘んでお湯を注ぐとハーブティー、弁当の友 卵焼きにもちょちょちょいと色を添える。ヒラヤーチにも。お試しあれ！

(文：女性薬剤師部会 副部会長 与儀 和子)



## 女性薬部会

### 令和2年度薬剤師継続学習通信教育講座スクーリング

日時：令和3年2月28日（日）9:55～16:05

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

#### <プログラム>

司会進行 女性薬剤師部会 副部会長 狩俣 イソ

○開会の挨拶

女性薬剤師部会 副部会長 狩俣 イソ

○「痛みの診断と治療 ペインコントロール」

社会医療法人友愛会 豊見城中央病院 全人的痛みセンター 診療部長 笹良 剛史

○「これからの感染症対策とWithコロナーCOVID-19対策と抗菌薬適正使用の問題の根っこは同じ?!」

沖縄県立中部病院 感染症内科 副部長 椎木 創一

○ランチョンセミナー「GLP-1受容体作動薬に関するご紹介」

ノボノルディスクファーマ株式会社

○「過敏性腸症候群（IBS）ー画像で便秘・下痢を理解するー」

琉球大学病院 光学医療診療部 診療教授・部長 外間 昭

○「薬剤性腎障害（DKI）」

琉球大学病院 血液浄化療法部 特命助教 座間味 亮

○閉会の挨拶

女性薬剤師部会 副部会長 狩俣 イソ

一般社団法人日本女性薬剤師会が主宰する2020年度薬剤師継続学習通信教育講座スクーリングを、去る2月28日（日）、上記プログラムで開催した。

この講座は通年制で展開され、年間8冊のテキスト学習後設問へ回答し、年1回のスクーリングを受講することで、15単位（G16）が取得できるシステムになっている。

テキストは毎年新しく執筆、編集されているため、内容が常に新しい情報となっているのが特色である。1冊につき1つのメインテーマが取り上げられ、医療（薬物を含め医師が担当）、薬学、看護、栄養、介護などの他職種連携を視野に入れた今日的情報が提供され、密度の濃いテキストになっている。加えて、メインテーマとは別にシリーズ化され

た昨今の医療を取り巻く問題や、薬学の基礎的知識にも気配りがされており、生涯教育に欠かせない1冊となっている。

今回のスクーリングは通信受講者を含めて38人の参加があった。70分の4講義とランチョンセミナー併せて10時から16時までの長丁場の講義であったが、どの講義も講師の熱演による臨床に即した第一線の興味深い内容であった。詳細は以下の4人の先生方の報告にお任せしたい。

FAX等ですすでにご存じとは思いますが、2021年度も受講生を募集している。まだ間に合う（申し込み締め切りが6月30日まで延長）ので、男性会員も含めぜひ受講をお勧めしたい。県薬剤師会まで連絡下さればありがたい。

（文：女性薬剤師部会 部会長 村田 美智子）

## <痛みの診断と治療 ペインコントロール>

### 講師

社会医療法人友愛会  
豊見城中央病院  
全人的痛みセンター  
診療部長

笹良 剛史 氏



今回講義の資料が手元になく、スライドもトラブルが発生しましたが、先生のお話だけでも、「痛み」についての理解を深めることができました。本来のテーマは「神経障害性疼痛」ですが、慢性疼痛全般についてお話を伺うことができたので報告したいと思います。

神経障害性疼痛の薬物療法ガイドラインの変遷では、オピオイド鎮痛薬の位置づけが変わっています。米国では、痛み対策の失策によるオピオイドクライシスで1日140人(2019年)が死亡していたとの事。現在はコロナ禍で、見落とされていますが、これからの日本においても「痛み」は増加し続ける健康問題と言われています。

そもそも「痛み」とは？「実質的、または潜在的な組織損傷に関連した不愉快な感覚・情動体験」と定義されています。「痛み」の治療には、薬物療法だけではなく、運動療法・心理的要素も取り入れる必要があります。痛みは正しく対処しないと慢性化することがあります。急性痛と慢性疼痛はまったく違うものの事。急性痛は身体を守る信号。慢性の痛み＝長引く痛みは脳の痛み記憶・感じ方の変化・神経の機能異常・痛みの悪循環・心の影響・ストレスの過敏反応・生活の変化をもたらします。慢性疼痛の患者の脳は萎縮を起こし、機能不全が起きますが、運動で痛みが改善すれば、脳も活性化されると言われています。運動療法・リハビリも大事な要素です。脳に働きかける運動：医療従事者が運動を指示するのではなく、患者さんができると判断した運動を本人にやってもらうことが大事です。自分で決めた運動は継続できるからです。

社会的痛み（悩み）と身体的痛みは脳が同じ状態になり、慢性痛と心の問題では、慢性痛の患者のうち、心理的な原因の無い患者は、むしろ少ないとされています。うつ病・体調の低下・病気に対する過度の恐れが引き金となって腰痛を惹起し、またそれが腰痛を悪化させる。交感神経過緊張による悪循環が起こります。

痛みの種類には、神経障害性疼痛・侵害受容性疼痛・非器質的疼痛・心因性疼痛があり、これらの要素が関連している。痛みとは、生物-心理-社会的な複合産物からの症状です。

痛みのアセスメントでは、①部位：どこが痛むのか。②性状・性質：どのように痛いのか。③強さ。④パターン：いつから、頻度は、間欠的・持続的、強さは変化する？⑤：関連因子。⑥治療への反応。⑦日常生活への影響と満足度で評価します。②痛みの性質の分類では、「侵害性受容体疼痛（内臓痛：体性痛）」神経障害性疼痛」に分けられます。神経障害性疼痛は難治性で鎮痛補助薬を必要とする事が多いとあります。⑦日常生活への影響では、痛みによって生活の質（QOL）が低下することも重大な問題となります。

痛みの原因によって薬剤を使い分けることが大事です。「慢性疼痛治療ガイドライン」からの薬剤のエビデンスについて、テキストからいくつか抜粋したいと思います。

### 1. 三環系抗うつ薬は慢性疼痛に有用か？

三環系抗うつ薬は痛みでの処方か抗うつ薬としての処方かを確認する必要があります。三環系抗うつ薬は神経障害性疼痛・線維筋痛症の痛みの軽減に有効であるが、腰痛に対して改善効果はない。アミトリプチリンは高齢者や心疾患がある患者には注意が必要とあります。

### 2. 抗不安薬は慢性疼痛に有用か？

クロナゼパムは口腔灼熱痛症候群には有効、アルプラゾラムは緊張型頭痛には限定的に有効とされています。慢性疼痛、神経障害性疼痛、繊維筋痛症に対する有用性を示すエ



ビデンスはないとされています。ベンゾジアゼピン系薬物は眠気の副作用の発生率が高く、習慣性を形成しやすいため、慢性疼痛症には使用を控えるべきであり、長期使用やオピオイド鎮痛薬との安易な併用は避けるべきとされています。

### 3. トラマドールは慢性疼痛に有効か？

トラマドールは神経障害性疼痛、腰痛、変形性関節症の痛みや身体機能を有意に改善させる。線維筋痛症に対して有用性の十分なエビデンスはない。本邦では麻薬指定されていないため、処方しやすい薬物だが、オピオイドである。漫然とした長期処方避けるべきであるとされています。

### 4. ブプレノルフィン貼付薬は慢性疼痛に有効か？

薬理的には部分的 $\mu$ 受容体作動薬であり、他のオピオイド鎮痛薬と比べると、副作用が少ない傾向にあり、合併症の多い高齢者には推奨される。腰痛と神経性関節症の痛みの軽減には有効だが、神経障害性疼痛に対するエビデンスはない。

### 5. 認知行動療法是慢性疼痛に有効である事が実証されています。

講義終了後に頂いた講義資料は、痛みについての多岐にわたる内容でした。後で読み返して勉強になるものです。今回の講義の中で、印象に残った先生の言葉がありました。神経障害性疼痛の治療の第一選択薬の中のSNRI：デュロキセチンの副作用の表現で、私は単に「飲み始めに、吐き気・嘔吐があります」が、慣れてくることもあるので、しばらく様子を見てください」と言います。先生はそれを逆手にとって、「少し吐き気や嘔吐があり、食欲減退の症状が出て、痩せることがあります」と患者さんにお話しするそうです。「やせる」という言葉は、効果的で服薬を継続することができ、痛みの軽減になります。また、「痛みを全人的に治療する」ということです。私は「全人的」という言葉を初めて聞きました。多職種の医療人とチームを作っ

て、患者さんの治療にあたるという事と理解しました。これから高齢者社会を迎える日本にとって、高齢者の痛みに対する治療は多くの問題を抱えていると思います。薬物治療を中心に精神面を支え、運動療法も取り入れて、薬物依存・乱用にならないことが大事です。

最後に先生の講義資料の結語を紹介したいと思います。神経障害性疼痛を含む慢性疼痛は多面的な要因が関わって起こり、持続する。診断・治療は身体-心理-社会モデルを用いた全人的な観点からマルチモーダルにアプローチする。長引く痛みには多職種の集合チームアプローチが有用。

痛みは患者さんの日常生活に大きく影響します。最近、高齢者の方が「痛み」を訴えて、来局することが多くなっています。単に痛み止め「NSAIDs」の処方の説明だけで終わらず、リハビリ・運動療法も大事であり、精神面を少しでも支えることを行い、多職種の人達とかかわって、高齢者の痛みの軽減の手助けができるよう、今後の業務に役立てたい講演でした。

(報告：ほたる薬局 日高 久美子)

## ＜これからの感染症対策とWithコロナ ーCOVID-19対策と抗菌薬適正使用の問題の 根っこは同じ!?ー＞

### 【講師】

沖縄県立中部病院  
感染症内科 副部長  
椎木 創一 氏



椎木先生は県内の新型コロナ対策の医療専門家としてご活躍の中、感染症をテーマにご講義くださいました。サブタイトルは「COVID-19対策と抗菌薬適正使用の根っこは同じ?!」です。

### 1. COVID-19はぶらりとやってくる！

米国で初めてCOVID-19が確認された時も、



県内初の患者が確認された時も、患者はぶらりとやってきた。初めの1週間は風邪の症状とほとんど同じで見抜けない。当初は治療薬もなく手探り状態だったが、現在はCOVID-19の特徴や治療の柱もほぼ確立されている。ウイルスを抑える薬(レムデシビル、アビガン®、オルベスコ®等)、炎症を抑える薬(デキサメサゾン、コルヒチン、アクテムラ®等)がわかってきているため、流行初期にあったような入院し挿管を余儀なくされる患者は減少してきている。大事なものは、発熱・感染症＝COVID-19ではなくその他の感染症や疾患との鑑別をしっかりと行うこと。(中部病院、高倉俊一医師作成の治療戦略を参照)

## 2. COVID-19の特徴と対策

○特徴を知って、うまく付き合おう。消毒薬も抗菌薬も何にでも効くわけではない、重要なのは使い方！

- ・上気道に好発⇒飛沫感染対策が重要。接触、換気。
- ・感染力⇒インフルエンザより強力。紙(同意書など)の類⇒24時間は袋に入れて置く。プラスチック、ステンレスは48時間：高頻度に接触する部分は拭き取る。
- ・消毒⇒手指：アルコール、環境：①小範囲はアルコール②広範囲：次亜塩素酸Na、強力な界面活性剤
- ・喀痰・咽頭⇒発症後10日経過すると培養可能なウイルスは検出できない。
- ・インフルエンザとの違い：飛沫・エアロゾルは4～5m。(インフルは1～2m)感染力のピークは発症日(インフルは2～3日後)潜伏期間は5.2日(インフルは1～2日)感染力のピークは「発症前」のため、無症候者にマスクが必要！

## 3. 医療従事者が気を付けるべきこと

○患者に症状があったとき

・マスク着用を促す・患者がCOVID-19を疑う方と接した場合、すぐに保健所に連絡し対応を相談・患者に息苦しい、咳がひどい、体が動かせないなどの強い症状があった時、病

院受診を促す。

○自分、職員に症状があった時

- ・息苦しい、咳がひどい、体が動かせないなどの強い症状があったとき、保健所または病院に連絡し受診する。
- ・発熱、咳、匂いがしないなどの症状があるとき、かかりつけ医、もしくは保健所に連絡。

○医療従事者はなぜCOVID-19に感染するのか？

- ・感染ルート⇒工作中よりそれ以外での感染リスクが高い。
- ・曝露源⇒実は患者より、医療従事者同士の感染が多いことが判明。

★医療従事者がガードを上げるべきなのは、同僚との接触時と家に帰ってからの行動が大事。

○さて、こんな時どうすればいいのか？

「昨日、薬局で服薬指導した無熱の患者がその後にCOVID-19と診断されたと報告がありました。」

薬局を閉鎖する？(×) 関わった職員を休職させる？(▲)

正解は⇒「職員は全員マスクを着用し手指衛生も行えており濃厚曝露者がいないので、健康観察しながら業務を継続する」(◎)。

ワクチン接種が始まったが、変異株も発生。ワクチンの効果や持続時間も明確ではない。

「自分は大丈夫！！」は禁物！「同僚も自分も明日はコロナかも。」と日常の対策と行動が重要。「患者にマスク着用依頼＋医療従事者もマスク」⇒濃厚曝露になりにくい。

## 4. Withコロナの感染症診療

○起炎菌の推定は容易ではないが、重症の場合治療が遅れることはリスクにつながる。診察により患者を取り巻く環境や感染の状況把握を行うことで感染臓器の絞り込みを行う。重症だから「とりあえずカルバペネム」はNo。

まず塗抹検査(スメア)と血清検査を行い、各医療機関の抗菌薬感受性パターン(ローカ

ルファクター)を参考に10種類ほどに絞り込む。培養検査の結果が判明すれば、最適な抗菌薬を使用することで微生物とのバランスを保つことに繋がる。

#### 【抗菌薬適正使用への道のり】

Step Zero:「起因微生物+感染臓器」を常に考える

1st Step:無駄な抗菌薬の使用を減らす

2nd Step:抗菌薬を適正に使う・使わない

3rd Step:微生物とのバランスを保つ

#### 【Withコロナの感染症診療】

Step Zero:「起因微生物+感染臓器」を常に考える

1st Step:誰に対しても適切な感染対策を実施する

2nd Step:無駄なPCR検査や隔離を減らす

3rd Step:COVID-19も折り込んだ適切な感染症診療を実践する

★抗菌薬適正使用は目的ではない。COVID-19も折り込んだ適切な感染症診療についてくるもの。

発熱=抗菌薬

発熱=COVID-19 同じ根源の問題。

#### 5. COVID-19ワクチンについて

○開発が難しいとされた理由⇒類似のワクチンが存在しない、ワクチン抗原が明確ではない、動物モデルがない、短期間で大量・安価な製造が求められる等。

○不活化ワクチンは実績があるが時間がかかるため、ウイルスベクター法と核酸(DNA、RNA)法が選択された。

○ウイルスベクター法(ジョンソン&ジョンソン社製):ヒトに病気を起こせないウイルスの中にウイルス遺伝子を組み込み感染させることで免疫を惹起する。利点⇒開発・製造が早い、理論的には?安全。欠点⇒未知のワクチン(エボラウイルス、遺伝子治療では実績あり)

○核酸法(ファイザー、モデルナ社製):ウ

イルス遺伝子そのものをヒト細胞内に入れ、ウイルス蛋白を産生させ、免疫を惹起する。利点⇒開発・製造が早い、理論的には?安全。欠点⇒未知のワクチン。

○ワクチンの副反応は起こる。全身症状の倦怠感、頭痛が2割弱、発熱が1割。アナフィラキシーは非常に多いわけではない(米国報告)。しかし、長期的な安全性は不明。

○ワクチン接種で感染リスクを19分の1に減らすデータがある。接種意義はあるが、ワクチンだけでは解決しない。流行の終息は?「長くかかる」という構えが重要。

以上、COVID-19の特徴と今後の対策、治療のポイントや抗菌薬適正使用、ワクチンの話題など、日常業務に即活用できる情報満載の講義でした。

(報告:こくら虹薬局 上原 幸代)

#### <過敏性腸症候群(IBS)>

ー画像で便秘・下痢を理解するー

#### 講師

琉球大学病院  
光学医療診療部  
診療教授・部長

外間 昭氏



「過敏性腸症候群」の講義を聞く前に、私はあるテレビCMを思い出していました。電車内で突然便意におそわれて汗ばむ芸人さんが、「水なし1錠!」と取り出す、あのOTC薬のCMです。どうにもならない緊張の一瞬をよく表現しているなあと、感心して観ていたものです。

今回講義頂いた、外間昭先生によると、「トイレ設備のない電車内だと、特に症状が出やすいんです」とのことでした。逃げ場がないと(精神的に)追い込まれて、お腹もより強く反応してしまう……納得でした!

私が実際に患者さんから教えて頂いた症状にも、高校生:「朝、家を出ようとするとお

腹が痛くなってトイレに駆け込み、結局学校へ行けなくなる」というものがありました。親御さんは「勉強が遅れるんじゃないか」と心配していらっしやいました。

社会人であれば勤務先への遅刻や欠勤が増えると、仕事を続けられなくなったり、そのせいで経済的に追い込まれたりする事も考えられます。

患者さんは誰も、好きでこのような症状に陥った訳ではなく、患者さん家族もまた、どうしてこうなったのかと悩む日々で負の連鎖が続いていきます。長い闘病の中で、社会とは距離を置こう……仕事は辞めよう……学校は諦めよう……という決断を下す前に、治療という選択をして欲しいと思います。

そこで、今回の外間先生の講義の中で、とても心を打たれた言葉があります。

「IBSで、精神的な事、神経的な原因は、“それは、アル！”って事です。ですが、“それをあえて言わずに”、毎日の排便習慣の現状、便の色や形などのお話をしながら、治療を進めていくんです」(全人的医療)

資料をもとにまとめると

- ①病態の根幹にストレスがあり、良好な医療者患者関係を築く事が大事(気のせい、とは言わない)
- ②器質的疾患を除外診断し、病態とメカニズムをていねいに説明する(医師との信頼関係が良好だと、プラセボも効きやすい)
- ③生活、食事指導、薬物療法の順に行い、心理療法も考慮する。

先生の外来には、便の形状(ブリストルスケールによる分類)が下敷きのようにならされていて、それを見ながら、便の色や形について、患者さんとお話をなさっているとか。決して、「ストレスからでしょう」とは言わずに、です。

もう一つ。女性薬剤師会の通信講座テキストから、新しい診断方法の紹介がありました。

「水上先生(テキスト)の報告(2017)から、画像でIBSの病態を知ることは可能なの

か」です。

内視鏡検査のストレスでIBSを誘発し、『内視鏡の挿入困難がある』、とのこと。外間先生も、「何故か有名ではない報告ですが、これからの診療に充分いかせる」との事でした。

最後に、腸への愛情が溢れている先生の言葉を借りまして、ご“整腸”ありがとうございました。

(報告：スマイル薬局古島店 小野 加那恵)

## <薬剤性腎障害(DKI)>

### 講師

琉球大学病院  
血液浄化療法部  
特命助教

座間味 亮 氏



琉球大学血液浄化療法部の座間味亮先生に「薬剤性腎障害(DKI)」について、4つのアジェンダに分けてご講義いただきましたので内容について報告いたします。

1つ目は「腎臓における尿生成・排泄の仕組み」です。腎臓で尿を作っているネフロンは、糸球体とそれを包むボーマン囊からなり、両腎で200万個存在します。ネフロンは糸球体に血液が送られると、糸球体濾過により毛細血管からボーマン囊に水分がにじみ出し、これが原尿となり、原尿は尿細管でブドウ糖・アミノ酸など必要なものは再吸収、尿毒素など不要な物質のみが尿として排泄されます。

2つ目は「腎臓における薬物排泄」です。腎臓における薬剤排泄機序は、糸球体濾過、尿細管における薬剤分泌、尿細管における薬剤再吸収の3つによって規定されています。糸球体で濾過されなかった薬剤はトランスポーターを介して近位尿細管から尿中へ分泌されますが、細胞内で一度薬物が濃縮されるため、尿細管細胞障害の原因となります。

3つ目は「腎不全におけるADMEの変化」です。Absorption: 腸管浮腫による吸収障害、尿毒



素を伴う悪心・嘔吐による吸収障害、初回通過効果増強などがあります。Distribution：浮腫、胸腹水貯留に伴う分布容積の増大、尿毒素による蛋白結合部位の占拠、低Alb血症に伴う遊離型薬物濃度の上昇があります。Metabolism：影響は少ないが、薬物代謝は遅くなります。Elimination：糸球体濾過量、尿細管からの再吸収・分泌に依存、糸球体濾過は分子量、荷電、蛋白結合率に依存、尿細管分泌は尿細管トランスポーターに依存し、腎機能障害により変化しますが測定は困難です。

4つ目は「DKIの定義、機序、治療」です。DKIの定義は、薬剤の投与により、新たに発症した腎障害あるいは既存の腎障害のさらなる悪化を認める場合となっており、4つに分類されます。①中毒性腎障害は、分泌や再吸収の過程で尿細管上皮に蓄積し、直接的な尿細管細胞障害によることが多く、基本的に用量依存性に発症するため、血中濃度が上がりやすい患者は注意が必要です。予防は高齢者、CKD患者、脱水状態では起こりやすいため、腎機能に合わせて投与量を調整、血中濃度が測定できる薬剤は測定し、中毒域を避けることです。治療は原因薬剤の中止、他の腎毒性物質と脱水を回避します。②アレルギーによる急性間質性腎炎は、薬物によるアレルギー反応により間質への好酸球・リンパ球浸潤、尿細管が障害され発症します。典型例では、薬剤投与2～3週後に発熱・皮疹を伴い、好酸球増加を伴い腎機能が悪化しますが、非典型例も多くあります。治療は原因薬剤の中止が基本、腎障害が遷延するときはステロイ

ド治療を検討します。予防は被疑薬やその同系統薬を避けることです。③薬剤による電解質異常、腎血流量減少などを介した間接毒性は、全身血圧低下、輸入細動脈経収縮、輸出細動脈経拡張が要因となり糸球体内圧が減少、糸球体濾過量が減少することによって起こります。予防は脱水がある患者はRAAS阻害剤やNSAIDsは開始しない、定期内服患者では一時中止を検討、電解質異常を起こしやすい薬剤内服している場合は定期的に電解質をチェックすることです。治療は被疑薬の中止、減量、電解質異常があれば補正します。④薬剤による結晶結成、結石結成による尿路閉塞性腎障害は、糸球体濾過時と排泄時で尿は薬100倍に濃縮、溶解度の低い薬剤は析出し、結晶性腎症となります。予防は薬剤溶解度が低い薬剤を使用する場合、尿濃縮を避けるため脱水を避けること、薬剤によっては尿アルカリ化が有用なものもあります。治療は被疑薬の中止、減量、電解質異常があれば補正します。

最後に、腎機能がゆっくり悪くなってきた場合、過量投薬になっていることに気づきにくいため、現在の投与量が腎機能にとって適正かチェックして疑義照会を行ってもらいと助かりますとお話しなされていました。腎障害を悪化させない、薬剤性腎障害を発症させない又は早期に発見できるようにするためには医師と薬剤師の連携が重要であると、座間味先生から私たち薬剤師へ熱いメッセージが込められた講義だったと思います。

(報告：(株)沖縄健康企画 宮城幸枝)

#### お知らせ

### 地区・部会からの原稿をお寄せ下さい！

ぜひ“おきなわ薬剤師会報”へ地区薬剤師会、部会の活動・状況報告等を投稿して下さい。活動報告以外の情報も歓迎します！



## 地区だより

## 一般社団法人那覇地区薬剤師会 第8回通常総会

日時：令和3年5月22日（土）19：30～20：00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

### <式次第>

1. 出席人員確認・宣言
2. 開会の辞
3. 会長挨拶
4. 議長選出
5. 議事録署名人の選出
6. 議題

- 報告第1号 令和2年度会務・事業経過報告
- 第2号 令和2年度監査報告
- 議案第1号 令和2年度決算承認について
- 第2号 理事・監事選任について
- 報告第3号 令和3年度事業計画について
- 第4号 令和3年度予算について

7. 閉会の辞

司 会 新 垣 紀 子

副会長 盛 本 直 也  
会 長 吉 田 洋 史

副会長 金 城 雄 一  
監 事 大 城 博 次  
副会長 盛 本 直 也  
会 長 吉 田 洋 史  
会 長 吉 田 洋 史  
副会長 盛 本 直 也  
副会長 金 城 雄 一

令和3年5月22日、沖縄県薬剤師会館において第8回通常総会が、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながら開催された。本人出席17名と委任状出席281名を合計し298名の出席となり、定款に定める定足数に達しているため総会が成立した。

司会は首里支部の新垣紀子先生が務め、盛本直也副会長の開会の辞で総会が始まった。

冒頭の会長挨拶では「昨年度はコロナに振り回された1年だった。会の活動が制限される中、アイデアを出しながらできることから順次開催した。財政面では、経費削減を進めたが累積赤字により数年後には資金も底をつく状態である。個人会費の新設を支部会議で提案したが、コロナの影響で薬局経営が厳しい中、新たな負担をお願いすることはできない。妙案があればご連絡いただきたい。」と述べた。

議事は、那覇北支部の山道峻也先生が議長に選出され進められた。報告第1号、第2号、第3号、第4号が資料に沿って説明が行われ、報告第3号

の事業計画では、会員より「目的に、薬剤師の職能の向上及び社会的地位の向上を図るとあるが、以前に比べ実感として社会的地位の向上になっているか」と質問が挙がり、吉田洋史会長より「これまで薬剤師が参加していなかった、那覇市や多職種団体の会議へ参加の呼びかけが多くなっていることから地位向上になっている」と答弁された。また、議案第1号、第2号についても資料に沿って説明が行われ、議案第1号決算報告では、FAX送信件数が前年比約15%減少したため収入合計が予算より落ち込んだ。支出では、人件費、通信費が減少したことで予算を大幅に下回った。その結果、赤字予算の赤字幅が縮小されたことが報告された。議案第1号、第2号について、賛否を諮ったところ満場一致で承認された。

全ての報告・議案が滞りなく終了し、金城雄一副会長の閉会の辞で第8回通常総会が無事終了した。

（文：那覇地区薬剤師会事務局）

※総会終了後、新理事による臨時理事会が行われ、会長候補の吉田洋史理事が満場一致で会長に承認され、以下の新体制となった。

会 長 吉 田 洋 史

副会長 盛 本 直 也、金 城 雄 一、又 吉 智 賀 子

理 事 中 村 昌 義、山 道 峻 也、吉 田 安 樹、國 吉 直 子、伊 波 重 宏、  
喜 友 名 朝 史（新）、宮 本 直 樹（新）、仲 里 翔 太（新）

監 事 具 志 堅 興 信、大 城 博 次

## その他会務報告 沖縄戦殉職医療人之碑へ慰霊

令和3年6月23日（日）慰霊の日〔ひめゆりの塔構内〕



左より、稲田隆司沖縄県医師会常任理事、前濱朋子会長、神村武之相談役、村田美智子副会長

沖縄県内各地で開催される各慰霊碑への参列には、沖縄県が新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言下のため、参列の自粛が呼びかけられ、昨年よりさらに縮小した異例の開催となりました。

本会の沖縄戦殉職医療人之碑への慰霊は、例年通り、合同参拝時間を午前10時30分としていたため、梅雨明け時期にも関わらず連日の大雨で悪天候を心配しておりましたが、現地に到着した時には小雨交じりの平年より5度近く低い涼やかな天候となっておりました。

沖縄戦殉職医療人之碑には、毎年、本会と沖縄県医師会、沖縄県歯科医師会の供花が添えられています。本会からは、前濱朋子会長、村田美智子副会長、神村武之相談役が参列しました。また、同時時間帯に参拝に来られた沖縄県医師会の稲田隆司常任理事とも参列することができました。

本会の沖縄戦殉職医療人之碑への慰霊は、毎年、午前10時30分から行っておりますので、ぜひ、一緒にご参拝頂けたらと思います。

（文：事務局 大城 喜仁）

### ＜沖縄戦殉職医療人之碑＞

沖縄戦殉職医療人之碑は、昭和23年1月28日に沖縄医療団により、ひめゆりの塔の隣に建立された。題字は、翠宮城瑞芳氏の揮毫。

沖縄戦で軍に協力し、住民の衛生、保健、治療に活動し、各地で戦死した医師、歯科医師、薬剤師、看護婦等、約50余名を合祀している。戦時体制となった時、住民の生命を預かる医師の大半は日本本土へ疎開したが、自分たちの郷土は自分たちの手で守り抜こうと覚悟を決めた医師達は、郷土に踏み止まって住民の治療、衛生に努力した。戦局は不利となり、日を追って増加する傷病者の治療、看護に疲れて倒れる者、さらに、敵陣に斬り込み、自決する者等、実に仁術を天命として尽くし、最後まで闘って戦没した。

薬剤師は、県内・県外合わせて10人近くになると思われる。その内の1人、本会第2代会長の長田紀助氏（会員の故久場トヨ氏、長田紀昭氏の御尊父）は、厚生大臣任命で、佐官待遇の軍属として南部戦線に向かわれ、玉城村（現南城市）字系数付近で戦没された。喜瀬乗垣氏（キセ薬局・故喜瀬乗惟先生の御令兄）は中国大陸の山野で没された。

# 薬事情報おきなわ No.265

2021年5-6月号 : Vol.36 No.2

薬事情報センター TEL : 098-963-8931

FAX : 098-963-8937

## 薬価基準追補収載品目

### ●新医薬品 2021年4月21日付

| 区分          | 販売名<br>( )内は識別コードまたは製剤表示      | 規格単位         | 薬価         | 会社名             | 成分名:適応症・効能効果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-------------|-------------------------------|--------------|------------|-----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 内<br>用<br>薬 | イグザレルトドライシロップ小児用<br>51.7mg    | 51.7mg1瓶     | 5,308.30   | バイエル薬品          | リバーロキサバン:選択的直接作用型第Xa因子阻害剤<br>(静脈血栓塞栓症の治療及び再発抑制)(新用量・新剤<br>形医薬品)                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|             | イグザレルトドライシロップ小児用<br>103.4mg   | 103.4mg1瓶    | 9,333.10   |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|             | マスーレッド錠5mg<br>(マスレッド'5)       | 5mg1錠        | 44.30      | バイエル薬品          | モリデュスタットナトリウム:HIF-PH阻害薬/腎性貧血治<br>療薬(腎性貧血)(新有効成分)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|             | マスーレッド錠12.5mg<br>(マスレッド'12.5) | 12.5mg1錠     | 93.70      |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|             | マスーレッド錠25mg<br>(マスレッド'25)     | 25mg1錠       | 165.10     |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|             | マスーレッド錠75mg<br>(マスレッド'75)     | 75mg1錠       | 405.30     |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|             | エドルミズ錠50mg<br>(エドルミズ'50)      | 50mg1錠       | 246.40     | 小野薬品工業          | アナモレリン塩酸塩:グレリン様作用薬(悪性腫瘍におけ<br>るがん悪液質・非小細胞肺癌、胃癌、膵癌、大腸癌)<br>(新有効成分)                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|             | アルンブリグ錠30mg<br>(U3)           | 30mg1錠       | 4,200.50   | 武田薬品工業          | ブリグチニブ:抗悪性腫瘍剤/チロシンキナーゼ阻害剤<br>(ALK融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小<br>細胞肺癌)(新有効成分)                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|             | アルンブリグ錠90mg<br>(U7)           | 90mg1錠       | 11,598.00  |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
|             | カルケンスカプセル100mg<br>(ACA100mg)  | 100mg1カプセル   | 15,202.20  | アストラゼネカ         | アカラブルチニブ:抗悪性腫瘍剤/ブロン型チロシンキ<br>ナーゼ阻害剤(再発又は難治性の慢性リンパ性白血病<br>(小リンパ球性リンパ腫を含む))(新有効成分)                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 注<br>射<br>薬 | オラデオカプセル150mg<br>(BCX150)     | 150mg1カプセル   | 74,228.20  | オーファンパ<br>シフィック | ペトラルスタット塩酸塩:遺伝性血管性浮腫発作抑制<br>用 血漿カリクレイン阻害剤(遺伝性血管性浮腫の急性発<br>作の発症抑制)(新有効成分)                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|             | サルプレップ配合内用液                   | 480mL1瓶      | 1,011.60   | 日本製薬            | 無水硫酸ナトリウム/硫酸カリウム/硫酸マグネシウム:経<br>口腸管洗浄剤(大腸内視鏡検査時の前処置における腸<br>管内容物の排除)(新医療用配合剤)                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|             | エムガルティ皮下注120mgオートイ<br>ンジェクター  | 120mg1mL1キット | 45,165     | 日本イーライリ<br>リー   | ガルカネズマブ(遺伝子組換え):ヒト化抗CGRPモノク<br>ロナル抗体製剤(片頭痛発作の発症抑制)(新有効成<br>分)                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|             | エムガルティ皮下注120mgシリンジ            | 120mg1mL1筒   | 44,940     |                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 外<br>用<br>薬 | ヒュンタラーゼ脳室内注射液15mg             | 15mg1mL1瓶    | 1,981,462  | クリニジェン          | イデュルスルファーゼ ベータ(遺伝子組換え):ムコ多<br>糖症Ⅱ型治療剤(ムコ多糖症Ⅱ型)(新有効成分(希少疾<br>病用医薬品))                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|             | リンスパッド点滴静注用1000mg             | 1000mg1瓶     | 216,054    | オーシャンパ<br>シフィック | 生物学的製剤基準 乾燥濃縮人α <sub>1</sub> -プロテイナーゼイ<br>ンヒビター:血漿分画製剤(重症α <sub>1</sub> -アンチトリプシン欠<br>乏症)(新有効成分)                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 注<br>射<br>薬 | ジムソ膀胱内注入液50%                  | 50%50m L1瓶   | 11,210.50  | 杏林製薬            | ジメチルスルホキシド:間質性膀胱炎治療剤(間質性膀<br>胱炎(ハンナ型)の諸症状(膀胱に関連する慢性的骨盤<br>部の疼痛、圧迫感及び不快感、尿意亢進又は頻尿等の<br>下部尿路症状)の改善)(新有効成分(希少疾病用医薬<br>品))                                                                                                                                                                                                                                            |
|             | イエスカルタ点滴静注                    | 1患者当たり       | 32,647,761 | 第一三共            | アキシカプタゲン シロルユーセル:ヒト体細胞加工製品<br>(以下の再発又は難治性のB細胞型B細胞リンパ腫・<br>びまん性大細胞型B細胞リンパ腫、原発性縦隔大細胞<br>型B細胞リンパ腫、形質転換濾胞性リンパ腫、高悪性度<br>B細胞リンパ腫 ただし、以下のいずれも満たす場合に<br>限る・CD19抗原を標的としたキメラ抗原受容体発現T<br>細胞輸注療法の治療歴がない。・自家造血幹細胞移<br>植に適応がある患者であって、初発の患者では化学療<br>法を2回以上、再発の患者では再発後に化学療法を1回<br>以上施行したが奏効が得られなかった若しくは自家造血<br>幹細胞移植後に再発した場合、又は自家造血幹細胞移<br>植に適応がない患者)(新再生医療等製品(希少疾病用<br>再生医療等製品)) |

## ●新医薬品 2021年5月19日付

| 区分                      | 販売名<br>( )内は識別コードまたは製剤表示       | 規格単位                 | 薬価        | 会社名                          | 成分名:適応症・効能効果                                                                                                                               |
|-------------------------|--------------------------------|----------------------|-----------|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 内<br>用<br>薬             | イスツリサ錠1mg<br>(NVR Y1)          | 1mg1錠                | 3,335.90  | レコルダティ・<br>レア・ディジー<br>ズ・ジャパン | <b>オシドロスタットリン酸塩</b> :副腎皮質ホルモン合阻害剤<br>(クッシング症候群(外科的処置で効果が不十分又は施行が困難な場合))(新有効成分)                                                             |
|                         | イスツリサ錠5mg<br>(NVR Y2)          | 5mg 1錠               | 13,249.00 |                              |                                                                                                                                            |
|                         | ヴァイトラックピカプセル25mg<br>(25mg/④)   | 25mg1カプセル            | 4,042.50  | バイエル薬品                       | <b>ラロレクチニブ硫酸塩</b> :抗悪性腫瘍剤/トロポミオシン受容体キナーゼ阻害剤(NTRK融合遺伝子陽性の進行・再発の固形癌)(新有効成分)                                                                  |
|                         | ヴァイトラックピカプセル100mg<br>(100mg/④) | 100mg1カプセル           | 14,542.90 |                              |                                                                                                                                            |
|                         | ヴァイトラックピ内用液20mg/mL             | 2%1mL                | 2,908.60  |                              |                                                                                                                                            |
|                         | ペマジール錠4.5mg<br>(I/4.5)         | 4.5mg1錠              | 25,631.20 | インサイト・バ<br>イオサイエン<br>シズ・ジャパン | <b>ペミガチニブ</b> :抗悪性腫瘍剤/FGFR阻害剤(がん化学療法後に増悪したFGFR2融合遺伝子陽性の治癒切除不能な胆道癌)(新有効成分)                                                                  |
| 注<br><br>射<br><br><br>薬 | ケシンブタ皮下注20mgペン                 | 20mg0.4mL1キット        | 230,860   | ノバルティス<br>ファーマ               | <b>オフアツムマブ(遺伝子組換え)</b> :多発性硬化症治療剤/<br>ヒト型抗CD20モノクローナル抗体(下記患者における再<br>発予防及び身体的障害の進行抑制、再発寛解型多発<br>性硬化症、疾患活動性を有する二次性進行型多発性<br>硬化症)(新投与経路、新効能) |
|                         | イズカーゴ点滴静注用10mg                 | 10mg1瓶               | 251,030   | JCRファーマ                      | <b>パピナフスプ アルファ(遺伝子組換え)</b> :遺伝子組換<br>えムコ多糖症Ⅱ型治療剤(ムコ多糖症Ⅱ型)(新有効成<br>分)                                                                       |
|                         | ジョイクル関節注30mg                   | 30mg3mL1筒            | 4,394     | 生化学工業                        | <b>ジクロフェナクエタルヒアルロン酸ナトリウム</b> :関節機能改<br>善剤(変形性関節症(膝関節、股関節))(新有効成分)                                                                          |
|                         | ボライビー点滴静注用30mg                 | 30mg1瓶               | 298,825   | 中外製薬                         | <b>ボラツズマブ ベドチン(遺伝子組換え)</b> :抗悪性腫瘍剤<br>/微小管阻害薬結合抗CD79bモノクローナル抗体(再発<br>又は難治性のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫)(新有<br>効成分)                                     |
|                         | ボライビー点滴静注用140mg                | 140mg1瓶              | 1,364,330 |                              |                                                                                                                                            |
|                         | レミトロ点滴静注用300 μg                | 300 μg1瓶             | 85,610    | エーザイ                         | <b>デニロイキン ジフチトクス(遺伝子組換え)</b> :抗悪性腫<br>瘍剤(○再発又は難治性の末梢性T細胞リンパ腫 ○<br>再発又は難治性の皮膚T細胞性リンパ腫)(新有効成分)                                               |
|                         | ダラキューロ配合皮下注                    | 15mL1瓶               | 434,209   | ヤンセン<br>ファーマ                 | <b>ダラツムマブ(遺伝子組換え)・ボルヒアルロニダーゼ ア<br/>ルファ(遺伝子組換え)</b> :ヒト型抗CD38モノクローナル抗<br>体/ヒアルロン酸分解酵素配合剤(多発性骨髄腫)(新有<br>効成分・新医療用配合剤)                         |
|                         | スーイック静注用250                    | 250国際単位1瓶<br>(溶解液付)  | 22,543    | 藤本製薬                         | <b>シモクトログ アルファ(遺伝子組換え)</b> :遺伝子組換え型<br>血液凝固第Ⅷ因子製剤(血液凝固第Ⅷ因子欠乏患者<br>における出血傾向の抑制)(新有効成分)                                                      |
|                         | スーイック静注用500                    | 500国際単位1瓶<br>(溶解液付)  | 41,865    |                              |                                                                                                                                            |
|                         | スーイック静注用1000                   | 1000国際単位1瓶<br>(溶解液付) | 77,750    |                              |                                                                                                                                            |
|                         | スーイック静注用2000                   | 2000国際単位1瓶<br>(溶解液付) | 144,395   |                              |                                                                                                                                            |
|                         | スーイック静注用2500                   | 2500国際単位1瓶<br>(溶解液付) | 176,239   |                              |                                                                                                                                            |
|                         | スーイック静注用3000                   | 3000国際単位1瓶<br>(溶解液付) | 207,405   |                              |                                                                                                                                            |
|                         | スーイック静注用4000                   | 4000国際単位1瓶<br>(溶解液付) | 268,164   |                              |                                                                                                                                            |
|                         | ユプリズナ点滴静注100mg                 | 100mg10mL1瓶          | 3,495,304 | 田辺三菱製薬                       | <b>イネビリズマブ(遺伝子組換え)</b> :抗CD19モノクローナル<br>抗体製剤(視神経髄膜炎スペクトラム障害(視神経髄膜<br>炎を含む)の再発予防)(新有効成分)                                                    |



## ●新医薬品 2021年5月19日付

| 区分  | 販売名<br>( )内は識別コードまたは製剤表示 | 規格単位         | 薬価         | 会社名    | 成分名・適応症・効能効果                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----|--------------------------|--------------|------------|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 外用薬 | ジクトルテープ75mg              | 75mg1枚       | 156.50     | 久光製薬   | <b>ジクロフェナクナトリウム</b> :経皮吸収型 持続性がん疼痛治療剤(各種がんにおける鎮痛)(新効能、新剤形)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|     | アリケイス吸入液590mg            | 590mg8.4mL1瓶 | 42,408.40  | インスメッド | <b>アミカシン硫酸塩</b> :アミノグリコシド系抗生物質製剤(適応菌種:アミカシンに感性のマイコバクテリウム・アビウムコンプレックス(MAC) 適応症:マイコバクテリウム・アビウムコンプレックス(MAC)による肺非結核性抗酸菌症(新投与経路)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|     | ブレヤンジ静注                  | 1患者当たり       | 32,647,761 | セルジーン  | <b>リソカプタゲン マラルユーセル</b> :ヒト体細胞加工製品(以下の再発又は難治性の <big>大細胞型B細胞リンパ腫</big><br>・びまん性大細胞型B細胞リンパ腫、原発性縦隔大細胞型B細胞リンパ腫、形質転換低悪性度非ホジキンリンパ腫、高悪性度B細胞リンパ腫。再発又は難治性の濾胞性リンパ腫。ただし、CD19抗原を標的としたキメラ抗原受容体発現T細胞輸注療法の治療歴がなく、自家造血幹細胞移植の適応がない患者又は自家造血幹細胞移植後に再発した患者で、以下のいずれかを満たす場合に限る。・形質転換低悪性度非ホジキンリンパ腫以外の大細胞型B細胞リンパ腫及び濾胞性リンパ腫の患者では、初発の患者では2回以上の化学療法歴、再発の患者では再発後に1回以上の化学療法歴があり、化学療法により完全奏効が得られなかった又は治療後に再発した。・濾胞性リンパ腫が形質転換した形質転換低悪性度非ホジキンリンパ腫の場合には、形質転換後の1回以上を含む、通算2回以上の化学療法歴があり、形質転換後の化学療法により完全奏効が得られなかった又は化学療法後に再発した。・濾胞性リンパ腫以外の低悪性度B細胞性非ホジキンリンパ腫が形質転換した形質転換低悪性度非ホジキンリンパ腫の場合には、形質転換後に2回以上の化学療法歴があり、形質転換後の化学療法により完全奏効が得られなかった又は化学療法後に再発した)( <big>新再生医療等製品</big> ) |

## ●報告品目・新キット製品 2021年5月26日付

| 区分  | 販売名<br>( )内は識別コードまたは製剤表示        | 規格単位                     | 薬価     | 会社名      | 成分名・適応症・効能効果                                                                                                                                                                                                                                                                       |
|-----|---------------------------------|--------------------------|--------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 内用薬 | ノーベルジン顆粒5%                      | 5%1g                     | 548.80 | ノーベルファーマ | <b>酢酸亜鉛</b> :ウィルソン病治療剤(銅吸収阻害剤)低亜鉛血症治療剤(○ウィルソン病(肝レンズ核変性) ○低亜鉛血症)(再審査期間中の剤形追加、新用量)                                                                                                                                                                                                   |
| 注射薬 | フルマゼニル 静注0.5mgシリンジ「テルモ」         | 0.5mg5mL1筒               | 1,180  | テルモ      | <b>フルマゼニル</b> :ベンゾジアゼピン受容体拮抗薬(ベンゾジアゼピン系薬剤による鎮静の解除及び呼吸抑制の改善)(新キット製品)                                                                                                                                                                                                                |
|     | インスリン アスパルトBS注カート NR「サノフィ」      | 300単位1筒                  | 746    | サノフィ     | <b>インスリン アスパルト(遺伝子組換え)</b> [ <b>インスリン アスパルト後続1</b> ]:超即効型インスリンアナログ注射液(インスリン両方が適応となる糖尿病)(バイオ後続品)                                                                                                                                                                                    |
|     | インスリン アスパルトBS注ソロスター NR「サノフィ」    | 300単位1キット                | 1,418  |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|     | インスリン アスパルトBS注100単位/mL NR「サノフィ」 | 100単位1mL <sub>バイアル</sub> | 218    |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|     | アダリムマブBS皮下注20mgシリンジ0.4mL「第一三共」  | 20mg0.4mL1筒              | 20,519 | 第一三共     | <b>アダリムマブ(遺伝子組換え)</b> [ <b>アダリムマブ後続2</b> ]:ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤(既存治療で効果不十分な疾患 ○多関節に活動性を有する若年性特発性関節炎)<br><b>アダリムマブ(遺伝子組換え)</b> [ <b>アダリムマブ後続2</b> ]:ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体製剤(○関節リウマチ(関節の構造的損傷の防止を含む) 既存治療で効果不十分な疾患 ○尋常性乾癬、関節症性乾癬、膿疱性乾癬 ○強直性脊椎炎 ○腸管型パーチェット病 (バイオ後続品) |
|     | アダリムマブBS皮下注40mgシリンジ0.8mL「第一三共」  | 40mg0.8mL1筒              | 39,828 |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|     | アダリムマブBS皮下注40mgペン0.8mL「第一三共」    | 40mg0.8mL1キット            | 39,828 |          |                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

●報告品目・新キット製品 2021年5月26日付

| 区分  | 販売名<br>( )内は識別コードまたは製剤表示 | 規格単位    | 薬価     | 会社名     | 成分名:適応症・効能効果                                                                             |
|-----|--------------------------|---------|--------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 外用薬 | ゼビアックス油性クリーム2%           | 2%1g    | 7,020  | マルホ     | オゼノキサシン:キノロン系外用抗菌剤(適応菌種)オゼノキサシンに感性的ブドウ球菌属、アクネ菌(適応症)表在性皮膚感染症、ざ瘡(化膿性炎症を伴うもの))(再審査期間中の剤形追加) |
|     | コレクチム軟膏0.25%             | 0.25%1g | 141.40 | 日本たばこ産業 | デルゴシチニブ:外用ヤヌスキナーゼ(JAK)阻害剤(アトピー性皮膚炎)(新用量医薬品再審査期間中の規格追加)                                   |

\* 識別記号の「@」は製薬会社のマークの代用としています。



●全都道府県で80%以上-後発品促進の新目標示す～厚生省(薬事日報5月6日)

厚生労働省は4月27日、経済財政諮問会議の経済・財政一体改革推進委員会社会保障ワーキング・グループに、2023年度末までに後発品の数量シェアを全都道府県で80%以上とする新たな目標を示した。後発品メーカーの不祥事による後発品使用割合の変化や傾向を注視した上で、地域や医療機関別の使用割合も見える化し、後発品の普及が遅れている地域を底上げする。

●感染1年後97%抗体持続「ワクチンは再接種必要」～横浜市立大(時事通信5月20日)

横浜市立大の研究チームは20日、新型コロナウイルスの従来株感染から1年が経過しても、感染を阻止する「中和抗体」が97%の人で持続しているとの分析結果を発表。一方、変異株の場合、軽症・無症状で中和抗体の量が1年後に大きく減っていた。ワクチンを接種しても抗体量は同様に減るとみられている。

●抗菌薬の安定供給実現で薬局方国際化求める声～日本感染症学会(薬事日報5月20日)

横浜市内で開かれた日本感染症学会学術講演会では、日本薬局方で規定されている品質要求が海外に比べて高いため、新型コロナウイルスの感染拡大など緊急時での対応が必要な場合に海外原薬を調達できないとの指摘が出た。厚生労働省も薬局方の国際化を進め、必要に応じて規制の見直しを検討する考えを示した。

●AZ製「当面は接種せず」血栓症リスク対応を検討～厚科審分科会(薬事日報5月26日)

厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会は21日、特例承認されたモデルナ製とアストラゼネカ製の新型コロナウイルス感染症ワクチンについて、予防接種法上の接種に使用できるか審議した。アストラゼネカ製は血栓症に関する診断と治療の手引き作成に時間がかかることや接種の対象年齢が確立していないため、当面は接種を見合わせることを決めた。

●ワクチン巡り労災請求30件 医療従事者ら～厚労相答弁(共同通信5月25日)

田村厚生労働相は24日の参院決算委員会で、医療従事者らへの新型コロナウイルスのワクチン接種を巡り、

副反応など健康被害があったとして労災保険の給付を求める請求が21日時点で30件に上ると明らかにした。厚生省は、一般労働者のワクチン接種を業務として認めず、健康被害を労災保険の対象外とする一方、医療従事者らの接種は医療提供体制の確保のため必要として、対象に含めるとの見解を示している。

●1回接種ワクチン国内申請、来年初頭供給へ～ヤンセンファーマ(薬事日報5月26日)

ジョンソン・エンド・ジョンソン(J&J)は24日、ヤンセンファーマが1回接種の新型コロナウイルス感染症ワクチンの国内承認申請を行ったと発表。特例承認の適用は求めておらず、通常の承認プロセスを経て、2022年初頭に国内へワクチンを供給できる可能性があるとしている。ENSEMBLE試験では、予防効果は全体で66%との結果が示されている。

●子ども接種、慎重に実施を 日本小児科学会見解、個別を推奨(共同通信6月17日)

日本小児科学会は16日、健康な子どもへの新型コロナウイルスワクチン接種について、意義があるとしつつ「慎重な実施が望ましい」とする見解を公表した。感染しても大人と比べ軽症で済む傾向があることや、発熱や接種部位の痛みといった副反応とみられる症状が出やすいことなどが理由。集団ではなく個別接種を推奨している。

●定員割れの私大が増加-新設薬学部でも低調傾向～文科省(薬事日報6月18日)

文部科学省は16日、全国私立大学薬学部・薬科大学の約4割が2020年度の入学定員充足率で90%以下となっている実態を明らかにした。18年度、19年度に比べて充足率90%以下の割合は増加しており、薬学部の入学者数が定員に満たない定員割れの問題が鮮明となった。

●6年制卒の免許取得「当然」一貫した臨床研修検討を～厚生省(薬事日報6月18日)

厚生労働省は16日、「薬剤師の養成および資質向上等に関する検討会」の取りまとめ案を示し、概ね了承された。薬学部6年制を卒業した学生が薬剤師免許を取得することは必要不可欠とし、大学に教育の質の確保を求めた。取りまとめでは「薬剤師の養成」「薬剤師の業務・資質向上」の2項目について、関係者が取り組むべき施策を提言として示した。

重  
要

# 安全性速報

2021 年6月  
21-01 号

## ジョイクル®関節注30mgによる ショック、アナフィラキシーについて

2021 年 3 月 23 日の製造販売承認取得以降、5 月 28 日までの間に、本剤使用患者において重篤なショック、アナフィラキシーの症例が 10 例報告されています（推定使用患者数 約 5,500 人<sup>注</sup>）。

このうち 1 例は、因果関係は不明ですが、死亡に至った症例として報告されています。このため、本剤の「使用上の注意」の「警告」を新設し、「重要な基本的注意」及び「重大な副作用」を改訂することと致しました。

注）推定使用患者数は承認から 2021 年 5 月 28 日まで

本剤の使用にあたっては、下記の事項に十分にご留意ください。

- 本剤投与により重篤なショック、アナフィラキシーが発現することがあるので、投与に際しては、緊急時に十分な対応のできる準備をしてください。
- 本剤投与後少なくとも30分間は、医師の管理下で患者の状態を十分に観察してください。また、本剤投与後のショック、アナフィラキシーの発現は、投与直後に限らず、医療機関から帰宅後に発現している症例も報告されている点に留意してください。
- 患者又は家族等に対して、ショック、アナフィラキシーが発現する可能性があること、及びその徴候や症状について十分に説明し、異常が認められた場合には、速やかに医療機関を受診するよう指導してください。

### 【お問い合わせ先】

販 売 元：小野薬品工業株式会社 くすり相談室

（電話 0120-626-190 受付時間：土日・祝日・会社休日を除く 9 時～17 時）

[ジョイクル治験時のアナフィラキシーショック、アナフィラキシー反応の詳細]

| 症例 1                                                                                                            | 性別<br>年齢(歳)                                                         | 報告者の用語<br>基本語                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 発現の<br>タイミング <sup>a</sup> | 転帰<br>転帰日(日 <sup>b</sup> ) | 重症度<br>重篤性 | 因果関係<br>治験薬に対して<br>とられた処置 | その他の処置 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|----------------------------|------------|---------------------------|--------|
|                                                                                                                 | 女性<br>55                                                            | Anaphylactic shock<br>アナフィラキシーショック                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 初回投与後 1 日                 | 回復<br>発現後 6 日              | 中等度<br>重篤  | 投与中止                      | 併用薬、排液 |
|                                                                                                                 | MedDRA/J Version 21.1      a: 発現日 - 投与開始日 + 1      b: 転帰日 - 発現日 + 1 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                           |                            |            |                           |        |
| 初回投与後日数                                                                                                         |                                                                     | 経過及び処置                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                           |                            |            |                           |        |
| 投与開始日                                                                                                           |                                                                     | 10:31 治験薬を対象膝(右膝)に投与。治験薬投与前血圧 141/78 mmHg。治験薬投与後、会社へ向かう途中で右膝の腫れ、痛みあり。<br>13:00 蕁麻疹発現。<br>15:00 嘔気あり。<br>16:23 被験者から治験協力者へ電話連絡あり、上記の症状があることを聴取したと報告を受け、すぐに来院するよう指示。<br>18:20 治験実施医療機関に到着。到着時に全身発疹、冷感、気分不快、顔面蒼白、ふるえの症状あり。<br>18:30 生理食塩液 100 mL +デキサメタゾンリン酸エステルナトリウム点滴開始。右膝が腫れているため関節液を排液。<br>血圧: 88/64 mmHg。<br>19:00 点滴終了。血圧 99/72 mmHg。<br>19:30 症状軽快のため、帰宅。プレドニゾン、ベタメタゾン吉草酸エステル／ゲンタマイシン硫酸塩、ピラスチンを 5 日分処方。<br>治験薬投与後の事象であり、治験薬との関連が否定できない状況であるため、これ以上の治験継続は困難と判断した。<br>また、対象膝関節液の一般細菌検査及び免疫学的検査、臨床検査を実施。 |                           |                            |            |                           |        |
| 投与後 4 日                                                                                                         |                                                                     | 蕁麻疹の発現と消失を繰り返している、その他の症状はない。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                           |                            |            |                           |        |
| 投与後 6 日                                                                                                         |                                                                     | 再診。治験薬投与開始日に処方の内服薬は飲み切り終了。本日から蕁麻疹の発現なし。全身状態良好。(転帰:回復)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                           |                            |            |                           |        |
| 被験者背景: 女性、55 歳、身長: 16●.4 cm、体重: 6●.8 kg<br>既往歴: なし、合併症: 背部痛、変形性関節症      併用薬(有害事象発現までに使用された薬剤): なし<br>他の有害事象: なし |                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                           |                            |            |                           |        |

| 症例 2                                                                | 性別<br>年齢(歳) | 報告者の用語<br>基本語                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 発現の<br>タイミング <sup>a</sup> | 転帰<br>転帰日(日 <sup>b</sup> ) | 重症度<br>重篤性 | 因果関係<br>治験薬に対して<br>とられた処置 | その他の処置 |
|---------------------------------------------------------------------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|----------------------------|------------|---------------------------|--------|
|                                                                     | 女性<br>52    | Anaphylaxis<br>アナフィラキシー反応                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 初回投与後 1 日                 | 回復<br>発現後 8 日              | 中等度<br>重篤  | 投与中止                      | 併用薬    |
| MedDRA/J Version 21.1      a: 発現日 - 投与開始日 + 1      b: 転帰日 - 発現日 + 1 |             |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                           |                            |            |                           |        |
| 初回投与後日数                                                             |             | 経過及び処置                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                           |                            |            |                           |        |
| 投与開始日                                                               |             | 12:10 治験薬投与。治験薬投与前血圧: 129/85 mmHg。<br>12:30 頃 有害事象なく帰宅。<br>14:30 頃 被験者より電話連絡あり。投与部位(右膝)に腫脹、熱感あり。経過観察とした。<br>15:00 頃 そう痒感発現。<br>15:30 頃 再度電話連絡あり。全身発赤・そう痒感あり。再来院を指示。<br>16:00 頃 再来院。血圧: 108/74 mmHg、脈拍数: 94 拍/分、SpO <sub>2</sub> : 96%、呼吸数: 23 回/分。<br>全身に発疹・そう痒感・体動時の呼吸苦あり。併用薬はなく、治験薬によるアレルギー症状と判断し、治験中止とした。<br>メクロルフェニラミンマレイン酸塩 5 mg、ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム 100 mg 点滴投与。<br>点滴終了後、症状軽快。血圧: 114/81 mmHg、脈拍数: 75 拍/分。<br>ベタメタゾン・メクロルフェニラミンマレイン酸塩を処方し、一旦帰宅<br>20:18 呼吸苦・吐気・嘔吐・発疹にて治験実施医療機関へ救急搬送され、処置の後入院と判断。<br>到着時、体温: 36.2℃、脈拍数: 77 拍/分、血圧: 127/95 mmHg、SpO <sub>2</sub> : 98%、呼吸数: 28 回/分。<br>呼吸苦(-)、顔面・下腿膨隆疹(+)、そう痒感(-)、嘔吐(-)。<br>乳酸リンゲル液 500 mL、ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム 200 mg、メクロルフェニラミンマレイン酸塩 10 mg、塩酸メクロプラミド 10 mg を点滴投与。<br>22:30 顔面・下腿膨隆疹(-)。乳酸リンゲル液 500 mL を点滴投与。 |                           |                            |            |                           |        |
| 投与後 2 日                                                             |             | 両手・大腿部・下腿部・足底に軽度膨隆疹あり。前日から腹痛、下痢あり。<br>メクロルフェニラミンマレイン酸塩 5 mg、乳酸リンゲル液 500 mL、メチルプレドニゾンコハク酸エステルナトリウム 500 mg、アミノフィリン水和物 250 mg を点滴投与。 体温: 37.5℃、脈拍数: 85 拍/分、血圧: 123/71 mmHg、呼吸数: 14 回/分。<br>発疹軽快。11:00 より外出。<br>帰院後、20:30 頃に膨隆疹発現、そう痒感あり。<br>ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム 100 mg、グリチルリチン酸一アンモニウム・グリシン・L-システイン 40 mL を点滴投与し膨隆疹軽快、そう痒感消失。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                           |                            |            |                           |        |
| 投与後 3 日                                                             |             | 膨隆疹発現、そう痒感軽度あり。<br>メクロルフェニラミンマレイン酸塩 5 mg、ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム 100 mg を点滴投与。<br>膨隆疹軽減傾向にて 8:30 より外出。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                           |                            |            |                           |        |



|                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                                                                                                            | 20:15 帰院後、両頬紅潮あり。徐々に全身膨隆疹発現、そう痒感、疼痛軽度あり。<br>メクロルフェニラミンマレイン酸塩 5 mg、ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム 100 mg を点滴投与後、軽快。                                                                        |
| 投与後 4 日                                                                                                                    | 膨隆疹消失、そう痒感(-)、呼吸苦(-)、跛行(-)、腫脹(-)。発疹の頻度は下がっており、退院と判断。<br>念のため、メクロルフェニラミンマレイン酸塩 5 mg、ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム 100 mg を点滴投与。ベタメタゾン・メクロルフェニラミンマレイン酸塩は、3 錠／日から 6 錠／日に増量継続とし、引き続き経過観察とした。 |
| 投与後 8 日                                                                                                                    | 治験中止時検査実施。<br>退院後は症状再発なく、ベタメタゾン・メクロルフェニラミンマレイン酸塩は、本日より服用を一旦中止とした。(転帰：回復)                                                                                                         |
| 被験者背景：女性、52 歳、身長：16●.5 cm、体重：6●.1 kg<br>既往歴：なし、合併症：背部痛 併用薬（有害事象発現までに使用された薬剤）：なし<br>他の有害事象：下痢（症例報告書の記載名：diarrhea）（治験薬投与開始日） |                                                                                                                                                                                  |

#### ◆[ジョイクル市販後のアナフィラキシーショック、アナフィラキシー反応の一覧]

| No. | 発現年度 | 年齢    | 性別 | 副作用（PT）                  | 転帰 | 最終投与から発症までの時間                 |
|-----|------|-------|----|--------------------------|----|-------------------------------|
| 1   | 2021 | 80 歳  | 女  | アナフィラキシーショック             | 死亡 | 不明（自宅にタクシーで帰り、自宅近くで）          |
| 2   | 2021 | 85 歳  | 女  | 冷汗、蕁麻疹、腹部不快感、<br>血圧低下    | 不明 | 数分後                           |
| 3   | 2021 | 不明    | 不明 | アナフィラキシーショック             | 不明 | 不明                            |
| 4   | 2021 | 不明    | 不明 | アナフィラキシー反応               | 回復 | 投与直後                          |
| 5   | 2021 | 不明    | 不明 | アナフィラキシー反応               | 不明 | 不明（午前中に本剤投与し、午後<br>診療開始時に再来院） |
| 6   | 2021 | 83 歳  | 不明 | アナフィラキシーショック             | 軽快 | 数分後                           |
| 7   | 2021 | 81 歳  | 女  | 全身のかゆみ（特に両腕のか<br>ゆみ）、膨隆疹 | 不明 | 不明（1 日後に再来院）                  |
| 8   | 2021 | 75 歳  | 女  | アナフィラキシーショック             | 不明 | 投与後 5～10 分後                   |
| 9   | 2021 | 70 歳代 | 女  | アナフィラキシーショック             | 不明 | 使用した直後                        |
| 10  | 2021 | 不明    | 不明 | アナフィラキシー、蕁麻疹             | 不明 | 不明                            |

## 使用上の注意の改訂内容

薬生安指示による改訂

下線部：改訂箇所

| 改訂後                                                                                                                                                                                                                                                                  | 改訂前                                                                  |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| <p><u>1. 警告</u></p> <p><u>本剤投与により重篤なショック、アナフィラキシーが発現することがあるので、本剤は、緊急時に十分な対応のできる準備をした上で投与し、投与後も十分な観察を行うこと。〔8.1、11.1.1 参照〕</u></p>                                                                                                                                     | <p><u>(新規)</u></p>                                                   |
| <p>8. 重要な基本的注意</p> <p>8.1 本剤投与により重篤なショック、アナフィラキシーが発現することがあるので、投与に際しては、緊急処置を取れる準備をすること。投与中及び投与後は患者の状態を十分に観察すること。</p> <p><u>また、ショック、アナフィラキシーが発現する可能性があること、及びその徴候や症状について患者又は家族等に十分に説明し、異常が認められた場合には、速やかに医療機関を受診するよう、患者等を指導すること。〔1、11.1.1 参照〕</u></p> <p>8.2～8.4 (略)</p> | <p>8. 重要な基本的注意</p> <p><u>(新規)</u></p> <p>8.1～8.3 (略)</p>             |
| <p>11. 副作用</p> <p>11.1 重大な副作用</p> <p>11.1.1 ショック、アナフィラキシー (0.4%) <u>〔1、8.1 参照〕</u></p>                                                                                                                                                                               | <p>11. 副作用</p> <p>11.1 重大な副作用</p> <p>11.1.1 ショック、アナフィラキシー (0.4%)</p> |

販売元

 **小野薬品工業株式会社**

製造販売元

 **生化学工業株式会社**

薬事情報センターに寄せられた質問から

## はい、薬事情報センターです。



薬事情報センターでは、会員の方々を対象に、医薬品に関するお問い合わせや、文献入手サービスなどに応じております。どうぞお気軽に御利用ください。

〔質問〕 ネキシウム懸濁用顆粒を水で溶かすと粘り気が出るが、経管投与で利用できるか。(薬局)

〔回答〕 ネキシウム懸濁用顆粒は、カプセル剤や錠剤の服用が難しい低年齢児や嚥下困難な患者等に対して服用し易い剤形として開発された経緯がある。本剤を水に加えると、添加剤顆粒が速やかに溶解し粘性のある懸濁液を形成する。溶解後はとろみが口常に強く、経管投与と不適である。ランソプラゾール OD 錠等への切替えを検討してはどうか。

参考：ネキシウムQ&A (アストラゼネカHP)、内服薬経管投与ハンドブック第4版 (じほう)

〔質問〕 緑内障の患者さんがこれまでゾルピデムをもらっていたが、眼科で閉塞隅角緑内障なので使えないと言われたとの事。現在睡眠薬がないと眠れないらしいが、閉塞隅角緑内障の方でも使える薬剤はないか。(薬局)

〔回答〕 ベンゾジアゼピン系の殆どは抗コリン作用を有するため急性閉塞隅角緑内障には投与できないが、ユーロジン (エスタゾラム) については禁忌とされていない。エスタゾラムはこれまで抗コリン作用が原因とされる眼に関する副作用の報告はない。非ベンゾジアゼピン系薬剤のデエビゴ、ロゼレム、ベルソムラも使用可能。

参考：医薬品添付文書

〔質問〕 総合病院からアレンドロン酸錠35mgを処方され7年間服用している患者がいる。整形外科のクリニックで「この薬は長期で飲む薬じゃない」と言われたらしいが、どうなのか。(薬局)

〔回答〕 長期間にわたるビスホスホネート薬治療により顎骨壊死や非定型大腿骨骨折発生リスクが上昇するとされている。一定期間治療した後の休薬について、治療ガイドラインでは「ビスホスホネート治療開始後3-5年で対象例の骨折リスクを評価し、高リスク群ではビスホスホネートを継続し、中等度リスク群では休薬のリスクとベネフィットを症例ごとに検討した上で休薬を考慮し、低リスク群では治療の必要性がなくなっているため、中止する」と提案している。高リスクであれば長期服用も想定される。

参考：骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2015

〔質問〕 ワクチン接種後献血できますか。(薬局)

〔回答〕 mRNAワクチンを含むRNAワクチン1回目、2回目

ともに接種後48時間は献血することはできません。その期間を経過後は献血可能となる。(R3.5.14以降適用)

参考：日本赤十字社ホームページ

〔質問〕 コロナワクチン接種後の発熱や痛みに使用できる解熱鎮痛薬は？(薬局)

〔回答〕 アセトアミノフェン、非ステロイド性抗炎症薬は使用可能である。厚生労働省の報告によると、ワクチン後の痛みや熱に使用される解熱鎮痛薬はアセトアミノフェン、ロキソプロフェンナトリウム、イブプロフェン、アスピリンの順に使用されている。アセトアミノフェンとNSAIDsの併用もみられる。予防的な解熱鎮痛薬投与については、ワクチンの効果が弱まるため推奨されてない。参考までに、アメリカリウマチ学会COVID-19ワクチン委員会ではワクチン接種の24時間前からは解熱鎮痛薬は服用しないという意見が出されている。

参考：CDCHP、日本薬剤師会新型コロナウイルスワクチンFAQ、厚生労働省中間報告 (6)、アメリカリウマチ学会HP

〔質問〕 ワクチン2回目は1回目と同じ側に打たなければなりませんか？(薬局)

〔回答〕 COVID-19 ワクチンに関して、接種する腕は、接種部位の疼痛に備えて、利き手ではない側に接種することが推奨されている。ただし、利き腕への接種は禁忌ではない。ただし、1回目の接種部位に著明な局所反応を認めた場合、2回目は反対側に接種することも可能と思われます。

参考：COVID-19 ワクチンに関する提言 (第2版)

〔質問〕 ワクチン接種で抗体価に影響を与える要因はありますか。(薬局)

〔回答〕 千葉大学病院が6月3日に同病院職員1774人を対象とした抗体反応の研究結果を発表している。ファイザー製ワクチン接種後は1人を除きほぼ全員にコロナ抗体の濃度上昇を確認した。その中で、抗体価が上がりにくかったのは、免疫抑制薬や副腎皮質ステロイド薬を服用中の人、年齢が高い人、飲酒の頻度が高い人だった。一方、抗体価が上がりやすかったのは、コロナ感染歴のある人、女性、抗アレルギー薬を服用中の人という結果が出ている。

参考：千葉大学医学部附属病院ニュースリリース (2021年6月3日)



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口  
「おくすり相談室」受付事例から  
消費者専用電話：098-963-8935

●医薬品一般●

[質問] 昨日 2歳の子供（体重13Kg）が発熱し昨日病院に行った。ワイドシリンとカルボシステインシロップをもらったが、今39度の熱が出ているので、市販のアセトアミノフェン100mgの坐薬を使用してもいいのか。（女性）

[回答] 服用薬とアセトアミノフェンの坐薬との飲み合わせについては問題ありません。坐薬の説明書には1～2歳は1/2～1個使用することとされていますが、体重が13Kgありますので1個お使いいただいて大丈夫です。もし、坐薬を使用しても熱が下がらずぐったりしている様子があれば、病院を受診してください。脇の下や鼠径部、首のあたりを濡れたタオルで冷やすことも解熱には効果的です。

●安全性情報●

[質問] マイスリーとリーゼに母乳が出るとどこかで見た気がする。子供もいないのに母乳が出たら大変だから調べてほしい。（女性）

[回答] どちらの薬剤にも、母乳が出るといった副作用は報告されておりません。ただ、授乳中の方は、同種のお薬でヒトの母乳中へ移行することが報告されているため注意の記載があります。

[質問] 医師や薬局でも何度も聞いているので聞きづらい。家族が血圧の薬を飲んでいるが、自宅で測るのと病院で測るのとでは、上も下も50-70位の差があり、病院の方が低い。どちらが正しいかわからない。（女性）

[回答] 家庭で測る場合、腕帯の位置や測定時の姿勢で正しい測定値が出ない場合がありますので、説明書を見て今一度ご確認ください。測定方法に問題がないようでしたら、購入された所に問い合わせしてみてください。

[質問] エブランチルをよく飲み忘れる。指示された食後でないとだめですか。（男性）

[回答] 飲み忘れた場合は気がついた時にできるだけ早く1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間は4～5時間程度あけてください。2回分を一度に飲むと、体に入る薬の量が多すぎて思わぬ副作用が出る場合がありますので、やめましょう。

[質問] ユリーフOD錠という薬を飲み始めてから下痢と喉がからからするような感じがある。副作用ですか。

（男性）

[回答] 口が乾きや下痢は副作用として報告されています。脱水症状を起こさないためにも水分補給はこまめに行い、早めに受診することを勧めます。量を減らすか薬を変更する可能性もあります。

[質問] 統合失調症で寝る前にオランザピンを12.5mg飲んでいる。朝コーヒーを飲むが眠くなる。オランザピンとコーヒーは飲み合わせが悪いのか。（女性）

[回答] オランザピンによる副作用として眠気が報告されています。ご心配になられているオランザピンとカフェインとの併用については問題ありません。しかしながら、統合失調症の病気ををお持ちの方は、カフェインの摂取量や喫煙も非常に多いとの報告があります。カフェインを摂る事によって神経が過敏になり、不眠、興奮等の症状が起こることもありますので、飲み過ぎに注意しましょう。

参考：ジプレキサ関連情報（日本イーライリリー）、「食品に含まれるカフェインの過剰摂取についてQ&A」（厚生労働省HP）

●妊婦・授乳婦●

[質問] 妊娠17週の妻がランソプラゾール、マグミットを服用中だが、大丈夫？（男性）

[回答] ランソプラゾール（危険度1：虎ノ門危険度評価）については、服用による奇形児出産の報告はありませんが、服用継続については主治医の指示に従ってください。また、マグミット（酸化マグネシウム）は腸を直接刺激せず便に水分保持させ便のかさを増して排便を促すため、妊娠中の使用は安全とされており、妊婦へ処方される事も多い薬剤です。

参考：妊娠と薬 第2版（じほう）、妊娠・授乳女性の薬ハンドブック第3版（メディカル・サイエンス・インターナショナル）

●その他●

・ボアラ軟膏とヘパリン類似物質クリームを混ぜた薬を体に塗るように言われたが、顔に塗ってもいいですか。

・12歳の孫が風邪でもらった薬を飲んで翌日めまいと幻覚が出て1日入院した。だるさが今も続いている。救急の医師にメジコン散の過剰摂取と言われたが、適切な薬の量だったか調べてほしい。



Medical Magazines titles

# 今月の特集・論文

\*薬事情報センターで購読している雑誌の中より文献情報を掲載しました。

## 【今月の特集】

◇medecina 58巻2号

\*外来で出会うアレルギー疾患～Total Allergist 入門

◇medecina 58巻3号

\*いまさら聞けない！肝胆膵疾患～みなさんのギモンに答えます

◇medecina 58巻5号

\*その考えはもう古い！最新・感染症診療

◇medecina 58巻6号

\*デジタル内科学の勃興～オンライン診療、AI、治療アプリ

◇エキスパートナース 37巻5号

\*初めての人”“見直したい人”のための急変対応で本当に大切なことのおさらい

\*「論文検索」は難しくない うまくいくコツ、教えます！

◇きょうの健康 5月号

\*原因はいろいろ！ひざの痛み

◇月刊薬事 63巻5号

\*Clinical Questionでマスターする 集中治療での薬の使い方

◇月刊薬事 63巻6号

\*ピットフォールから学ぶ睡眠薬の適正使用

◇産科と婦人科 87巻4号

\*産婦人科医も知っておきたい歯科の知識

◇産科と婦人科 87巻増刊号

\*画像 - エキスパート直伝 産婦人科画像診断

◇産科と婦人科 87巻5号

\*胎児モニタリング with Corona

◇産科と婦人科 87巻6号

\*OC・LEP ガイドライン 2020年度版を読み解く

◇総合診療 31巻4号

\*消化器診療“虎の巻”

◇総合診療 31巻5号

\*臨床医のための進化するアウトプット

◇調剤と情報 27巻5号

\*トレーシングレポート術

◇調剤と情報 27巻6号

\*子どもの処方箋が来たときの薬局業務が120%わかる本

◇調剤と情報 27巻7号

\*薬局の健康サポート機能を総点検！

◇治療 103巻4号

\*小児期からの移行期医療を実践しよう！

◇治療 103巻5号

\*救急で魅せる問題解決コンピテンシー

◇日経ドラッグインフォメーション 281号

\*腎機能チェック攻略法

◇日経ドラッグインフォメーション 282号

\*吸入薬指導

◇日経ドラッグインフォメーション 283号

\*始動する薬局認定制度

◇日本医事新報 5055号

\*骨粗鬆症治療薬の特徴と使いわけ

◇日本医事新報 5056号

\*血痰・喀血をみたときの診断の進め方

◇日本医事新報 5057号

\*新型コロナワクチン 今わかっていること まだわからないこと

◇日本医事新報 5059号

\*プライマリ・ケア医が知っておきたい患者への経済的支援策

◇日本医事新報 5060号

\*慢性腎臓病患者の貧血管理 - 腎性貧血治療の新展開

◇薬局 72 巻 6 号

＊病院から地域へつながるロービジョンケア

◇薬局 72 巻 7 号 (増)

＊病気とくすり 2021

◇薬局 72 巻 8 号

＊褥瘡で外用剤を使いこなす

## 【今月の論文等】

### ■薬物療法■

▶経口スイッチの考え方・注意点

medecina 58 (5) p. 604

▶治療期間について考え直す①肺炎、尿路感染症

medecina 58 (5) p. 608

▶治療期間について考え直す②菌血症、骨髄炎

medecina 58 (5) p. 614

▶貧血に対するピロリ菌除菌の効果

日経ドラッグインフォメーション (282) p. PE043

▶アリピラゾール少量投与の狙いとは

日経ドラッグインフォメーション (282) p. 023

▶アトピー性皮膚炎患者にミルタザピンを追加した理由

日経ドラッグインフォメーション (282) p. PE001

▶在宅での外用剤の使い方と注意点

薬局 66 (8) p.107

### ■新薬■

▶新連載 添付文書から RMP、審査報告書まで 新薬な  
なめ読み [7]

コミナティ筋注[コロナウイルス修飾ウリジン RNA  
ワクチン (SARS-CoV-2) ]

月刊薬事 63 (6) p.129

### ■安全性情報■

▶薬剤アレルギー

medecina 58 (2) p. 223

▶非ベンゾジアゼピン系・ベンゾジアゼピン系睡眠薬  
～睡眠薬の整理や減量・中止

月刊薬事 63 (6) p.59

▶ケースで学ぶ OTC 薬のすすめ方～透析中に飲んでも  
いい胃薬はどれですか

日経ドラッグインフォメーション (283) p. PE036

▶ワセリンを塗ると日焼けしやすくなるのか

日経ドラッグインフォメーション (283) p. PE041

▶ロスバスタチンと組み合わせの悪いサプリメント

日経ドラッグインフォメーション (281) p. PE043

▶食道癌患者にプレドニゾロンが処方された理由

日経ドラッグインフォメーション (282) p. 007

### ■産科・婦人科■

▶OC・LEP ガイドライン 2020 ～乳癌リスクの説明は？

産科と婦人科 88 (6) p.697

▶OC・LEP ガイドライン 2020 ～VTE リスクの説明は？

産科と婦人科 88 (6) p.703

▶一歩踏み込む 妊婦・授乳婦の服薬指導 ロサルタン  
服用中に妊娠が判明した女性？

日経ドラッグインフォメーション (281) p. PE034

▶一歩踏み込む 妊婦・授乳婦の服薬指導 便秘にピコ  
スルファートが処方された妊婦

日経ドラッグインフォメーション (282) p. 028

▶一歩踏み込む 妊婦・授乳婦の服薬指導 メトホルミ  
ン・DPP-4 阻害薬服用中で挙児希望の女性？

日経ドラッグインフォメーション (283) p. PE034

### ■新型コロナウイルス感染症関連■

▶COVID-19 の後遺症に対する漢方治療の可能性と実  
際

新薬と臨牀 70 (5) p. 31

▶論文で読み解く くすりのリスク～新型コロナウイ  
ルスワクチンとアナフィラキシー

日経ドラッグインフォメーション (283) p. PE038

▶健康サポート 新型コロナワクチンの副反応につい  
て聞かれたら (PE047p)

日経ドラッグインフォメーション (283) p. PE047

### ■その他■

▶薬局が健康サポート機能をもつ意義と有用性  
調剤と情報 27 (7) p.8

# 医薬雑誌ひろい読み

Medical Magazines Browsing

薬剤関連顎骨壊死・顎骨骨髓炎に関する  
最近の考え方

産科と婦人科 4月号

薬剤性関連顎骨壊死はビスホスホネート製剤 (BP) や抗RANKL抗体製剤の他、ステロイド、TNF $\alpha$ 阻害薬、メトトレキサート、血管新生阻害薬等骨吸収抑制薬以外によっても生じる。従来は侵襲的歯科処置がリスクとして強調され、抜歯が避けられてきた。しかしながら、近年では抜歯の原因となる菌性感染症による慢性炎症のほうがリスクであると考えられるようになり、必要があれば抜歯も行われている。骨粗鬆症に対する骨吸収抑制薬の低用量投与であっても多数の患者がBP関連顎骨壊死を発症していることを踏まえると、低用量・高用量にかかわらず、治療を開始する前のできるだけ早い段階で歯科受診を促すことが望まれる。薬剤性関連顎骨壊死は頻度は少ないとはいえ、難治性の疾患であるため、常に新しい情報に知識をアップデートする必要がある。骨病変に対する治療が長期に及ぶ場合は発症頻度が高くなるため、緊密な医科歯科連携のもと、歯科受診による予防と早期発見が重要となる。

兵庫医科大学 歯科口腔外科学講座  
米田 直道・岸本 裕充

向精神薬服用患者に服薬指導を行うときの  
7つのルール

薬局2月号

1. 精神疾患患者のアドヒアランスは決して良好ではない。国内の統合失調症の患者では退院後1週間で約2割、半年で約4割が服薬を中断、うつ病の患者では1か月で約3割、半年で半数以上が服薬を中断したという報告がある。
2. 支持的傾聴、共感を心がける。服薬を中断した患者の63.1%が主治医に相談していないという。安心して本音を語ってもらうためには、信頼関係の構築が必要となる。
3. 患者が話をしやすい環境を設定する。周囲の環境への配慮も必要となる。
4. 処方通りに服用していない可能性があることを忘れない。
5. 過不足なく副作用の説明を行う。過剰な説明では不安が煽られ、不十分であれば誤った認識や不安を残してしまう事になり、ノンアドヒアランスにつながりうる。
6. 副作用を聞き漏らすことなく聴取する。患者が安心して服薬継続できるようサポートすることでアドヒアランスの改善が期待できる。
7. 移行先の施設に繋げるための指導を行う。

金沢大学附属病院 薬剤部  
坪内 清貴

NSAIDs過敏喘息患者の発熱・疼痛時は  
どう対応すればよいですか？

medecina 2月号

非ステロイド性抗炎症薬過敏喘息 (NSAIDs-exacerbated respiratory disease: N-ERD) は、古くはアスピリン喘息と称されてきたが、最近国際タスクフォースにより、N-ERDという用語が提唱され主流になりつつある。N-ERDの誘発閾値は常用量の1/5以下のため、少量でも十分な注意を要する。常用量やその半量投与は急激な対応不能の大発作をきたすことがあり危険である。過敏症状はNSAIDsの注射薬、坐薬、内服薬の順に出現が速く、重篤である。従来、アセトアミノフェンは安全とされてきたが、米国のアスピリン喘息患者において1,000mg～1,500mg/回負荷で34%が呼吸機能低下を示した報告があり、欧米でも500mg/回が推奨され、日本人では300mg/回以下にすべきである。葛根湯や地竜などは安全で、セレコキシブは倍量でもアスピリン喘息患者で発作が起きないことが確認されている。ただし、添付文書にはアセトアミノフェンもセレコックスもアスピリン喘息に禁忌と記載されており、将来改訂すべきと考える

湘南鎌倉総合病院  
谷口 正実

薬剤性難聴

日本医事新報 5037号

薬剤性難聴は一般に薬剤の投与期間、投与量に依存して発症の危険性が高まる。難聴は可逆的な場合と非可逆的な場合がある。アミノグリコシド系抗菌薬では感受性に個人差がある。ミトコンドリア遺伝子1555A→G変異を持つ患者ではアミノグリコシド系抗菌薬に対する感受性が高く、家族歴を有し少量投与でも難聴をきたす。薬剤投与中止後も難聴が進行する例もある。白金製剤では重篤で高度難聴や耳鳴を残す例もある。ループ利尿薬では、腎尿細管のNa-Kポンプの阻害が利尿作用の薬理であるが、同様のポンプが内耳血管状に存在し、その障害により難聴を生じる。大量投与で発症しやすく、数時間以内の一過性難聴である場合が多い。サリチル酸では、投与中止により軽快することが多い。長期使用は、非可逆的な難聴を引き起こすこともあるので、注意が必要である。エリスロマイシン、クラリスロマイシン、アジスロマイシン等のマクロライド系抗菌薬では投薬中止で回復することが多い。

新潟大学大学院医歯学総合研究科  
堀井 新

## Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は情報センターに見本があります。

### ★【日薬幹旋図書】薬の選び方を学び実践する OTC 薬入門〔改訂第6版〕

【監修】上村 直樹、鹿村 恵明 【発行】薬ゼミファーマブック 【発行日】2021年4月

【版型/頁】A5判/178頁 【定価】2,420円(税込) 【幹旋価格】1,980円(税込)

まさにセルフメディケーションの認識、OTC薬の知識の獲得を通して、“OTC薬入門”に際して十分に役立つと思われる。OTC薬販売者だけでなく、調剤に携わる薬剤師にとっても大切な医薬品情報の提供にあたって役立つ1冊といえる。

### ★【日薬幹旋図書】アンチドーピング 徹底解説 スポーツ医薬 服薬指導とその根拠

【総編集】鈴木 秀典 【発行】中山書店 【発行日】2021年2月

【版型/頁】B5判/約260頁 【定価】5,500円(税込) 【幹旋価格】4,950円(税込)

2020年の東京オリンピック開催にむけて、アンチ・ドーピングの情報提供や啓発活動が活発になっているが、禁止薬物が「なぜ」禁止されているのかは理解されていないことが多い。本書ではWADA(世界アンチ・ドーピング機構)の最新禁止物質の作用メカニズムをわかりやすく解説し、アスリートへの処方と服薬指導において医師と薬剤師および関係者が正しい知識を共有できるようにまとめられている。

### 小児の服薬指導 Next Step

【著者】松本 康弘 【発行】じほう 【発行日】2021年1月

【版型/頁】B5判/248頁 【定価】4,620円(税込)

処方箋を手に駆け込んでくる保護者にとって、薬局は不安を和らげてくれる拠り所。しかし、エビデンスが少なく小児の処方箋調剤に自信をもてず、歯がゆい気持ちの薬剤師も多いようです。本書では、保護者の“不安”と薬剤師の“疑問”を誰もが経験するシチュエーションに沿って、わかりやすく解説。服薬指導で保護者に寄り添う視点と、薬理で考える視点の2つが身につきます。小児の処方箋に苦手意識をもっている方、経験が浅い方、ようやく慣れてきたけれどももう少しだけステップアップしたい方におすすめの1冊。

### これからの薬物相互作用マネジメント 第2版 臨床を変える PISCS の基本と実践

【監修】鈴木 洋史 【発行】じほう 【発行日】2021年3月

【版型/頁】B6変型判/256頁 【定価】3,300円(税込)

薬物相互作用の強さと予測を臨床的なリスク評価設定に応用するためのフレームワークがPISCS(ピスクス、Pharmacokinetic Drug interaction Significance Classification System)。各CYP分子種の基質薬のクリアランスへの寄与率(CR)と阻害薬の阻害率(IR)、または誘導薬によるクリアランス増加率(IC)から血中濃度変化を推察し、添付文書に記載のある組み合わせだけでなく記載のない組み合わせまで薬物相互作用の影響を予測、リスク評価することができる。「薬を切り換える?」「用量調節する?」「用法調節するだけで大丈夫?」など、さまざまな臨床的な疑問に定量的なヒントを示すPISCSを解説した好評書の改訂版。



## Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は事務局カウンターまたは、情報センターに見本があります。

### 薬剤師がはじめるフィジカルアセスメント 改訂第2版 副作用症状を見抜くためのポイント

【編集】濱田 久之、佐々木 均、北原 隆志 【発行】南江堂 【発行日】2021年4月  
【版型/頁】B5判/232頁 【定価】4,180円(税込)

薬剤師に必要なフィジカルアセスメント(PA)の基本手技から、「副作用の早期発見」に繋げるための考え方をコンパクトにまとめた好評書。在宅医療におけるPAの章を新設し、さらに「高齢者において特に注意すべき点」、患者への「問診・説明のコツ」も追加。豊富なカラー写真とイラストで、これからPAを始める薬剤師はもちろん、PAをザッとおさらいしたい薬剤師でもムリなく読める1冊。

### がん薬物療法 副作用対策&曝露対策

【著者】佐藤 淳也・中西 弘和・菅 幸生・内田 まよこ【発行】南山堂【発行日】2021年4月  
【版型/頁】AB判/203頁 【定価】3,630円(税込)

カラー図表&解説の組み合わせで入門講義を受けている感覚で読み進められる!「がん薬物療法の副作用マネジメント・抗がん薬の曝露防止対策」でこれだけは押さえてほしい知識・スキルをまとめた入門書。

### 保険薬局のためのハイリスク薬説明支援ガイドブック 第2版 -重大な副作用回避へのチェックポイント-

【編集】堀 美智子 【発行】じほう 【発行日】2021年3月  
【版型/頁】B5判/428頁 【定価】6,600円(税込)

ハイリスク薬の処方を受けたときに、薬剤師は何を見て、どんな情報を集め、患者にどう伝えるべきか。忙しい日常業務の中で絶対に漏らしてはいけないポイントを、ハイリスク薬の薬効群ごとの作用の捉え方、各種ガイドラインにおける薬剤の位置づけ、薬の体内動態データ、添付文書情報などを参考にまとめた好評書の第2版。対人業務での職能発揮がますます期待されるなか、すべての薬剤師必携の1冊。

### 認知症サポート医・認知症初期集中支援チームのための 認知症診療ハンドブック

【監修】鳥羽 研二 【発行】南江堂 【発行日】2021年4月  
【版型/頁】B5判/192頁 【定価】4,730円(税込)

認知症サポート医および認知症初期集中支援チームの養成研修を担う、国立長寿医療研究センターのスタッフにより作られた“地域の認知症診療・ケアを支える医療者のためのハンドブック”。単なる診療マニュアルではなく、養成研修の内容やチーム医療の在り方、家族へのケアまで、多職種で地域医療を支援するためのノウハウがふんだんに盛り込まれている。認知症患者に関わるすべての医療者必携のみんなで認知症を診るための1冊。

## 薬事情報センターの利用のしかた

### ○業務内容

(1)医薬品情報の提供 (2)「薬事情報おきなわ」の編集・発行 (3)医薬品に関するお問い合わせ (4)県薬ホームページの制作・管理 (5)消費者薬相談業務「おくすり相談室」 (6)ドーピング防止ホットライン業務

### ○業務時間

(会員対象) 平日 午前：8時30分～12時 午後：1時～5時30分 (土・日・祝日休業)

(一般対象) 「おくすり相談室」・「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」

平日(月～金) 午前：9時～12時 午後：1時～5時

※おくすり相談室及びドーピング防止ホットラインの電話は 098-963-8935 になります。お気軽にご利用ください。

### ○会員の利用方法

医薬品等に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の閲覧、文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しいただく場合は、係の者が対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

TEL : 098-963-8931 FAX : 098-963-8937

沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

\* \* 海外文献から (JAPIC 医薬情報より) \* \*

#### ●高リン酸塩血症および鉄欠乏性貧血の管理としてのクエン酸第二鉄：慢性腎臓病患者におけるメタアナリシス (Br. J. Clin. Pharmacol. 87 (2) 414-426/ (2021. 2))

慢性腎臓病 (CKD) 患者の高リン血症および鉄欠乏性貧血の制御におけるクエン酸第二鉄の有効性と安全性を調査するため、PubMed, Embase 等から臨床試験を検索し、16 試験からメタアナリシスを実施した。クエン酸第二鉄は実薬対象なしと比較して、リンおよびリン-カルシウム生成物の低下に効果的であり、他のリン吸着剤と同等の効果があつた。クエン酸第二鉄によるカルシウム値は、他のリン酸塩低下治療と比較して有意に低値であつた。クエン酸第二鉄には鉄の補充と貧血コントロールに相加効果があつたが、下痢、腹痛、変色便等の消化器系の副作用を伴っていた。

#### ●アセトアミノフェンとアスピリンの併用は腎障害のリスクを高める：医薬品副作用データベースの分析 (The Journal of Clinical Pharmacology 61(2)269- (2021. 2))

アセトアミノフェンとアスピリンの併用が腎損傷リスク上昇に関連するかを、日本の医薬品副作用データベース (JADER) で分析した。556642 例の報告から腎損傷 10782 例、急性腎損傷 5833 例を特定した。アスピリンとアセトアミノフェンの併用では、アスピリン単剤投与と比較して腎損傷の発現率が有意に高かった。本結果から、アスピリンとアセトアミノフェンの併用期間は最短にすべきであることが示唆される。これら 2 剤の併用と急性腎損傷リスク上昇との関連はなかった。

#### ●SARS-CoV-2 感染患者におけるヒドロキシクロロキンとリトナビル/ダルナビルまたはアジスロマイシン併用の QT 間隔への影響 (Heart and Vessels 36(1)115- (2021. 1))

COVID-19 パンデミックの初期 (2020 年 3 月 2-8 日) に SARS-CoV-2 肺炎と診断されて入院した患者に、ヒドロキシクロロキン (HY) (200mg, b. i. d.) + リトナビル/ダルナビル (RD) (100/800mg, q. d.) の経験的併用療法で治療を行った。その後 (2020 年 3 月 9-15 日)、治療プロトコルは HY+アジスロマイシン (AZ) (500mg, q. d.) の併用に変更となった。治療開始時、治療開始後 3, 7 日目に心電図検査を行い、QTc 間隔を算出した。登録患者計 113 例 (男 85, 女 28, 61-74 才) で、HY+RD, HY+AZ 治療を受けた患者は、各々 61, 52 例であつた。院内死が 9 例 (8%)、急性呼吸窮迫症候群か多臓器不全で死亡した。HY+RD, HY+AZ 群の各 1 例で心室性不整脈を認め、いずれの患者も QTc>500ms であり、治療を中断した。多変量解析で、治療前の長い QTc、治療開始後 3 日以内の QTc 上昇>40ms が、QTc 延長 (>500ms) の独立予測因子であつた。治療開始前から開始 7 日後に、QTc 間隔は HY+RD 群で 438 から 452ms, HY+AZ 群で 433 から 440ms に延長し、23 例 (21. 1%) は 7 日後に QTc>500ms となった。うち 2 例では心室性不整脈が認められた。



## アウトドアサークルで沖縄を満喫

もうすぐ大阪から沖縄県内で働くようになって3年になります。沖縄に来て間もない頃から、周りの人にも恵まれて、仕事だけでなく、プライベートも充実した生活を送っています。

その1つのアウトドアサークルについて今回はお話させてください。

このアウトドアサークルは、同年代の薬剤師の集まりで、病院や薬局に勤務しているなど勤務先に関係なく、休みの日に予定が合えばメンバーで遊びに行っています。最近はコロナ禍なので、集まりも少ないですが、沖縄に来たばかりの頃は、このサークルを通して沖縄の良いところや場所をたくさん教えてもらいました。

沖縄といえば海！！海水浴！！というイメージはみなさんあるでしょうが、他にも色々な楽しい遊びがあります。釣りやダイビング、パラセーリングなどのマリンスポーツはもちろんのこと、馬に乗ったり、バギーで森の中を駆け回ったり、川で滝浴びなどのアクティブな活動・・・その他にも島々をのんびりと巡ったり、海を眺めてぼーっとただ過ごしたり、沖縄に来たからこそできることがたくさんありました。



ミルク薬局 天久店  
枡井 亮太

私は大阪出身の薬剤師で、今まで大阪でしか働いたことはなかったので、仕事をしながら時間の空いた時に気軽に色々な遊びができることがすごく魅力的に感じました。また、以前は薬剤師同士の交流は同じ会社や大学の友人としかありませんでしたが、沖縄に来てからはそのような垣根は無く、色々な人達と交流し、視野が広がりました。

沖縄県内は現在、薬学部は無く、薬剤師の数が不足している地域の1つです。身近なところでも人が足りず、求人が集まりにくい状況です。私が大好きな沖縄への恩返しの一つがこの問題に向き合うことです。沖縄県外の人達に興味を持ってもらったり、沖縄のことをもっと好きになってもらえるように、今後はSNSを通じて色々な情報を発信したり、企画を立てる等を行っていこうと考えています。



次号には、平良 博文 先生がバトンを受けて下さいました。ご期待下さい！



## 第50回 暮らしの中の薬草学 身近な薬草を知ろう

女性薬剤師部会 狩俣 イソ



第24回 田イモの項で成分ムチンを掲載しましたが、ネットを閲覧した方から間違いだとのご指摘を受けました。「日本では野菜や根菜類全般のねばねば成分をムチンと呼ぶ誤った用法が蔓延している。ムチンは動物界だけに存在し、植物界には見いだされていない。北里大学理学部化学科教授 丑田公規氏」という論文の添付も頂きました。私の引用の誤りをお詫びして訂正致します。ネット上から削除し、再度 田イモの項を掲載させていただきたいと思います。

### 田イモ：ターナム：ターム

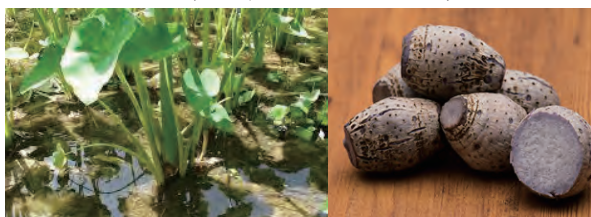
学名 Colocasia esculenta Schott var. aquatilis K

科名 サトイモ科 araceae

属名 サトイモ属 esculenta

使用部位 球茎、芋茎、葉、

有効成分 マンナン、ガラクトン、セスキリグナン  
ジガラクトシルジアシルグリセロール



### 【田イモの特徴】

原産地はインド東部からインドシナ半島で、熱帯アジアに広く分布する。サトイモ科に属する田イモは、サトイモの二倍体変種で、水田や低湿地で栽培される。和名の田イモ、ミズイモの呼称はこれに由来する。草丈は1.5～2m、根茎が肥大し、長さ約15cmの紡錘形となり、子芋、孫芋を付けることから、子孫繁栄につながる縁起のよい食材とされている。小芋から出る茎は次の栽培のために使用される。芋茎（ずいき）や若い葉も食用となる。赤茎種と白茎種とがあり、沖縄では白茎種が多い。台風に強いと非常に非常用の食糧として重宝される。木の棒一本で栽培・収穫でき、水田に植えたままで貯蔵できる。稲作に先立って広く栽培されていたと考えられる。

### 【田イモの利用】

加熱するとサトイモより粘り気があり、田イモを潰して餅状にした料理が作られている。色は薄紫色、味は八頭に似ている。植えて約1年で収穫され、昭和初期以前は正月用として収穫される冬植（11-2月）のみであったが、その後、春植（3-4月）や夏植（7-8月）も行われている。生芋のままでは痛みやすく、え

ぐ味がある（シュウ酸カルシウムを含む）ので、水煮や蒸煮をし、芋の良否を判別してから出荷される。田イモの内部は加熱すると淡い灰紫色になり、特有の香りと粘り気がある。この風味と餅質の粘性を活かした田イモ料理が県民の嗜好性を満足させている。

### 【田イモに含まれる有効成分】

食物繊維が豊富で、デンプン質に富み（含有量約34%）、デンプン粒は不揃いの多角形で小さい。デンプンの糊化開始温度は78℃、最高粘度は甘藷デンプンに比較して高い。田芋の粘性はガラクトンなどの多糖類の他、デンプンの性質にも起因するようである。

他の芋類と比べてカリウム、水分が多く、カロリーが芋類の中で最も低い。ミネラルは、カリウムが多く、カルシウム・マグネシウム・リン・鉄・亜鉛・銅などをバランスよく含み、栄養価の高い野菜である。里芋抽出物は、ヒトのラノステロール（コレステロール生合成中間体）合成酵素を抑制する働きが知られており、高脂血症予防効果を持つと考えられている。近年、里芋に含まれるジガラクトシルジアシルグリセロールが、コレステロールの生成を抑えると注目されている。

里芋独特のヌメリは、ガラクトンやマンナンなどの多糖類と蛋白質の複合体で、血糖値の急上昇を抑える。味噌と合わせて調理すると、糖の吸収を抑えるサポニンやメラノイジンによって、糖尿病を防ぐ効果がアップする。

塊茎樹皮にはリグナン類が含まれており、芋茎には、皮の表面に近い部分にアントシアニンが多く含まれている。

参考：生物工学第97巻ムチン奇譚、良好娯楽部、わかさの秘密、日本調理科学会 沖縄特産の田芋料理 琉球大学教育学部、

### 【田イモの疾病予防・健康増進作用】

田芋根茎の凍結乾燥粉末から抽出されるア



ラビノガラクトタンブロテイン (AGP 水溶性食物繊維) はマウスマクロファージ細胞株の抗ウイルス因子の一つである 2' - 5' オリゴアデニル酸合成酵素を増加させる傾向がある。

AGP は乳酸菌類にも利用され腸内環境を改善する作用があると示唆され、健康食品の素材として有用であることが明らかになっている。

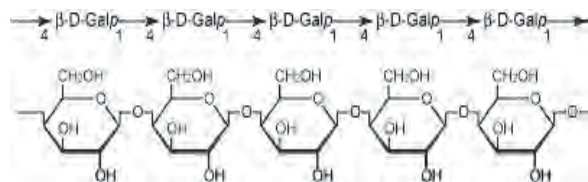
参考：琉球大学医学部 宮良恵美・宮城和文

## 【マンナン】

マンノースをおもな構成単位とする多糖類の総称。マンノースのみから成るものもあるが、ガラクトースあるいはグルコースを含むものもあり、ガラクトマンナン、グルコマンナンと呼ばれる。マンナンは水溶性植物繊維で、便秘の予防・肥満防止・糖尿病予防・コレステロール低減などの作用がある。

## 【ガラクトタン】

ガラクトタンは、ガラクトース（単糖類）がいくつか結合した水溶性食物繊維を主成分とする多糖類。人間の消化酵素の中にはガラクトタンを分解できるものがないので、大量に接種しても脂肪にならない。



脳細胞を活性化させ痴呆を予防する効果があり、免疫性を高め、がんの発生・進行を防ぎ、風邪の予防にも働く。消化促進、整腸作用、便秘予防・改善に有効である。

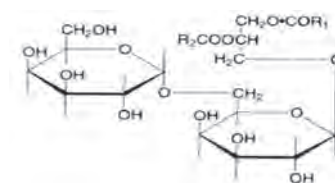
参考：J.medical、Weblio、Cell wall筑波大学生物学類

## 【リグナン】

フェニルプロパノイドの中で、C6-C3 単位が 2-4 個縮合することにより生成する化合物群をいう。2 分子の C6-C3 単位から成るリグナン類は、側鎖の  $\beta$  位同士が酸化的に縮合し

た骨格を持つ真正リグナンと、これ以外の骨格を有するネオリグナンに分類される。最近では 3 分子、4 分子縮合体が見出され、セスキリグナン、ジリグナンと呼ばれている。リグナンは、高等植物、特に木本植物の材に多く分布する。瀉下、降圧、抗腫瘍、中枢神経抑制作用などの生理活性を有するものがあり、なかでもポドフィラムの根茎に含まれるポドフィロトキシンの抗腫瘍作用は重要であり、この化合物をリードとしてエトポシドが合成され臨床で抗がん剤として使用される。

引用：薬学用語解説



## 【ジガラクトシルジアシルグリセロール】

葉緑体の機能に重要な役割を担う膜脂質であると考えられている。モノガラクトシルジアシルグリセロール、ジガラクトシルジアシルグリセロール、スルホキノボシルジアシルグリセロールの 3 種類の糖脂質を高い割合で含有する含有組成物は、DNA 合成酵素阻害活性、癌細胞増殖抑制活性、抗腫瘍活性といった有用な生理活性を有する。リパーゼ処理で更に強い生理活性が得られる。また脳神経細胞に対して賦活作用および保護作用を示し、外傷、代謝性の要因、脳虚血、 $\beta$ -アミロイド蛋白質、パーキンソン病およびダウン症等による脳神経細胞障害の予防および治療において極めて有用なカスパーゼ阻害剤となりうる。

カスパーゼ：細胞にアポトーシスを起こさせるシグナル伝達経路を構成する、一群のシステインプロテアーゼである。基質となるたんぱく質のアスパラギン酸残基の後ろを切断する。

参考：ekouhou.net、備前化成株式会社、日本光合成学会

みずいも 球茎 生 可食部100g 当たり

| エネルギー    | 蛋白質   | 炭水化物   | 脂質    | 水分     | 食物繊維   | マグネシウム | カリウム   |
|----------|-------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 117k c l | 0.7 g | 27.6 g | 0.4 g | 70.5 g | 2.2m g | 23m g  | 290m g |

第七訂日本食品標準成分表

| ナトリウム | カルシウム | 亜鉛     | 鉄      | リン    | マンガン    | 葉酸    | ビタミンC |
|-------|-------|--------|--------|-------|---------|-------|-------|
| 6m g  | 46m g | 0.2m g | 1.0m g | 35m g | 0.56m g | 27m g | 7m g  |



## 令和3年度 沖縄県薬剤師連盟評議員会

日時：令和3年6月20日（日）13:00～13:35

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

| ＜式次第＞  |     | 司会・議長            | 副幹事長  | 名 嘉 紀 勝 |
|--------|-----|------------------|-------|---------|
| 会長あいさつ |     |                  | 会 長   | 亀 谷 浩 昌 |
| 議題     |     |                  |       |         |
| 報告     | 第1号 | 令和2年度会務経過報告      | 幹 事 長 | 石 川 恵 市 |
|        | 第2号 | 令和2年度会務並びに会計監査報告 | 監 事   | 江 夏 京 子 |
| 議案     | 第1号 | 令和2年度決算承認の件      | 会計責任者 | 川 満 直 紀 |
|        | 第2号 | 令和2年度活動計画案の件     | 幹 事 長 | 石 川 恵 市 |
|        | 第3号 | 令和2年度予算案の件       | 会計責任者 | 川 満 直 紀 |
|        | 第4号 | 沖縄県薬剤師連盟会則改正の件   | 幹 事 長 | 石 川 恵 市 |
|        | 第5号 | 沖縄県薬剤師連盟監事選出の件   | 会長候補者 | 前 濱 朋 子 |
|        | 第6号 | 沖縄県薬剤師連盟役員選出の件   | 会長候補者 | 前 濱 朋 子 |

沖縄県薬剤師会定時総会に先立ち、沖縄県薬剤師連盟評議員会が開催された。

司会進行の名嘉紀勝副幹事長より、本評議員会の議長について、本連盟会則第12条3項に「評議員会の議長は会長とする。ただし、会長は総務の中から議長を委任することができる。」とあることから、先だって、会長から委任されたことが述べられ、議長を務めた。

本連盟会則の第6条に「本連盟に評議員をおくこと。評議員は沖縄県薬剤師会代議員の中からあてる。」とあることから、沖縄県薬剤師会代議員に本連盟評議員を兼ねてもらうことで就任依頼をしたところ、代議員50名の内48名から承諾を得ていた。

コロナ禍における今回の開催の取り扱いについては、沖縄県が緊急事態宣言を受け、本評議員会も緊急事態宣言下の開催となっていることから、この後に開催される沖縄県薬剤師会第84回定時総会と同様に、極力、「議決権の代理行使」を行使いただき、特段の質疑がある代議員を除いて、来場を控えるよう依頼したところ、「議決権の代理行使」を行使

し議長に委任することで出席の提出39名、現地参加6名となった。本連盟会則第15条に、「評議員会は評議員の過半数の出席をもって成立し、承認および議決は出席者の過半数をもって決するものとする」とあることから、評議員数48名の内、過半数の45名が出席となり、議長が開会を宣言し、亀谷浩昌会長があいさつをした。

報告第1号「令和2年度会務経過報告」では、石川恵市幹事長が、コロナ禍で会務が滞っていた中においても執行することができた主な会務を報告した。主な会務は、「自由民主党薬剤師問題懇談会議員（國場幸之助・西銘恒三郎両議員）へ新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた緊急要望」「自由民主党沖縄県支部一日政調会および沖縄県議会へ“沖縄県内国公立大学への薬学部（科）創設に関する要望”」「神谷まさゆき激励会」「若手薬剤師フォーラム」「自由民主党沖縄選挙区支部長との意見交換会」で、これらの主な会務報告を載せたおきなわ薬剤師会報記事を配布し端的に報告した。



司会・議長  
名嘉紀勝 副幹事長



会長あいさつ  
亀谷浩昌 会長



報告第1号・議案第2・4号  
石川恵市 幹事長



報告第2号  
江夏京子 監事



議案第1号・第3号  
川満直紀 会計責任者



議案第5号・第6号  
前濱朋子 会長候補者

報告第2号「令和2年度会務並びに会計監査報告」では、江夏京子監事が次のように報告した。

本連盟規約第9条第11項に基づいて、令和2年度監査を神谷朝雄監事と共に、去る5月7日に本会館にて、亀谷浩昌会長、川満直紀会計責任者、関係職員同席のもと、決算報告書内訳および予算執行状況等関係書類を基に監査を行った。財務及び事業については適正に実施されていると認めた。監査意見については、

- (1) 収支決算書、貸借対照表、財産目録等は、会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 役員の職務執行に関する不正の行為等の重大な事実はないと認める。

と、報告書を読み上げて監査報告とした。

議案に入り、議案第1号「令和2年度決算承認の件」を川満直紀会計責任者、議案第2号「令和3年度活動計画案」を石川恵市幹事長、議案第3号「令和3年度予算案の件」を川満直紀会計責任者、議案第4号「沖縄県薬剤師連盟会則改正の件」を石川恵市幹事長、議案第5号「沖縄県薬剤師連盟監事選出の件」を前濱朋子会長候補者、議案第6号「沖縄県薬剤師

連盟役員選出の件」を前濱朋子会長候補者が説明した。

議案事項における主な提案は、次のとおりである。議案第2号「令和3年度活動計画案」では、地区薬剤師会や関係機関との連携を強化することを強調した。議案第4号「沖縄県薬剤師連盟会則改正の件」では、本連盟の役員に「副会長」「組織強化担当」「常任総務」「会計職務代行者」を新たに設置したいことから、これらの役職を会則に追記したいとのことであった。議案第5号「沖縄県薬剤師連盟監事選出の件」では、本評議員会終了後に開催される沖縄県薬剤師会第84回定時総会において執行される監事選挙に当選した監事を本連盟の監事にあてたいとのことであった。議案第6号「沖縄県薬剤師連盟役員選出の件」では、前記の新規役職と監事を踏まえた新たな役員29名の選任の承諾であった。

各議案について、挙手による採決で賛成多数で決議された。

閉会前に、日本薬剤師連盟次期参議院議員選挙組織内統一候補者の神谷政幸氏からのメッセージ動画を閲覧し、令和2年度沖縄県薬剤師連盟評議員会は終了した。

(報告：事務局 大城 喜仁)





まさゆき  
**政幸だより**  
全国薬剤師フォーラムが開催される

日本薬剤師連盟  
副会長 神谷まさゆき



新型コロナウイルス感染拡大により、4月25日に1都3府県を対象として5月11日を期限に発出された3回目の緊急事態宣言は、5月7日に5月末まで延長されるとともに新たに2県に発出され、8県にまん延防止等重点措置が適用されています。感染防止策の徹底が求められている中、訪問活動にご協力とお心遣いをいただいている皆様に、厚く御礼申し上げます。

さて、4月18日（日）12時30分より、令和3年度第1回全国薬剤師フォーラム「つなごう！！薬剤師議員」がWEB開催されました。都道府県薬剤師連盟から推薦されたメンバーによる「コロナに打ち勝つ名簿収集」をメインテーマとするフォーラムで、昨年12月（WEB開催）に続き2回目の開催になります。

山本会長のご挨拶、藤井基之参議院議員、本田顕子参議院議員の激励のお言葉に続いて、私のご挨拶の時間をいただきました。私からは、2月から始まった全国支部訪問は皆様のご尽力により充実した訪問ができていること、参議院比例代表区の薬剤師議員が藤井先生と本田先生の二人体制であることの意味、国民にかかりつけ薬剤師・薬局を認識してもらえよう国政の場で努力していきたいことなどについてお話しさせていただきました。

その後6グループに分かれて、10万人の紹介者が70万人の名簿を収集し、30万人の真の理解者を得るという「10. 70. 30」活動を本田先生の活動時に続いてつないでいくため、紹介者名簿を確実に集める方法についてスモール・グループ・ディスカッションが行われました。

2回目となったWEB開催は進行もスムーズに行われ、私も各グループと意見交換させていただいて、熱心に議論している皆さんの様子を大変心強く受け取らせていただきました。休日にもかかわらずご参加いただき、ありがとうございました。

### コロナ禍の全国支部訪問

新型コロナウイルス感染拡大により、4月下旬に発出された3回目の緊急事態宣言は、10都道府県に拡大するとともに8県にまん延防止等重点措置が適用されており、引き続き緊張感をもって対応していくことが求められています。

さて、コロナ禍が続く中で2月から始まった全国支部訪問は、4月までに四国ブロック、東海ブロック、近畿ブロックと進み、5月に入り大阪ブロックは延期となったものの、東海ブロックと近畿ブロックでは直接訪問が実施できました。日中は薬局、卸事業所等を訪問し、夜はミニ集会や意見交換会に参加するという日程で、実際に現場を回ることによりその場の雰囲気や皆さんの思いを感じ、お会いした方々との距離が縮まることが実感できました。私のことを少しでも身近に感じ、顔と名前を覚えていただくには、直接向き合って時間を共有することが大切であり、コミュニケーションの基本は対面だということを強く感じました。

一方、四国ブロックはWEBを活用したリモート訪問を中心に活動し、ビデオ通話等を利用した薬局訪問や、WEBを通じた交流会等を開催していただきました。また、直接訪問の移動中に別の訪問先をリモート訪問する、集会等で別の会場とリモート交流するという、ハイブリッド訪問・集会も実施していただきました。リモート方式は、離れていても短時間に多くの方々とつながりを持つことができます。コロナ禍というニューノーマルな時代だからこそ、リアルとリモートを使いこなしていくことも必要ではないかと思います。

5月下旬から始まった東北ブロックの支部訪問は、まん延状況を勘案し訪問先の県薬剤師連盟と連携・調整して進めております。訪問活動には今後も難しい状況が続くと思いますが、できるだけ多くの皆様に神谷まさゆきを知っていただけるよう一杯頑張る覚悟ですので、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



クローズアップ

「薬剤師の未来を輝かせるために  
現場の声を」

薬劑師の職能が、決して  
見えにくく、といった声  
を頂くことが、私自身  
も現場で仕事をこなさ  
ず、地域住民、患者は見  
えづらい、と実感する  
ことも多かった。しかし、  
この間に薬劑師の業務  
に誇りをもち、地域に  
貢献し、健康な生活を送  
る環境を築いていきたい。

に活動して頂いたり、た  
り、新型ロナリウズ感  
を、熟練の影響や、直間  
訪訪でできなくなつてま  
う、よなケースもあつた。実  
質的に訪問したところ、都  
道府県程度に、それで  
、WEBを介して至るの  
造、品質等といふ様々  
な場面で多の方々、備わ  
る重要な機能。私自身が

03年福山大学卒業。製菓企業での勤務を経て、ドフ・ストア・イ・カ、イ・カ代表取締役、現任に相談役。美利餅会活動としては、集福会（美利餅会）理事や副会長、愛知製菓会副会長兼務理事、日本製菓師会及愛蔵対策委員会委員などを歴任。14年に日本製菓師連盟の企画実行委員会委員を務め、藤井善三参院議員や木田眞子参院議員の活動サポート、2022年に日本製菓師連盟の副会長に就任。79年生まれ、42歳。

として準備し、2人活動を見て、右が若菜師のあの方や業務に大きな影響を与えるところを改めて学んだ。薬剤師の未来を願ったため、帰郷の由を親族に届けた。こうした風が日増しに強くなり、出陣に至った原動力になった。

左が若菜師の安定結婚と、様々な場面、地域、市民・患者の健康の維持・増進に繋がっている。このような表情を定めて理解して頂ためには、現場の薬剤師日頃の業務でアブレするのばかりでなく、行政に積極的に参画していくことがプロかも。

この一年間が全ての希望  
——日華連盟の組織内機構  
附設製鋼師進取に在る運  
び、役員会・研修会など  
を採り上げて頂くことを目標  
とす。また、この期待も最も  
品業界からの期待も極めて

者安心し諒解を受けい  
て、更に大なるオランダ  
販賣指導は短期間で脱税  
指を相控するよう願ふ。  
改め実施だ。

開発をさらに向上させるも、地盤は包括ケアシステム、産業政策について、今以上に積極的な検討、以て多職種連携できるような環境整備に努めてい、薬劑師が婦かい未来に向け、様々な場で挑戦できるような、全方取組んでいきたい。

これまでに薬剤師として現場勤務しながら、厚生省薬剤業務は法律や政令・大きな影響を受けている実感という。さらに、藤井基の参院議員や本田順子参院議員が当選した2016年と19年の参院選選挙に、日本薬剤師連盟の企画実行委員会の東原プロダクト代表



日本薬剤師連盟 副会長  
神谷政幸氏

——まずは政治家を志した理由について改めてお聞かせください

「葉梨閣議の未来を確かなるために現地の声を国政に届ける」と2008年1月  
に予定されていた参議院議員選挙に向け、日本憲政会館の政治団体である「日本  
憲政会連盟」の組織内紙、機関紙に決まった。神谷政雄氏は本紙に宛てて語った。神谷  
氏は日本連盟の企画実行委員会の委員を務め、藤井基之助参院議員が「選定を決めた16  
年参院選と、本田朋子参院議員が初選した19年参院選で活気に湧いた」と大きな影響を  
与えるを持つ、「2人の活を見て、1政治が葉梨閣議のあり方と義務に大きな影響を  
与える」ということを改めて学んだ。そして神谷氏は最後に向けて「葉梨閣議は法律  
律政系閣議の影響がきくべきである。現場の声をちゃんと国政に届けて、地域住民の思  
惑より健康に生きてほしい。その環境を整えていきたい。」と感嘆の言葉を示した。

知っている薬剤が国政に出していくのは心配」といって、たかましの市で多く頂いており、心強〜感じていた。コロナ禍での活動で改めて認識した課題もあった。その一つがオンライン服薬指導だ。オンラインを併用した諸活動も企画をまわっているが、対面でのコミ ュニケーションの方が会話もスムーズに進み、相手の心を通じ合わせて「顔の

後継者として出馬まで頂くとともに、実際に挨拶をさせてもらい、製薬企業のなかでは多くの応援メッセージを頂いた。

国が、国が、資源の乏しい日本が持続可能な経済成長を遂げるために、知的集約型産業である製薬産業の振興は欠かせない」と感じて、新型コロナウイルス感染症の収束に向けて、重要な力

を振るウーテン・治癒薬

情報を提供する重要な役割を担うため、しっかりと経路を確立して頂けた。営業陣を確立して頂けた。に前報にていた。

——最後に現場に向けたメッセージをお願いします

74年の「医薬分業元年」と目撃して、掲げた分業政策は、70年代半ばの現在、薬局で薬剤師の存在のイメージが定着している。それが

創価の方々からは「現場で  
 いる農丹基を解説員とす  
 る」のが、農薬品に「関する必要

日本薬剤師連盟 副会長  
神谷政幸氏

エーサで開業医担当のMRとして勤務していたので、医薬品卸は物的な流通機能強く認識している。また、状況や課題も理解している。

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

## 薬連だより

## オレンジ日記

5月5日は薬の日

自民党厚生労働部会副部長  
参議院議員・薬剤師 本田 顕子



以前、私が奈良県製薬協同組合を訪問した際、「奈良のくすり」というパンフレットに“薬狩り”の記述を見つけました。女帝である推古天皇が即位した際、皇太子が、それまでの獣狩りの武技に代わり、中国の風習にならって薬狩りをするように進言し、現在の奈良県大宇陀地方で薬狩りをされたという記述でした。

更に、日本最古の薬狩りの記録として、推古19年（611年）5月の端午の節句の日に、狩りの装束をまとい、野や山にでかけて薬草を採取したと「日本書紀」に記載されていると記述されていました。そして、これをモチーフにして、薬狩りの壁画が昭和18年に作成され、私の母校、星薬科大学に所蔵されているのです。

インターネットで“5月5日は薬の日”で検索してみると薬狩りの記述に辿り着くことができます。こどもの日に、子供の健やかな成長を願って菖蒲湯に入ることも薬狩りの名残であるとわかります。

身近な薬草やその他の天然物を利用し、様々な知識・経験が蓄積され、薬草が民間薬となっていくたぐすりの歴史は興味深く、そうした歴史の延長が今の私たち薬剤師に引き継がれているのだと思います。

こうした民間薬の普及に貢献された立役者が女性の推古天皇だったことにも驚きました。

医師や薬剤師がいない時代、家庭を守り、家族の生命を守るという女性の役目が大きかったことを示すものと感じました。

今は長引くコロナ禍との戦いが続いています。身近な大切な人の命を守るために私たち薬剤師にできる知識と経験を一人でも多くの方に届けてあげようといがんばっていききたいですね。



薬狩り壁画（星薬科大学所蔵）：赤い傘の下に推古天皇



本田あきこ



メルマガ登録



本田あきこの部屋



@89314honda



薬連だより

国会レポート  
厚生労働委員会の質疑

情報監視審査会会長  
参議院議員・薬剤師  
藤井 基之



4月20日の参議院厚生労働委員会において、今国会で初めての質疑を行いました。

まず、新型コロナウイルスワクチンの開発状況について、欧米等のワクチン開発に比べて、国産のワクチン開発が遅れたことは事実であり、その要因は、平時からのパンデミック等の非常事態に備えた対応の不足、安全性をより重視した厳格な規制等、種々指摘されているところです。また、mRNAワクチンを例に挙げれば、ファイザー・ビオンテック、モデルナとも、昨年1月10日に新型コロナウイルスの正確な遺伝子配列が公表されてから、僅か1ヶ月半後には第1相試験を開始し、12月には米国でEUA（緊急使用許可）を取得するという、驚異的な早さで進められたことも事実として挙げられます。

国内においては、組換えタンパクワクチン、mRNAワクチン、DNAワクチン、不活化ワクチン等の多様なワクチン開発が進められています。当初の開発は出遅れたものの、ワクチンの国内開発、国内製造をしていくことは、感染症対策はもとより、安全保障上の観点からも重要な意義を持つものです。今後のワクチン開発に当たっては、既存のワクチンに比べて、安全性やコスト面で優れた製品を開発していくことも十分に踏まえ、国として積極的な支援を行うよう要請しました。

次に、ワクチンの供給、接種について、感染者の急増や変異株による感染割合の増加等、国民の不安は拡がり、一刻も早いワクチン接種を待ち望んでいます。承認申請中のモデルナ社、アストラゼネカ社のワクチンについて、早急に審査を進めるのは当然のこと、国民に対して審査状況等を十分に説明していく必要があることを指摘しました。

質疑時間が限られ、十分なやり取りが出来ませんでした。積み残しは次の機会に回したいと思います。

ワクチン開発・生産体制強化の国家戦略

新型コロナウイルス感染症の患者が世界で初めて確認されてから1年半が経過しました。パンデミックは世界中に拡がり、人々の社会生活や経済活動に大きな影響を及ぼしています。他方、パンデミックの制御に有効な新型コロナウイルスワクチンの接種が進む、英国、米国、イスラエル等の諸外国では、感染症患者の減少により、社会生活の制限が緩和され経済活動が活性化する等、これまでの日常を取り戻しつつあります。国内でもワクチンの接種は進められていますが、国産ワクチンの開発が遅れ、当面は輸入ワクチンに頼らざるを得ない状況にあります。

政府は6月1日、こうした実情を踏まえ我が国のワクチン開発を滞らせた要因を明らかにし、解決に向けて政府が一体となって長期継続的に取り組む「ワクチン開発・生産体制強化戦略」を閣議決定しました。

この戦略の中で、新型コロナウイルス感染症への喫緊の対応として、「すでに先発のワクチンが使用されている中で第Ⅲ相試験の二重盲検試験のために数万件の被験者を確保することは困難であり、ICMRA（薬事規制当局国際連携組織）において、ワクチン接種後の血中中和抗体価の上昇など、補完的指標の活用について議論されており、最終的なコンセンサスが得られる前から、そのコンセンサスの方針を先取りして、国内企業での検証試験を開始し、速やかに完了できるよう、既定の予算措置ともあわせて政府として強力に支援する。」ことも記されています。

第Ⅲ相の大規模検証試験実施の困難さは今国会の委員会質疑で常々指摘してきたところであり、日本がICMRAに提案している大規模検証試験に代わる評価手法について、提案内容を先行実施し、その試験の適正さを国際的に示していくことも求めたところです。こうした内容が盛り込まれたことは、大いに歓迎したいと思います。

藤井基之ホームページ <http://mfujii.gr.jp/>

## 令和2年度第12回理事会議事概要

日時：令和3年3月13日（土）19:00～20:42

場所：沖縄県薬剤師会 研修室

出席者：亀谷浩昌、中村克徳、金城雄一、佐藤雅美、西川裕、宮城幸枝、村田美智子、川満直紀、笠原大吾、幸地良信、古謝真己、島袋さゆり、知名博樹、中尾滋久、前濱朋子、盛本直也、吉田洋史、川上善久（南部地区代理）、西坂順（北部地区代理）

監 事：江夏京子

事務局：大城喜仁、玉寄博之、稲嶺有紀

欠席者：新垣秀幸、上原卓朗、友寄安彦

### 議 題

#### (1) 一般社団法人沖縄県薬剤師会予備代議員の選任について

＜資料配布＞

（大城次長）

令和2年度第9回理事会（令和2年12月12日）決議事項により、各選挙区から定数通りに選出されてきている。ただし、南風原支部は正代議員が定数に達していないため予備代議員は選出していない。

代議員選挙規程第20条により、臨時総会で選任いただくために、理事会にて承認いただきたい。

特に異議なく全会一致で承認された。

#### (2) 第83回臨時総会式次第・資料等について

##### ・式次第

＜資料配布＞

（大城次長）

去る3月1日の幹事会にて、臨時総会の司会、開会・閉会の挨拶、各議題の説明の担当役員等が提案された上で、式次第案が提示されてきているが、この内容でよいか審議いただきたい。

特に異議なく全会一致で承認された。

##### ・報告 第1号 令和3年度事業計画について

＜資料配布＞

（大城次長）

前回（2月）理事会にて各委員会・部会の全ての事業計画案が出揃い、その後、改めて理事各位に最終確認をしていただいたが、特段の修正等は無かった。この内容で総会資料として良いか審議いただきたい。

特に異議なく全会一致で承認された。

##### ・第2号 令和3年歳入歳出予算について

＜資料配布＞

（川満理事）

今年度の収支状況を踏まえ、去る2月5日開催の財務委員会で調整及び確認し、本会顧問税理



士の指導の下、令和3年度歳入歳出予算を作成した。臨時総会では、一般会計予算、各収益事業部予算（会営薬局うえはら、会営薬局とよみ、会営薬局医療センター前、試験検査センター、琉球大学病院FAXコーナー、その他事業会計）の各会計の経常収益、事業費、正味財産期末残高等を順次説明できるよう、特に前年度予算や今年度決算見込額と差額が大きい科目については具体的に説明できるように資料を作成した。この内容で良いか審議していただきたい。

特に異議なく全会一致で承認された。

・議案 第1号 令和3年度会費額に関する件について

＜資料配布＞

（川満理事）

今年度の収支状況を踏まえ、去る2月5日開催の財務委員会で調整及び確認し、令和3年度も同じ基準で徴収することが決議された。特に、賛助会員B会費については、今年度の社保・国保の受付枚数が前年度15%減であることから大幅な減収が予想されるため、今年度実施した賛助会員B会費の免除を行わず、毎月徴収することとしたい。

特に異議なく全会一致で承認された。

・第2号 一般社団法人沖縄県薬剤師会予備代議員の選任について

＜資料配布＞

前記議題1の通り承認済み。

・第3号 一般社団法人沖縄県薬剤師会会長候補者選挙について

＜資料配布＞

（大城次長）

選挙管理委員会の野崎真敏委員長から今回の選挙の立候補届出等に関する報告および説明を次の通り預かっている。

去る令和2年12月14日に亀谷会長名で今回の選挙の公示をした。これは、本会の「一般社団法人沖縄県薬剤師会会長候補者及び監事選挙規則」、「同施行細則」により、来る6月20日に開催予定の第84回定時総会とその直後に開催される臨時理事会において選定する、会長（代表理事）に係る候補者を決定するための選挙である。去る12月開催の理事会において、同選挙の公示日ならびに選挙期日等を決定し、会長候補者に関する公示およびスケジュールを本会ホームページ、おきなわ薬剤師会報に掲載、またFAX一斉同報でも知らせた。この公示に基づき、3月5日の午後5時を以て候補者の届出を締め切った。今回の会長候補者に立候補された前濱朋子氏の届け出に不備は無く、多くの推薦を得てこれを承諾し、立候補の届け出をされていることを最終確認し、選挙規則第6条により候補者一覧を事務所に掲示した。

来る3月21日開催の第83回臨時総会において会長候補者が選挙されることになっているが、今回は立候補者数が一人で員数を超していないことから、選挙規則第9条に則って、臨時総会に出席の代議員の議決を経て、投票を行わずに、その候補者をもって当選者としてほしいこと、また、今回の候補者は推薦を承諾して被推薦者として立候補していることから、選挙規則施行細則第9条に則って、立候補者による所信表明はもちろん、推薦代表者による推薦演説を設けた方がよい旨を、臨時総会当日にこの経緯を説明し、議長、副議長の進行のもとで、執行したい。

野崎真敏選挙管理委員長の説明の通りに臨時総会にて執行することで、特に異議なく全会一致で承認された。

**(3) 一般社団法人沖縄県薬剤師会監事選挙について**

＜資料配布＞

(大城次長)

令和3年6月20日に本会の第84回定時総会が開催される。同日に、本会の「一般社団法人沖縄県薬剤師会会長候補者及び監事選挙規則」、「同施行細則」により、監事を決定するための選挙を行うことになっている。本日の理事会において、同選挙の公示日（選挙期日の60日前まで）ならびに選挙期日等を決定し、公示を本会の事務局ならびにホームページに週明け3月15日にも掲示したい。同時にFAX一斉同報も行う。

候補者の資格は、選挙期日の90日（3月21日）前までに本会へ正式入会手続きを完了している正会員。届出の受付期間は、選挙期日の15日前までで、日曜日と祝日を除く6月4日の午後5時までとし、本会事務局で受け付ける。立候補届出書、又は候補者推薦届出書と承諾書をはじめ、必ず添付しなければならない書類の様式は全て規定されており、届出関係書類一式、選挙関係規則、本会定款等諸規定を本会ホームページからダウンロードして利用できるようにする。

以上の内容にて公示してよいか。

特に異議なく全会一致で承認された。

**報 告（会）**

**(1) 会営薬局の調剤保険料等について**

＜資料配布＞

(玉寄主任)

本会3会営薬局の2月度分の調剤保険料の資料である。

**(2) 第133回那覇市国民健康保険運営協議会**

2月4日（水）那覇市役所 ＜資料配布＞

(吉田理事)

保険税の収納率が新型コロナウイルスの影響で下がっている。令和3年度も赤字で約15.8億円を一般会計から繰り入れる予定とのこと。

特定健康指導は前年と比べ300人ほど減少したが、実際に特定健康指導を受けた人数は増えており、指導率が73.4%と過去最高となった。これは、全国においてもトップクラスの指導率である。

**(3) 薬剤師の臨床判断に基づく要指導医薬品・一般用医薬品の適正販売等に関する研修会**

(笠原理事)

2月14日（日）県薬 ＜資料配布＞

DVD放映による伝達講習会となっており、健康サポートのための薬剤師の対応研修のアドバンス編の内容になっている。受講者の人数を制限しグループディスカッション方式で行った。受講者は17名だった。

**(4) 薬事関連情報評価・調査企画委員会の予定事業に関する説明会**

2月18日（木）県薬

(中尾理事)

＜資料配布＞

患者の薬物療法の把握及び検査値を用いた薬剤師業務に関する研究が主な内容で、3月16日に行われる一斉アンケートについての説明であった。

(5) 令和2年度第2回地区薬剤師会会長会議

2月21日(日) 県薬 <資料配布>

(大城次長)

2月の理事会で決議された3つの事項を各地区薬剤師会会長に報告した。

①神谷まさゆき次期参議院議員選挙組織内統一候補者の支援活動について、紹介者名簿を各薬局に送付したこと。②FAXコーナー職員への慰労金については県薬全職員と地区薬剤師会全職員に給付すること。③賛助会員B会費の追加免除について今後は無いこと。

那覇地区薬剤師会からの「会営薬局うえはらを健康サポート薬局にすると動いていたが、現在止まっている。今後の意向・方針を伺いたい」の質問には、健康サポート薬局推進担当の笠原理事より届いた回答文書で確認した。

(6) 令和2年度医療安全講習会

2月21日(日) 県薬 <資料配布>

(中尾理事)

一般講演として、那覇警察署による「官民一体となったテロ対策の推進について」と、損保ジャパン株式会社による「新型コロナウイルス感染症対応店舗休業補償制度の説明及び事故過誤事例報告」を講義していただいた。

特別講演には、昨年中止になった九州山口薬学大会で医療安全対策のセクションとして招聘する予定であった日本薬剤師会の亀井美和子常務理事による「安全な医療を提供するために薬剤師ができること」をテーマにWEBにてご講演いただいた。受講者は、現地参加36名、WEB参加143名、合計179名であった。

(7) 令和3年度第1期薬局実務実習オリエンテーション

2月22日(月) 県薬 <資料配布>

(佐藤常務理事)

薬剤師行動規範の内容を中心に講義した。1期の実習生は20名であり、そのうち1名が来沖して2週間経過していないとのことでWEBでの参加となった。指導薬剤師も約6名参加していただいた。今回は進学できない学生が過去最多となっており、大学側も慎重になっているとのこと。

(8) 令和2年度小児救急電話相談(＃8000)連絡協議会

2月22日(月) 沖縄県医師会

(吉田理事)

<資料配布>

次年度以降の薬剤師の給与について、現在は相談対応の有無にかかわらず1日8,000円としているが、年間相談件数が約40件前後という少ない状況を踏まえ、他事業等を参考に支払い方法が見直された。電話対応があった場合1日8,000円支給とこれまでと変わらないが、電話対応が無かった場合1日4,000円と減額となった。

(9) 令和2年度日本薬剤師会学校薬剤師部会全国担当者会議

2月25日(木) WEB

(知名理事)

<資料配布>

文部科学省健康教育調査官より学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル「学校の新しい生活様式」に基づく対応等について話が行われた。

災害時に学校が避難所となった際、「災害時の避難場所は、トイレに始まりトイレに終わる」と言われるぐらい一番大事なのが「トイレ」である。トイレの設置場所、動線、照明、男女区別、衛生的に流せるようになっているか、どのような様式を使用するのかという話であった。今後、学校薬剤師の役割としていきたい。

**(10) 令和2年度薬局実務実習受入に関する九州山口地区ブロック会議**

(佐藤常務理事)

2月27日(土) WEB <資料配布>

令和2年度第1・2期九州山口地区実務実習におけるトラブル防止委員会への報告事例として、沖縄では未だ実習中止や実習先変更といった大きなトラブルは無いが、他県では毎年、話し合いでは解決出来なかったトラブル事例がある。今回は例年と比べトラブル報告は少ないが5件発生した。これまでトラブル事例報告は実務実習受入委員会だけで情報共有をしていたが、今後は理事及び指導薬剤師にも情報共有していく。

**(11) 令和2年度九州山口薬剤師会災害対策協議会**

2月27日(土) WEB <資料配布>

(吉田理事)

福岡県薬剤師会、福岡県、卸業協会の三者連携による全国で20台目のモバイルファーマシーが1月から運用開始となっている。

各県の災害薬事コーディネーター、災害支援薬剤師（リーダー）などの研修に対してバラつきがある。

災害が起こった際の会員薬局への安否確認方法（業者のシステム、LINEなどの活用）を確認した。

災害時の医薬品供給体制について他県では、合同訓練を行っているところもあり、本会でも見習っていきたい。

災害時備蓄医薬品について会営薬局に備蓄（流通在庫）をしているが、今後OTCの備蓄を増やしていきたい。

**(12) 令和2年度九州山口薬剤師会医療保険協議会**

2月27日(土) WEB <資料配布>

(宮城常務理事)

オンライン服薬指導について、薬剤服用歴管理指導の4（オンライン服薬指導）の届出は各県4～6%（沖縄6.2%）で、算定実績については把握できていない状況がほとんどである。会員に対しての支援は、福岡県薬のみが研修会を開催し届出に必要な様式を参考として紹介、薬局にて準備が必要となる「手順」「同意書」「計画書」を作成し、会員がダウンロード可能としている。

オンライン資格確認システムの会員への周知については、文書による案内やWEB参加を含めた研修会等で行われている。

新型コロナウイルス感染症について、乳幼児服薬指導加算（臨時取扱）等調剤報酬に係る情報は、各県薬メール又はFAXで随時会員への配信が行われている。

新型コロナウイルス感染症の疑いのある患者の来局について、長崎県薬では行政との連絡がスムーズに行われるように行政に申し入れ感染情報等の提供を受け入れており、行政や医師と取り決めが行われている。

会員薬局への補填等は行われていないが、大分県薬が各地区薬に対し、コロナ感染対策として県薬会費の10%を交付しているとのこと。

薬剤交付事業として、佐賀県20件前後/月、長崎県15件程度/月、熊本県10数件/月、宮崎県10件程度/月、鹿児島県52件/月、山口県12月末時点で75薬局369件158,803円、福岡県1月末までの請求で5,267,066円となっている。

後発機薬品への変更調剤に関する医療機関への情報提供については、情報共有を行った。



特定薬剤管理指導加算2の算定要件について、コロナ禍で「抗悪性腫瘍剤の化学療法に係る研修会」が滞っている地域があることから、対象の医療機関に年度内の実施を要請しているとの報告があった。福岡県薬では同研修会の開催を各地区薬に一任していたが、地区薬にて開催できない地域の方を対象に、2月にZOOMにて開催した。事前調査では55薬局のみを対象としていたが、募集の結果300名を超える方に受講いただいたとのこと。

吸入指導加算について、「初回の患者についての算定」「同一剤形の吸入薬でも銘柄が異なれば別々の月に算定」「ネブライザー試用による算定」では算定可能とのことで認識が一致している。

患者フォローアップ（多職種連携も含めて）について、各県薬のトレーシングレポートには特徴があり、山口県薬では、かかりつけ薬局が決まっていない患者が、退院した後に在宅医療をどこに頼んでよいか分からない場合の際に、地域包括支援センター毎に県内で計60人の「在宅薬事コーディネーター」を養成している。

疑義照会プロトコルについて、各医療機関によってルールが異なり、このようなプロトコルが増えることで対応が煩雑になることが予想されることから、各県薬における取り決めについて確認をした。大分県薬と宮崎県薬では大学病院1つが実施、研修等で周知しているとのこと。福岡県薬では福岡市薬剤師会と市内6広域病院での共通プロトコルを運用中とのこと。

電子薬歴の運用管理規定について、「保険調剤確認事項リスト」に沿って、運用管理規定の整備、及びパスワードの取扱いについての確認指導が行われているとのこと。

頓服指示のある内服薬調剤料については、内服として請求している県がほとんどだが、実状にあったように算定するようにとのことだった。

### (13) 令和2年度九州山口薬剤師会在宅医療推進協議会 (笠原理事)

2月27日(土) WEB <資料配布>

薬薬連携（鹿児島県薬、大分県薬より報告）については、不便な地域ほど連携はうまくいく傾向にある。緊急入院が多いので、その時の対策ほど大変である印象があり、地域連携薬局のビジョンがそれを推進する。連携シートは、各県とも整備しているところは多かったが、運用面ではまだ実施しているところは無かった。本県では那覇市の医療介護の連携において多職種の連携シートを使用している。

多職種連携（鹿児島県薬より報告）についても、不便な地域ほど、その必要性から活発な活動をしている。

また、お薬整理バッグを活用した入退院支援を展開しており、応用の点では参考にできる取り組みであると感じた。

地域ケア会議、サービス担当者会議については、書面での対応以外に行っている好事例は上がらなかった。

麻薬の取り扱い（鹿児島県薬より報告）については、離島僻地での麻薬の供給・使用については工夫の余地がある。各県とも実態を受け止めてはいたが、対策等の提案は出なかった。

医療材料の取り扱いについては、薬局で小分け分譲が可能な体制整え活用したいが、各県薬とも進展は無いようであった。

在宅医療研修については、コロナ禍で研修自体が難しくなっている。看取りや在宅同行訪問の研修などは特に難しい。研修は薬剤師向けのみならず、多職種で考えることが好ましいという意見が出た。

ターミナルケアについては、看取りの研修の話、PCAポンプなどの取り扱いの研修の話が議論されたが、各県薬ともPCAポンプの購入はあるものの、取り扱いについては、各県薬よりの貸し出しをしているのは一部であり、あくまでも研修に使用しているのがほとんどである。

**(14) 令和2年度薬剤師継続学習通信教育講座スクーリング(女性薬剤師部会)**

(村田常務理事)

2月28日(日) 県薬 <資料配布>

同通信教育講座は毎年、一般社団法人日本女性薬剤師会が編纂した年8冊の新しいテーマ別テキストで行われている。スクーリングは各県に任せられているため、8テーマの中から4テーマを選び県内医師に講義を依頼している。本年は「神経障害性疼痛」「感染症」「過敏性腸症候群」「薬剤性腎障害」のテーマで開催した。

参加者は38人、内訳は、会員36人、非会員1人、学生1人であった。

**(15) 令和2年度第11回学校薬剤師部会役員会**

2月28日(日) WEB <資料配布>

(知名理事)

2月6日に行われた令和2年度学校薬剤師九州ブロック連絡会議と、2月25日に行われた令和2年度日本薬剤師会学校薬剤師全国担当者会議の参加内容を役員に報告した。

学校薬剤師新任研修会を4月11日に行うことが決定し、FAX一斉同報で開催を案内した。

**(16) 令和2年度会営薬局うえはらの無菌調剤室を共同利用するための説明会**

(笠原理事)

3月3日(水) 会営薬局うえはら <資料配布>

新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため人数を10名に制限し開催した。利用に必要な手続き等の講義が行われた後、日科ミクロン株式会社による体験学習も行った。受講者は8名だった。

**(17) 第2回地域医療支援病院運営委員会**

3月4日(木) 友愛医療センター <資料配布>

(亀谷会長)

友愛医療センターと地域連携を行っているクリニック等で連携運営システムを構築しており、その取り組みについての説明や、病院の紹介率、救急車の受入拒否率の話があった。

また、心臓手術で内視鏡を駆使し心臓を止める技法を沖縄では琉球大学病院に続いて友愛医療センターが整備した。

**(18) 一般社団法人沖縄県薬剤師会会長候補者選挙立候補届出締切日 3月5日(金) <資料配布>**

(大城次長)

同選挙立候補届出を3月5日午後5時を以て締め切り、会長候補者一覧を本会事務所に掲示した。

**(19) 日本薬剤師会第97回臨時総会**

3月6日(土) ホテルイースト21東京 <資料配布>

(亀谷会長)

次年度予算の審議で年金事業廃止に伴い総事業費が縮小した。次年度の事業計画、重要事項経過報告についても話が行われた。

九州ブロック代表質問の登壇は、今回は沖縄県が担当になっているため私が九州を代表して、SDGsへの取り組みについて質問した。

また、一般質問で、本会が県内国公立薬学部創設を目指していることについて、文部科学省

及び日本薬剤師会の見解を質問したところ、「全国的に薬剤師が供給されてきているが、過剰になっており地域偏在があることも認める。地域の要望があれば薬学部を創設することに反対はしない」との回答をいただいた。

**(20) 社会保険診療報酬支払基金幹事会**

3月10日(水) 書面開催 <資料配布>

(亀谷会長)

支払基金定款の一部変更があり、これまでの「支払基金幹事会」が廃止となり、代わりに「支部運営委員会」が新設されることになった。

**(21) 令和2年度第1回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会**

(笠原理事)

3月10日(水) 県薬 <資料配布>

講義内容は、健康サポート薬局を実現した3薬局(いは薬局、あかみち薬局、すこやか薬局ライカム店)の事例紹介をWEBで行った。受講者は現地参加3名、WEB参加49名、合計52名であった。現在14薬局が健康サポート薬局に登録されている。

**(22) 沖縄県医療事故調査等支援団体連絡協議会・沖縄県医師会医療事故調査支援委員会合同会議**

(中尾理事)

3月11日(木) 沖縄県医師会 <資料配布>

亀谷会長、吉田典子氏(薬事情報センター)と出席した。

病院やクリニックで医療事故があった場合の対応、沖縄県で医療事故が起こった場合の医師会での介入方法などの内容であった。

各団体の活動状況について、本会からは医療安全講習会を行っていることと、各薬局で医療事故があった際に、本会へ報告してもらいそれを会員へフィードバックしている事を報告した。

**(23) テレビ放送(がんじゅうタイム)**

<資料配布>

○QAB 3月11日(木) 19:54 ~ ○OTV 3月13日(土) 12:54 ~ ○RBC 3月14日(日) 17:55 ~

(大城次長)

国民健康保険広報テレビ3分間番組「がんじゅうタイム」で、亀谷会長が「かかりつけ薬剤師・薬局を持ちましょう」をテーマに出演している。会員にはWeeklyニュースで案内した。

**(24) 代議員選挙(選挙期日3月12日) 当選者について**

<資料配布>

(大城次長)

令和2年12月14日に告示した本会の令和3・4年度代議員選挙について、立候補辞退(2月22日締切)も無く明日3月12日が選挙期日であった。各選挙区とも立候補者が定数内であったため、選挙は行われず無投票当選であった。本会選挙管理委員会の野崎真敏委員長から当選者の報告を受け、週明け3月15日に当選者を告示することとなっている。

**(25) 令和2年度事業報告提出について**

(大城次長)

各地区薬剤師会は、事業報告を4月16日(金)までに提出。

各部会は、事業報告を同じく4月16日(金)まで、領収証の提出は4月2日(金)までとする。

(26) 第83回臨時総会開催通知及び出欠状況について

＜資料配布＞

(大城次長)

代議員48名中36名から出欠回答がきている。出席は30名、欠席は6名、欠席者のうち委任状提出が5名。まだ回答が来ていない11名については、改めて確認をとる。

(27) その他

＜資料配布＞

(大城次長)

PHARMACY NEWSBREAKに株式会社薬正堂が掲載されている。経済産業省が出している「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」に認定された内容となっている。

(島袋理事)

自殺対策強化月間において沖縄県地域保健課よりポスターが届いている。同ポスターを各薬局で掲示し活用していただきたいが、県内各薬局分のポスターの在庫がないので、日本薬剤師会のホームページより印刷し活用していただくようFAX一斉同報にて案内する。

報 告（薬連）

(1) 沖縄県薬剤師連盟役員会議

2月14日（日）県薬 ＜資料配布＞

(大城次長)

神谷まさゆき紹介者・支援者名簿の収集および会員強化プランについて話が行われた。

今後の本会連盟のスケジュールは、5月初旬に監事監査、5月下旬から6月初旬に総務会を開催し、6月20日に評議員会を開催することになっている。

(2) 令和2年度若手薬剤師フォーラム

2月14日（日）県薬 ＜資料配布＞

(大城次長)

日本薬剤師連盟の神谷政幸副会長と原口亨常任総務を招聘し、リモートで講話いただいた。

講演1では「だから神谷まさゆき」と題して、原口亨常任総務が、「若手薬剤師の政治への関心度」「薬剤師を国会議員にする意義」「何故、薬剤師が政治に関わるのか」などを踏まえ講話をされた。

講演2では「医療を取り巻く環境と薬局～今後の薬局機能・薬剤師職能を考える～」と題して、神谷政幸副会長が、「国会議員を設置することによる会員へのメリット」「これにより薬剤師職能（薬局経営等）にどう反映するのか」など、今後の薬局機能、薬剤師職能を考えていく講話をされた。

(3) 令和2組織強化担当役員全国会議

2月26日（金）WEB ＜資料配布＞

(大城次長)

本連盟の石川幹事長が出席した。

組織強化のための手順書を前回の本田選挙を踏まえ作成しているとのこと。また、連盟の資金力が乏しく、正会員のうち連盟会員への加入率が伸びていないことへの対処法について議論されたとのことである。

(4) 自由民主党沖縄県選挙区支部長との意見交換会

2月28日（日）県薬 ＜資料配布＞

(大城次長)

本会から3事項について要請した。



最初に、吉田理事が、新型コロナウイルス感染症対応等について、日本薬剤師連盟提供の資料に沿って説明、財政支援を要請した。ワクチンの優先接種について、発熱患者等が受診する「診療・検査医療機関」と連携して、患者がかかりつけ薬局から安心して医薬品が入手できるよう、地域の医薬品供給を担う薬局の感染防止のための体制整備における財政支援を要請した。

次に、亀谷会長が、沖縄県内国公立大学への薬学部（科）創設の件について、薬剤師数が平成24年から全国最下位で、その差が年々拡大している現状や、政府が地方大学の魅力向上策、若者の地元定着を促すため地方国立大学の定員を2022年度以降に増員することを目指し、地方創世の総合戦略に反映する計画があることを受け、これまでの「沖縄県内国公立大学への薬学部（科）創設に関する要望」の文面に、新たに当該事項を盛り込み、沖縄県議会に提出したこと。さらに、沖縄県の沖縄振興計画骨子の「薬剤師の育成」「薬剤師の確保」分野に対し、新たに「薬剤師確保対策制度」を盛り込む旨の提言が、沖縄県から政府への「新たな沖縄振興のための制度提言」中間報告に記載され、その制度の内容が「県内国公立大学への薬学部（科）の設置に要する費用に係る財政支援を創設する。」「地域枠入学試験制度の導入を義務付ける。」等が謳われていることから、先に西銘議員と宮崎議員に面会し要請したこと。今後も同件を提示・要請し、県内国公立大学の意向も聞き取りし、引き続き、薬学部（科）創設の要望を推し進めていきたいが、本会の同活動へのご指導ご鞭撻、ご協力をお願いした。國場議員から、文部科学省高等教育局から得た琉球大学の学部新設状況及び学部設置構想、国立大学新学部設置のための手続きや学部等新設審査スケジュール等の情報提供があった。半世紀以上、国立大学に薬学部が設置されていない壁は大きい。他県の国会議員の力添えも必要である。

また、2018年度診療報酬改定率技術料割合に基づく医科:歯科:調剤の配分比率「1:1.1:0.3」について、吉田理事が、日本薬剤師連盟提供の資料と共に、自ら作成した説明資料に沿って説明。国民皆保険を維持・継承するとともに、誰もがより長く元気に活躍できる全世代型社会保障の実現に向けた取組が始まっている。改正された医薬品医療機器等法においても、地域における薬剤師・薬局の役割と機能が明確に示されており、医療及び介護提供体制を総合的に確保するための財政支援制度（基金）とともに診療報酬がその推進を支えることになる。来年4月に予定されている診療報酬・調剤報酬の改定にあたっては、同配分比率を堅持し、将来を見据えた適切かつ公平な改定のための必要な財源措置を講じていただきたい、と要請した。

限られた時間内に説明および要請することができた。各選挙区支部長も同説明および要請について、概ね理解されていた。最後に、参加者全員で記念撮影もした。

#### (5) 神谷まさゆき中央後援会「広報活動についての説明会（幹事長対象）」

（大城次長）

3月9日（火）WEB ＜資料配布＞

本連盟の石川幹事長が出席した。

広報活動についてSNSを活用し、強化してほしいとのこと。LINE、メールマガジン、Facebookがあるが、主にLINEとメールマガジンを優先的に推奨していくようにとのこと。現在メールアドレスを登録している会員が約130名いるが、メールマガジン登録の許可をもらい、配信する方向で進めている。

#### (6) 島尻安伊子氏来訪

3月2日（火）県薬

（亀谷会長）

うるま市長選挙に立候補する中村正人氏への協力依頼で来訪された。

## 令和3年度第1回理事会議事概要

日時：令和3年4月10日（土）19:00～20:30

場所：沖縄県薬剤師会 研修室

出席者：亀谷浩昌、中村克徳、金城雄一、佐藤雅美、西川裕、宮城幸枝、村田美智子、新垣秀幸、  
上原卓朗、川満直紀、笠原大吾、古謝真己、島袋さゆり、知名博樹、中尾滋久、前濱朋子、  
盛本直也、吉田洋史

WEB：友寄安彦

監事：神谷朝雄

事務局：大城喜仁、玉寄博之、金城佳樹

欠席者：幸地良信

### 議 題

#### (1) 第84回定時総会までのスケジュール及び地区薬剤師会代表質問の順番の決定について

（大城次長）

＜資料配布＞

去る4月5日開催の幹事会から次の提案がある。同総会用の資料の発送日について、5月8日の次回理事会で資料内容の承認を得た後の5月13日（木）とすること。地区薬剤師会代表質問の提出日について、質問および回答内容を査定する6月7日（月）開催の幹事会前の5月27日（木）までとすること。また、地区薬剤師会代表質問の順番については、例年通り、平等性を保持するために、今年の総会の前半3地区薬剤師会と後半の3地区薬剤師会を入れ替え、各3地区でくじ引きをして決定したいとのこと。

幹事会提案の各設定日およびくじ引きによる質問の順番の決定について、特に異議無く承認された。

地区薬剤師会代表質問の順番は、①南部地区、②北部地区、③八重山地区、④那覇地区、⑤中部地区、⑥宮古地区となった。

#### (2) OKI Payと本会との契約について

＜資料配布＞

##### ○基本契約書締結について

（西川常務理事）

OKI Payとは、株式会社沖縄銀行が提供するQRコード決済アプリである。同銀行との基本契約締結により、薬局にてQRコード決済と処方箋送信機能が利用可能となる。但し、処方箋送信機能を利用するには、おきなわ電子おくすり手帳の契約が別途必要となる。導入費用はかからない。QRコードリーダーが1台貸与され、決済手数料1.5%（通常1.8%）を支払う契約となっているが、懸念事項として、同銀行のみに便宜を図っているように見られるが、株式会社琉球銀行は業務提携しており、OKI Payが利用可能になる予定である。なお、琉球銀行はQRコード決済アプリをリリースする予定はないとのこと。コロナ禍における処方箋送信機能や非接触型決済は、感染予防に繋がるため承認していただき会員へ案内したい。

（亀谷会長）

OKI Payを推進することで、各地区薬剤師会FAXコーナーの収入減となることが考えられ、本会として推奨してよいものか慎重に検討しなければならない。

(吉田理事)

契約書には、おきぎん StarPayとあるがOKI Payとの違いを教えてください。また、紹介手数料の1,000円について説明いただきたい。

(西川常務理事)

おきぎん StarPayは、OKI Payに加えて、PayPayやLINE Payなどの国内決済サービスのみならず、ALI PAYなどの国外決済サービスも使用可能となる。本会には、会員を紹介することで1,000円の手数料が入る。

(川満理事)

決済手数料が1.5%となるのは、本会を通した場合だけか。また、各薬局からの申込は本契約と同時にしなければならないのか。

(西川常務理事)

決済手数料1.5%は、本会を通した場合のみである。また、各薬局からの申込時期については、任意である。

(吉田理事)

各薬局からの申込期限はあるのか。

(西川常務理事)

本契約は1年間であるが、双方いずれからも申出がない場合には、1年間自動延長する契約となっているため、申込期限は定められていない。

(上原理事)

決済サービスのみの利用は可能か。

(西川常務理事)

OKI Payアプリ上で、OKI Payを利用できる薬局と処方箋送信機能を利用できる薬局がそれぞれ確認でき、処方箋送信機能を利用しない薬局には処方箋送信ができない仕組みとなっている。

基本契約書締結について、多くの質疑応答をし、審議した結果、賛成多数で承認された。

## ○プレスリリースにあたって

(西川常務理事)

沖縄銀行のホームページと地元紙2社へプレスリリースを行いたい。プレスリリースにあたって、会名、会長名、ロゴマークの利用許可とPR者2人を選任いただきたい。

(吉田理事)

プレスリリースの時期については、会員へ案内し、ある程度応募があった後にリリースした方がよいのではないかと。利用可能な薬局が少ないと利用者が困ることが予想される。

(西川常務理事)

現在、処方箋送信機能は実装されておらず、アップデートで付加予定である。沖縄銀行としては、プレスリリースし、できるだけ早く認知させたいようである。

(佐藤常務理事)

プレスリリースする前に、会員へ案内すべきではないか。

(西川常務理事)

契約について、沖縄銀行に会員へ事前案内してもよいか確認する。

(中尾理事)

おきなわ電子おくすり手帳のロゴ（マッシュくん）利用について、著作元へ許可を得ていた方がよい。

プレスリリースについて、多くの質疑応答をし、審議した結果、賛成多数で承認された。

## ○説明会の実施について

(西川常務理事)

会員への周知にあたり、案内文だけでは説明不足のため、沖縄銀行によるWeb説明会を複数回開催する予定である。

## 報 告 (会)

### (1) 会営薬局の調剤保険料等について

＜資料配布＞

(玉寄係長)

本会3会営薬局の3月度分の調剤保険料の資料である。

### (2) 令和2年度自殺予防対策事業ゲートキーパー（薬剤師）スキルアップ研修会

＜資料配布＞

(島袋理事)

3月14日(日) 県薬

新型コロナウイルス感染症への感染防止対策として、十分な間隔を取るなどの対策を講じて開催した。日本作業カウンセラー協会理事の仲村千枝子氏が「ゲートキーパーの基礎知識」について、同協会沖縄支部事務局長の慶留間由美子氏が「ゲートキーパーの傾聴法」について、講演された。参加者は15名であった。

### (3) 新型コロナウイルスワクチン専門電話相談業務開始

3月15日(月) 県薬

＜資料配布＞

(大城次長)

県は、新型コロナウイルス感染症対策本部に相談窓口を設置しているが、対応困難な専門的な相談等に対する体制の確保のため、本会へ「新型コロナウイルスワクチン専門電話相談業務」を委託した。業務内容は、①ワクチン副反応等の医学的知見が必要となる専門的な相談への対応（副反応症状の聞き取りや医療機関の受診案内等）、②県と連絡調整が必要な事案の県担当者への連絡（専門的医療機関の受診調整が必要な場合等）、③対応マニュアルの作成及びマニュアルに沿った相談対応と相談内容の記録、④受信及び対応件数の集計となっている。

本会では、薬事情報センター委員会が中心となって、同業務に係る薬剤師及び事務員の募集を行い、応募した薬剤師を集めてキックオフミーティングを行うなど、開始に向け積極的に取り組んだ。業務拠点として、本会館に「沖縄県新型コロナウイルスワクチン専門相談センター」を設置し、電話機、備品等のインフラを整備した。同専門相談センターは3月15日より、薬剤師・事務員各1名体制で業務開始となった。但し、4月1日から9月31日の期間の土日祝祭日は、薬剤師2名・事務員1名体制となる（平日は薬剤師・事務員各1名体制）。営業時間は、平日・土日祝祭日ともに午前9時から午後5時までである。

(亀谷会長)

相談業務対応の薬剤師は、同じ会員だけをシフトするのではなく、幅広く多くの会員が経験できるよう募集をしている。

### (4) 沖縄県交通遺児健全育成会募金贈呈式

3月16日(火) 琉球新報社

＜資料配布＞

(大城次長)

本会は、沖縄県交通遺児健全育成資金造成のため、沖縄県医師会、沖縄県歯科医師会、沖縄県看護協会と協力して、毎年、募金活動を行っている。本会からは50,000円、四師会で計619,447円を寄附した。



**(5) 沖縄県新型コロナウイルスワクチン相談業務のキックオフミーティング** 3月16日(火) 県薬  
(中尾理事)

薬剤師15名(内、Web6名)、沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部2名の参加であった。沖縄県の大宜見多香氏が事業概要について、薬事情報センター委員会委員長の糸嶺達氏がワクチンの概論について、薬事情報センターの吉田典子氏が業務内容について説明した。4月7日現在、17名の相談員で対応している。相談件数は3月15日から31日までに26件、4月1日から7日までに14件あった。

**(6) 令和2年度第4回沖縄県高齢者福祉対策推進協議会** 3月17日(水) 八汐荘 <資料配布>  
(佐藤常務理事)

第8期(令和3年度～令和5年度)沖縄県高齢者保健福祉計画を作成する協議会である。計画の中で、薬剤師が人口10万人あたりの人数が全国で一番低い現況や、かかりつけ薬剤師を活用した多剤併用(ポリファーマシー)による薬剤有害事象発生のリスク軽減や医療費の適正化、在宅訪問研修を通して、訪問薬剤管理指導業務を行う薬剤師の増加及び質の向上を図る施策を、計画の中へ盛り込むよう要望した。

**(7) 令和2年度第2回健康サポート薬局県内100軒実現に向けての研修会** <資料配布>  
(笠原理事) 3月18日(木) 県薬

OTCの導入について、盛本理事が講義した。また、医薬品卸会社6社(株)アクシス、アルフレッサ(株)、(株)新生オリエックス社、(株)ジョヴィ、(株)スズケン沖縄薬品、(株)ダイコー)から契約方法等について説明いただいた。参加者は28名であった。

**(8) 令和2年度日本薬剤師会研究倫理に関する会議** 3月19日(金) WEB <資料配布>  
(中村副会長)

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」と「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」が統合・制定された、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」についての説明があった。引き続き、審査が公正・公平に行うように取り組んでいく。研究倫理審査委員会の潮平英郎委員が出席した。

**(9) 令和2年度第12回学校薬剤師部会役員会** 3月21日(日) 県薬 <資料配布>  
(知名理事)

4月11日開催予定の学校薬剤師新任研修会等について話し合った。

**(10) 沖縄県薬剤師会第83回臨時総会** 3月21日(日) 県薬 <資料配布>  
(大城次長)

配布の議事概要を確認のうえ、議事録署名をいただきたい。

**(11) 令和2年度第4回薬学生実務実習受入委員会** 3月25日(木) 県薬 <資料配布>  
(佐藤常務理事)

主に、令和3年度ワークショップの派遣者の選出を行った。九州山口薬剤師会から連絡が入り次第、正式に決定される。

**(12) 令和2年度第2回沖縄県保険者協議会**  
(上原理事)

3月26日(金) WEB <資料配布>

沖縄県内の保険者の加入者(被保険者)に係る健康づくりの推進にあたって、保険者間の問題意識の共有や、それに基づく取り組みの推進等をはかるとともに、沖縄県医療計画の策定または変更、沖縄県医療費適正化計画の策定または変更にあたっての意見書提出などを行うことを目的とする協議会である。特定健康診査項目情報提供事業(トライアングル事業)や、南城市が実施している慢性腎臓病重症化予防プロジェクトを参考に、本協議会の事業にできないかを話し合った。

**(13) 令和2年度第2回スポーツ医・科学委員会**  
(笠原理事)

3月26日(金) WEB <資料配布>

沖縄県スポーツ協会(旧:沖縄県体育協会)が開催している委員会であり、科学、栄養、アンチ・ドーピングなどの補助を行うサポートプログラム補助対象団体の選定等を行った。薬事情報センターの吉田典子氏と共にWebにて参加した。

**(14) 令和2年度九州厚生局・沖縄県・薬剤師会連絡会議**  
(宮城常務理事)

3月29日(月) 県薬 <資料配布>

令和2年度個別指導実施結果報告や令和3年度個別指導の実施方法について話し合った。集団的個別指導は昨年度に引き続き、CD-Rを送付し各自で視聴する形式とする。また、令和4年度診療報酬改定説明会はYouTubeで開催予定である。

**(15) 令和2年度第6回広報委員会**  
(大城次長)

3月29日(月) 県薬 <資料配布>

主に、おきなわ薬剤師会報(令和3年3.4月号:307号)の編集を行った。巻頭言は島袋理事が執筆。トピックスとして新型コロナウイルスワクチン専門電話相談業務が開始されたことを掲載。会務ハイライトは3月に開催された第83回臨時総会の報告記事とした。また、抗菌剤を扱う企業から広告掲載の希望があり、同抗菌剤の成分等について薬事情報センターに文献・エビデンス等の確認をさせることとした。国の認可を受けていないこと、掲載することで本会が推奨しているように捉えられることの事由により、今回は掲載を見送ることとなった。

**(16) 沖縄県保健医療部衛生薬務課長来訪**  
(亀谷会長)

3月30日(火)・4月5日(月) 県薬

3月30日に新城光雄課長が退任の挨拶、4月5日に田端亜樹課長が就任の挨拶で来訪された。

**(17) 令和2年度第3回健康サポート薬局推進委員会**  
(笠原理事)

3月30日(火) 県薬 <資料配布>

健康サポート薬局のモデル薬局整備事業と訪問薬剤管理指導推進事業ならびに九州山口地区薬剤師会主催の在宅医療推進協議会の報告を行った。今後、健康サポート薬局のモデル薬局の整備について、会営薬局うえはらに拘らず、会営薬局委員会と連携して模索していく。

(18) 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種体制整備についての会議

＜資料配布＞

(吉田理事)

4月1日(木) 沖縄県医師会

主に、新型コロナウイルスワクチン接種体制の状況について各地区医師会より報告があった。医療従事者と高齢者の優先接種を並行して行っているため、人手不足であるとのこと。本会へ、ワクチンの溶解作業やシリンジへの充填作業等の協力依頼があった。

(亀谷会長)

沖縄県立中部病院の本村和久医師より、離島でのワクチン接種時の薬剤師派遣の依頼があった。

(19) 沖縄県内離島市町村における新型コロナウイルスワクチン接種に係る協力について

(亀谷会長)

4月6日(火) 県薬 ＜資料配布＞

沖縄県保健医療部より大城玲子部長、森近省吾副参事が薬剤師の派遣依頼のため来訪された。

(吉田理事)

離島診療所への薬剤師派遣要請がある。週3回程度Web会議にて調整中である。

(20) 社会保険診療報酬支払基金運営委員会

4月7日(水) 書面開催 ＜資料配布＞

(亀谷会長)

昨年度までは幹事会という名称であったが、沖縄支部が福岡支部へ統合されたことにより運営委員会となった。参与に仲間秀美氏、沖縄支部長に黒島健作氏が就任した。

(21) 令和3年度日本薬剤師会有功賞（個人）の授賞について

＜資料配布＞

(大城次長)

本会から、安富祖勇、玉那覇康三郎、川武政子、新垣美恵子、伊集俊雄、森根美智子、浜元朝孝、與座圭子、長嶺義一、吉田久子、我喜屋宏、金城喜榮、渡嘉敷見、山内昌彦の14氏が授賞。例年、伝達授与を6月の定時総会懇親会もしくは熟年の集いにて執り行っているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、発送にて対応する。

(22) 令和2年度事業報告提出期限について

＜資料配布＞

(大城次長)

6月の定時総会の議題資料に係る令和2年度事業報告の提出について、4月16日を提出期限としていることから、未提出の地区薬剤師会と部会はできるだけ早めに提出していただきたい。

(23) 地区薬剤師会及び部会の代表理事の選出について

(大城次長)

6月の定時総会の議題に係る新理事の選任について、各地区薬剤師会・各部会から代表理事を選出し、4月19日までに事務局へ提示していただきたい。

(24) その他

(金城常務理事)

医療従事者の2回目の優先接種において副反応が多数発生しており、高齢者や一般接種が始まると問い合わせがさらに増えることが予想されるため、新型コロナウイルスワクチン相談センターでは情報を常に更新できるような体制を確立していただきたい。



## 報 告 (薬連)

### (1) 日本薬剤師連盟令和2年度定時評議員会

3月24日(水) 書面表決 <資料配布>

(亀谷会長)

主に、神谷まさゆき氏の紹介者名簿の収集方法についての会議であった。

### (2) 西銘恒三郎衆議院議員との意見交換会

4月10日(土) 県薬

(亀谷会長)

本会からは県内国公立大学への薬学部(科)創設の要請をした。今年予定されている衆議院議員選挙で、西銘議員を当選させることが本会の利益となるため、強力に応援していく。

## 転載記事

沖縄タイムス 令和3年4月28日(水)

琉球新報 令和3年4月28日(水)



## 薬決済アプリと連携 来月から 沖縄と県薬剤師会

沖縄銀行は、同行のスマートフォン決済アプリ「OKI Pay(オキペイ)」で、調剤薬の予約から支払いまでを完結できるサービスを5月10日から始める。県薬剤師会のお薬管理アプリ「おきなわ電子おくすり手帳」と連携。スマホで撮影した処方箋の画像を薬局へ送信して予約。予約した調剤薬の支払いもスマホ

ででき、薬局での待ち時間の解消や、人との接触を減らすことができる。電子おくすり手帳は、県内で2019年から稼働しており、薬局20軒が導入している。利用した薬やアレルギーなどの情報をスマホに記録することで、安全な薬利用が期待できる。調剤薬の予約ができるが、支払い機能はない。オキペイとの連携で、支払いまでできるようになった。利用者は、薬局で調剤薬を受け取るだけで済み、人との接触を減らせるほか、薬局の業

務負担も軽減できる。オキペイをダウンロードし、沖縄の口座を登録して利用する。薬局は、オキペイと電子おくすり手帳の両方の導入が必要で、一定の費用がかかる。沖縄デジタル事業部の砂川雄一郎部長「写真左」と県薬剤師会の西川裕常務理事「同右」が27日、沖縄タイムス社を訪れ、PRした。砂川部長は「国はICTを活用した薬の管理を進めているが、ユーザーに高齢者が多いということもあり、まだ進んでいない。薬局にも説明して県内で広げていきたい」と話した。

処方箋撮影▽▽薬局に送信▽▽薬受け取り  
**オキペイ、お薬手帳連携**  
沖縄銀行(山城正保頭取)の電子決済アプリ「OKI Pay(オキペイ)」と、ファルモ(東京、広井嘉栄代表)が提供するアプリ「おきなわ電子おくすり手帳」が連携し、スマートフォンで調剤予約ができるサービスを5月10日に開始する。  
オキペイアプリを立ち上げて処方箋を撮影し、加盟店に画像を送ると、指定した時間に受け取りが可能となる。服薬する薬のデータも「おくすり手帳」に蓄積される。調剤

## スマホで調剤予約

### 来月10日サービス開始

までの待ち時間の短縮のほか、スマホで服薬履歴が手軽に確認できることから、介護や子育てで家族の薬の管理などにも活用を期待している。「おきなわ電子おくすり手帳」は県薬剤師会が推奨するアプリで、オキペイで調剤予約して薬を受け取ると、薬局側が調剤した薬のデータをおくすり手帳アプリ内に書き込む仕組み。オキペイ、おくす



沖縄によると、オキペイで調剤予約ができる薬局は、今月27日時点で主に本島中南部の22店舗だが、薬剤師会と連携して加盟店舗を全県に広げていく考え。調剤後にオキペイアプリを使って、沖縄の口座から引き落としで決済が可能となるサービスも順次展開していく。県薬剤師会の西川裕常務理事は「利便性の向上につながるほか、なるべく接触しないで薬を受け取れるようになる」と語った。沖縄デジタル事業部の砂川雄一郎部長は「おくすり手帳アプリとの連携で、より利便な機能が追加された。多くの調剤薬局で広がってほしい」と語った。

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。



転載記事

沖縄タイムス 令和3年6月22日（火）

**前濱さん 薬剤師会長**

**薬学部創設に意欲**

県薬剤師会の新会長に、  
宜野湾市内で薬局を経営する  
前濱朋子さん

前濱会長は「県内は極端な薬剤師不足。薬剤師になるためには県外の大学に行かないといけない。人材育成や保護者らの負担軽減のため、地元の国公立大学への薬学部創設を実現させたい。関係機関への働き掛けに力を入れたい」と抱負を述べた。

前濱会長は「県内は極端な薬剤師不足。薬剤師になるためには県外の大学に行かないといけない。人材育成や保護者らの負担軽減のため、地元の国公立大学への薬学部創設を実現させたい。関係機関への働き掛けに力を入れたい」と抱負を述べた。

前濱会長は「県内は極端な薬剤師不足。薬剤師になるためには県外の大学に行かないといけない。人材育成や保護者らの負担軽減のため、地元の国公立大学への薬学部創設を実現させたい。関係機関への働き掛けに力を入れたい」と抱負を述べた。

沖縄タイムス 令和3年7月7日（水）

**「薬学部創設実現したい」**

**県薬剤師会 前濱新会長が抱負**

県薬剤師会の前濱朋子会長が  
6月29日、就任あいさつで那覇市  
の沖縄タイムス社を訪れた。

6月20日の総会後に開かれた臨時理事会で承認された。任期は2年。

前濱会長は「県内は極端な薬剤師不足。薬剤師になるためには県外の大学に行かないといけない。人材育成や保護者らの負担軽減のため、地元の国公立大学への薬学部創設を実現させたい。関係機関への働き掛けに力を入れたい」と抱負を述べた。

新型コロナウイルスのワクチン接種などで、薬剤師の業務内容の認知度が高まっているという「若い薬剤師が幅広い業務に積極的に関わろうとの意欲があり、いい傾向。薬や衛生面のことについて、県民が気軽に相談できる薬剤師、薬局づくりを目指す」と話した。

琉球新報 令和3年6月30日（水）

**薬学部創設へ  
意気込み語る**

**県薬剤師会の前濱新会長**

20日付で県薬剤師会の第20代会長に就任した前濱朋子さん(58)＝写真＝が29日、就任あいさつで那覇市泉崎の琉球新報社を訪れた。

「先輩たちの後を継いで頑張りたい」と抱負を語った。

県薬剤師会によると、沖縄の人口10万人あたりの薬剤師の数は全国最下位。県外の大学で薬剤師の資格を取った後に、沖縄に戻らず県外で就職する学生も多いという。

前濱会長は「県内の国公立大学に薬学部をつくると、仕送りや学費の負担は減る。子どもたちの進路の選択肢も増やせる。薬学部創設のために活動を進めていきたい」と話した。

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。



## 転載記事

「多様な能力発揮」の項目に薬剤師確保関連事項が盛り込まれています。

### 次期沖縄振興計画素案（基本施策の要約）

#### 沖縄らしさ

クリーン・再生可能エネルギーの導入を拡大し、脱炭素化を推進する。廃棄物3R（リデュース、リユース、リサイクル）を積極的に推進。電気自動車（EV）などを普及促進する。本島北部や西表島の世界自然遺産登録を見据え、自然環境保全の体制と適正な観光地マネジメントに取り組む。海の恵みを利用した持続可能な社会経済開発「ブルーエコノミー」を推進するため、海底鉱物資源や海洋バイオ分野の研究開発などを強化し、新たな産業を創出。海洋政策推進の拠点となる国の「海洋政策センター（仮称）」を構想する。

自然・歴史・文化を網羅した体系的な歴史書「新沖縄県史」と琉球王国時代の外交文書集「歴代宝案」の編集刊行に取り組む。

中城御殿跡や円覚寺跡を整備し、首里城に象徴される琉球の歴史や文化を体感できる歴史的空間を創出する。

#### 安全・安心

子どもの貧困の解消に向け、放課後児童クラブ利用料等の負担軽減に取り組む。母子健康包括支援センター（子育て世代包括支援センター）の市町村への設置を促進する。県内全域で質の高いがん医療を提供するため、一定の要件を満たす医療機関をがん診療連携拠点病院として整備する。

新型コロナウイルスなど新興感染症等の拡大に備えるため、感染症専門医や感染管理認定看護師を養成。ひきこもりの実態把握に向けて、市町村との連携体制を強化し、効果的な調査や支援が行える体制づくり。ジェンダー平等の実現と性の多様性の尊重、地域コミュニティの活動支援に取り組む。

米軍施設での水質、大気質、土壌質、環境汚染の測定・監視等を継続し、調査結果に基づき、米軍等関係機関に対し環境汚染の防止対策を求める。

#### 希望と活力

県民所得の着実な向上につながる企業の「稼ぐ力」を強化する。デジタルトランスフォーメーション（DX）やイノベーション（技術革新）の促進による生産性向上、経営基盤強化、有機的な企業間・産業間の連携で付加価値を生み出す。

世界から選ばれる持続可能な観光地形成と沖縄観光の革新を目指す。感染症などのリスク、SDGs、ICTの進化など外部環境の変化に適応し、沖縄のソフトパワーを生かす。情報通信関連産業の高度化・高付加価値化を図る。アジアのダイナミズムを取り込む国際物流拠点を形成し、臨空・臨港型産業を集積する。科学技術イノベーションの創出と次世代を担う産業、亜熱帯海洋性気候を生かした農林水産業の振興。スポーツ関連産業の振興による「スポーツアイランド沖縄」を形成する。自立型経済の構築に向けた社会基盤の高度化とネットワークの形成を図る。

#### 交流と共生

焦土化した凄惨な地上戦の歴史から得た平和への思い、基地と隣り合わせの日常の中で生じた平和を希求する「沖縄のこころ」を国内外へ発信する。独自の地域協力外交や平和発信拠点としての役割を担い、新時代の平和構築に貢献することを目指す。

戦跡として唯一の国定公園である沖縄戦跡国定公園を中心とした戦跡の保存・活用など平和発信地域を形成する。当該国定公園の特別地域の範囲の見直しを図るなど、平和の発信と歴史的風景の保全を両立する。平和につながる社会貢献活動に取り組む個人・団体を「ちゅらつちな草の根平和貢献賞」として表彰する。世界に広がるウチナーネットワークのさらなる発展・継承を図る。県系人のルーツ調査をはじめとする歴史継承等を多言語で担うプラットフォームの構築に取り組む。

#### 多様な能力発揮

いつ・どこでも学びを深められる環境が形成され、生まれ育った地域や社会のつながりを大切にする豊かな心を持った人づくりを目指す。地理的・経済的要因に左右されず学びを享受できる環境構築を推進する。沖縄文化の基層となる「しまくとぅば」の普及促進に向け小・中・高校でのしまくとぅば教材を活用した学習活動の支援を図る。離島などで公平な教育機会の確保に向け複式学級を有する小学校への非常勤講師の派遣に取り組む。

県内で薬剤師が育成できるよう、県内国公立大学への薬学部設置など、総合的な薬剤師確保を目指す。一人一人のニーズに応える特別支援教育の充実を目指す。インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進に向け、連続性のある多様な学びの場を踏まえた就学支援、個別的教育支援計画の作成と活用などに取り組む。



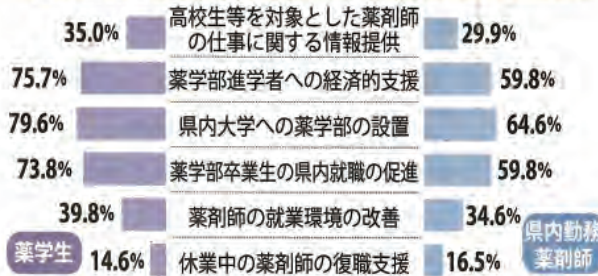
# LIFE

月～木曜日に掲載

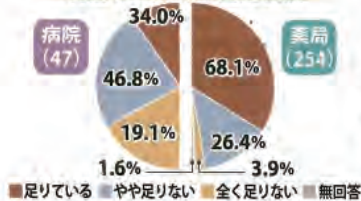
## 県内47病院の7割「薬剤師が不足」

## 県、薬学部は「必要」

県内就職希望者を増やすために必要なこと(複数回答)



現在の薬剤師の充足状況



薬剤師が不足しているという回答した病院にその影響で発生し得る問題を複数回答で尋ねると「病棟患者への対応ができない」が68・1%で最も多く、「薬剤師の時間外勤務の増加」(59・6%)、「チーム医療に参画できない」(57・4%)と続いた。薬の調剤や

## 国公立大学に設置望ましい

薬学部がない県内大学への薬学部設置の可能性や必要性を県の2020年度調査で、回答した県内47病院の約7割で「薬剤師が全く足りない」とし、「やや足りない」を合わせると65・9%に上ることが分かった。国全体の薬剤師は充足傾向にあり将来的には供給過多が見込まれる一方で、県内の薬剤師数は需要が供給を上回り、その差は拡大する予測。県は人材養成の基盤となる薬学部の必要性は高いと結論づけ、経営の安定性や学費が比較的低廉なことなどを理由に県内国公立大への設置が望ましいと指摘した。

(学芸部・新垣綾子)

## 20年度 県調査

## 病院や高校生など対象に

### 調査の方法

調査は昨年10月から今年1月にかけて実施。①県内の病院の県内の薬局③県内の高校生と予備校生、その保護者④県出身の薬学生⑤県内の病院や薬局に勤務する薬剤師を対象にした6種類の調査票を

調査は昨年10月から今年1月にかけて実施。①県内の病院の県内の薬局③県内の高校生と予備校生、その保護者④県出身の薬学生⑤県内の病院や薬局に勤務する薬剤師を対象にした6種類の調査票を

調査は昨年10月から今年1月にかけて実施。①県内の病院の県内の薬局③県内の高校生と予備校生、その保護者④県出身の薬学生⑤県内の病院や薬局に勤務する薬剤師を対象にした6種類の調査票を



琉球大の大城学長(左)と、右に薬学部設置を求める要請書と署名を手渡す県薬剤師会の代表(右から2人目)。県医師会、県薬剤師会、県看護協会、県歯科医師会、県歯科協会の関係者も同席した。2018年6月、西原町の琉球大

### 経済的負担の壁

大学進学率が高い県内18高校の2年生や予備校生らに薬

学部への関心について問うと、計9%が「第一志望」または「志望学部の一つ」と答えた。薬学部に関心を持ったことがある生徒も32・4%を占めた。

薬学部のある大学は全国に約80あり、20年度の学費水準をみると、国公立大で初年度納付金が約70万～100万円、学費が6年間で総額350万円前後。私立大になると初年度納付金が約170万～260万円、学費が約930万～1400万円に上り、県出身者はさらに家賃などの生活費が加わる。

### 専門家に聴取へ

県出身薬学部卒業生の県内就職を増やすために必要な取り組みを複数回答で質問すると県内大学への薬学部設置と答えた割合が、県出身薬学生で79・6%、県内勤務の薬剤師で64・6%となり、いずれも最多だった。

ており、優秀な人材がより多く県内で活躍できる環境を整えるため、行政と大学が協力し具体的に動いてほしい」と語った。

沖縄タイムス 令和3年6月2日(水)

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。



転載記事

THE YAKUJI NIPPO (Pharmaceutical News)

2021(令和3)年6月25日 金曜日 ©



月刊 発行  
薬事日報社

東京本社 〒101-8648  
東京都千代田区神田和泉町1  
☎ (03) 3862-2141  
☎ (03) 5821-8757  
大阪支社 〒541-0045  
大阪市中央区道修町2-1-10  
☎ (06) 6203-4191  
☎ (06) 6233-3681  
購読料 半年19,764円  
(税込) 1年36,234円

きょうの紙面

外来業務の評価要望

日病薬……………②

職域接種へ体制構築

日本調剤……………⑥

プログラム機器承認

海外と時間差…⑦

特集 ④～⑤

〈医療の動向〉

本号8ページ

# 薬学部新設「必要性高い」

## 複数の国公立大が候補に

沖縄県は、県内に薬学部を新設する必要性は高いとする調査結果を踏まえた報告書を取りまとめた。県内の慢性的な薬剤師不足の解消には薬学部が必要としている。設置大学の候補として、国立琉球大学、公立名桜大学などを検討中。今年度も継続して調査を実施し、薬学部設置の方向性を具体化したい考えだ。

## 設置可能性は未知数

### 沖縄県が報告書

沖縄県の人口10万人当たりなど、薬学部新設に向けたりの薬剤師数は全国で最下位と少ない。2018年には、県内の薬剤師会や医師会、歯科医師会、看護協会が薬学部新設を求める約10万筆の署名を県に提出。県をまとめた。それによると、県内における薬剤師の

意向を聞いたところ、薬学部を志望する高校生の約3割と保護者の約6割が「進学に当たって学費が心配」と回答した。薬学部進学を希望していても、県内に薬学部がないため、必要な学費や生活費などを用意できず、進学を断念せざるを得ない人もいることが浮き彫りになった。

現役薬剤師を対象にした調査でも、県内の病院と薬局に勤務する薬剤師約130人のうち、約6割が県内就職希望者を増やすために県内大学への薬学部の設置が必要と回答した。

これらの調査結果から、県は報告書で「薬学部設置の必要性は高い」と言及。経済的な負担が小さい「国公立大学への薬学部設置が望ましい」としている。県保健医療部衛生業務課の池間博則氏は、「薬学部を設置できれば、諦めずに目指したいと考える高校生も増えるのではないかと語る。県外に進学したまま、就職時に沖縄に戻ってこないことも薬剤師不足の調査事業等の結果を踏まえて、琉球大や名桜大などに原因の一つとして考えられるため、「薬学部新設でそれを防ぎたい」という。

現在、薬学部設置の筆頭候補として、県が検討している大学は、国立琉球大学と公立の名桜大学。琉球大には医学部と附属病院があり、名桜大の近隣には公立の基幹病院が整備される予定で、将来実務実習の環境を整備しやすい。県立看護大学も候補になっているという。

今年度以降、県は引き続き薬学部設置の具体化を検討する。薬学部設置に向けた課題と解決手法の整理、経済波及効果の分析、有識者からの意見聴取、今後取り組むべき事項を整理したアクションプランの策定等を進める計画だ。

池間氏は「薬学部を設置できるか」とは思うが、可能性は未知数。今年度の調査事業等の結果を踏まえて、琉球大や名桜大などに原因の一つとして考えられるため、「薬学部新設でそれを防ぎたい」という。



## 転載記事

2021年5月28日金曜日

PHARMACY NEWSBREAK 1901号



薬局・薬剤師のためのニュースメディア

© 2021じほう

PHARMACY NEWSBREAK

株式会社 じほう

弊社の許諾なしに、転送・転載、複写その他の複製、翻訳、およびデータの使用は固くお断りいたします

## ■県「新設の必要性高い」、開設費用は130億円と試算 沖縄初の薬学部設置、具体化へ

沖縄県は、県内の国公立大に薬学部を新設する計画を具体化していく。薬学部設置の必要性などに関する昨年度調査の報告書を25日付で公表。薬剤師需給などの調査から、「新設の必要性は高い」と判断した。1学年100人と仮定すると、開設費用として約130億円が必要となるという試算も実施。今年度中に各大学での設置の可能性や課題を整理し、新設に向けたロードマップをまとめる。実現すれば県内初の薬学部設置になる。

検討対象になる大学は、琉球大や県立看護大など。現実的に薬学部を新設できるか個別にヒアリングするほか、新設する際の課題などを確かめる。

昨年度の調査では、県内の薬剤師需給について「国全体での需給予測結果とは異なり、需要が供給を上回る形で推移し、将来的に差は拡大する」と指摘。さらに供給量が抑制されれば「沖縄県への薬剤師供給が今以上に厳しい状態になる」と予測し、薬学部の必要性は高いと結論付けた。

進学需要も調査。大学進学率の高い高校の生徒向けのアンケートによると、およそ1割が薬学部進学を志望し、薬学部に関心を持ったことがある生徒も3割ほどいた。県内に薬学部が設置された場合は、「選択肢の一つ」「選択肢になり得る」など、進学に前向きな考えを示した生徒が7割を超えた。

また、薬学部に進学する場合は県外進学になるため、経済的な負担の大きさから進学を断念せざるを得ない生徒もいる現状も浮かんできた。そのため県は、「県内の国公立大に新設する意義は大きい」と判断した。

併せて、新設を想定した収支の試算も実施。1学年100人、専任教員55人と仮定し、新たに建物を建造する場合、開設費用として約128.5億円が必要になるという。ランニングコストは年間約12.3億円に上り、「6学年がそろふまでの間はランニングコストとのバランスがとれずに、歳入不足となる可能性もある。不足を補う仕組みが必要」としている。

沖縄県は人口10万人当たりの薬剤師数が全国最下位。県薬剤師会など四師会は県内の薬学部新設を求める署名活動を展開した。県も人材育成などに関する基本計画に「薬剤師の確保」を盛り込み、昨年度は、初となる薬剤師需給と薬学部の必要性に関する調査も行った。

※株式会社じほうが記事利用を許諾しています。[許諾番号 20210528\_01]

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

転載記事

琉球新報 2021年5月23日

吉田 洋史 県薬剤師会理事



薬剤師希望の学生が増えたという話は、とてもうれしく思いました。人口当たりの薬

昨年、日本のドラマ史上初となる病院薬剤師を主人公にした連続ドラマ「アンサング・シンデレラ」（石原さとみさん主演）が放映されました。患者にとって「最後の砦」ともいえる薬剤師。決して脚光を浴びることはありませんが、患者たちが「当たり前」の毎日を取り戻すために、縁の下の力持ちとして日々奮闘しています。

「裏方」への脚光 東風

薬剤師が全国一少ない沖縄県で、保管管理はもちろんシリの薬剤師は、普段から処方箋（注射筒）への充填作業、による調剤、一般用医薬品の消毒や換気などの環境衛生へ販売、学校薬剤師としての環境衛生検査や夜間休日薬局の当番、お薬相談、在宅医療と一人何役もこなしています。「薬があるところに薬剤師あり」と心に念じ、少ない人数で誇りを持って忙しく働いています。しかし、裏方のためか間違えずにできて当たり前。「アンサング」褒められない・感謝されない」の通り、姿も見えず、評価もされず、何をしていいるの？と思われ、寂しくなる時もあります。今回のワクチン接種に関し

1973年生まれ、大阪府出身。吉田薬局はんだがわ店管理薬剤師。県薬剤師会理事、那覇地区薬剤師会会長。県薬物乱用防止指導員、学校薬剤師、在宅訪問、お薬相談を行う。2015年7〜12月「南風」執筆。

◆このコラムは「南風」執筆者のOB・OGが担当します。

前濱朋子さん(57)

県薬剤師会会長



県薬剤師会では、ワクチン接種の最前線で、応援体制を整えています。集団接種会場や離島に会員を派遣し、主にワクチンの充填業務に当たっています。県から委託された相談窓口も設けており、ワクチン接種で不安なことがあればお気軽にご相談ください。

沖縄タイムス  
令和3年7月1日（木）

地域の人々に感謝

疲労あるが使命

もうひと踏ん張り

県民の応援励み

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。



## 転載記事

本会会員が東京五輪聖火リレーで希望の火をつなぎました。

沖縄タイムス 令和3年5月2日（日）

### 沖縄 聖火リレー 第1日

# 希望の火 98人快走

東京五輪に向けた聖火リレーが1日、県内でスタートした。初日は名護市の会場と石垣市の公道で県出身著名人や県民ら98人がトーチを掲げ、それぞれの思いを胸に

「希望の火」をつないだ。2日目は糸満市の平和祈念公園、座間味村の古座間味ビーチで80人で予定される。



スタートを前にランナーに声援を送る家族＝1日、名護市民会館周辺（伊禮健撮影）

沖縄タイムス 令和3年5月3日（月）

### 沖縄 聖火リレー 第2日



奈良本清佳さん（41）  
那覇市

琉球新報  
令和3年5月2日（日）

琉球新報  
令和3年5月3日（月）



上原卓朗さん（38）  
沖縄市

上原卓朗さん（38） 沖縄市



地元で薬局を営んでいる。戦争を知らない世代だが、平和の心をどう伝えていくべきか考えていた。オリンピックを通じて、平和な心を伝えたい。

奈良本清佳さん（41） 那覇市



薬剤師として医療や子どもたちのための活動に積極的に貢献できた10年だった。この機会に沖縄人として発展に貢献できたと思った。

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。



ぶれいく  
たいむ



地元紙に掲載された会員の投稿を紹介します！

琉球新報 令和3年6月30日（水）

# 沖縄戦に思い

新垣 正次 86歳

悲惨を極めた沖縄戦から76年目の慰霊の日を迎えた。忌まわしい沖縄戦で、わが家でも父と兄、叔父の3人を失うことになった。兄は県立一中の2年生で上等兵として通信隊に入隊した後、どこで、どのような死に方で死んでいったのか分からないまま、いまだに行方知れずである。

いつも沖縄へ心を寄せてくれる精神科医の香山リカ氏が6月13日付の日曜の風で「沖縄戦思いをさせて」のタイトルで述べている。たとえ100年たとうが、私たちは「なぜ戦争が起きたのか、なぜ沖縄戦だけが地上戦の戦禍を被らなければならなかったのか」と考え続けなければならぬ。そうしなければ、本当に明るい未来などつくることはできないからだという。私も彼女の言葉に賛意を示したい。

「過去を忘れる人に未来はない」という言葉がある。慰霊の日はいま一度、沖縄戦に思いをはせる一日としたい。（那覇市、薬剤師）



## ワクチンに思う

池間きよ (74)

本紙で沖縄コンベンションセンターでの集団接種の予約率が約6割で、10%以下の日も何日もあるという記事を見て目を疑った。

沖縄県は新型コロナウイルス感染率全国一、ワクチン接種率全国最下位であるにもかかわらず接種会場がガラガラとは理解し難い。

総合病院ではコロナ感染者の増加に対応するため、外来診療や入院受け入れ制限をして、一般病棟をコロナ病棟に振り分けて、必死に頑張っている。外来診療の閉鎖の影響で予定されていた手術が急きょキャンセルになった方もいると聞いている。

コロナワクチン関連で莫大な国家予算が投入されている。日々の紙面ではもつとワクチン接種に関する情報も伝えてほしいと思う。私たち世代はネットから情報を得ることは、とても苦手なのだ。

浦添市からワクチン接種券が送られてきたのは4月ごろだったと思う。予約日は受け付け開始からわずかの時間で締め切りになった。次回予約日は、約1カ月後と知った時、いつになったらワクチン接種ができるのかと絶望的になった。周りの人も状況は同じだ。中には100回以上電話したけどつながらなかったという人もいた。

それがコンベンションセンターで集団接種ができるようになり、拍子抜けするほど簡単に予約ができた。「ワクチン接種1回目やつてきたよ、もう1回済んだら孫にも会える」。友達は晴れ晴れとした表情を浮かべていた。

（浦添市）

2021・7・1 沖縄タイムス

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

職員人事

## 沖縄県薬剤師会職員永年勤続表彰



沖縄県薬剤師会職員5氏に、入社以来十年間勤続し業務に励み本会の発展に多大な貢献をした功績を讃え、亀谷浩昌会長から賞状と副賞が授与された。



左から、稲嶺 有紀氏（事務局）、長嶺 勇作氏（事務局）、亀谷 浩昌会長、山口 和佳子氏（会営薬局とよみ事務）、高良 美佐子氏（会営薬局うえはら事務）、上野 邦子氏（会営薬局とよみ事務）

訃報

生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

大城 知也 先生（享年47歳） 令和3年4月19日ご逝去



### 会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

会員及び一親等の親族・配偶者のご不幸は、下記まで御一報下さい。  
（香典・生花等の手配があります）

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしくお願いします。

【連絡先】 沖縄県薬剤師会事務局：098-963-8930

**令和3年4月**

- 1木○ 新型コロナウイルスワクチン接種体制に関する会議 沖縄県医師会 亀谷会長、吉田理事、大城次長、長嶺主任
- 5月○ 沖縄県保健医療部衛生薬務課長来訪 県薬会長室 亀谷会長、田端亜樹課長、池間博則薬務専門監、津波昭史主幹、大城次長
- 5月○ 令和3年度第1回幹事会 県薬研修室
- 6火○ 沖縄県保健医療部長来訪 県薬会長室 亀谷会長、大城次長
- 7水○ 社会保険診療報酬支払基金 運営委員会 書面開催 亀谷会長
- 7水○ 社会保険診療報酬支払基金沖縄支部より来訪 県薬会長室 亀谷会長
- 10土○ 令和3年度第1回理事会 県薬研修室
- 11日○ 令和3年度第1回学校薬剤師部会役員会 県薬研修室
- 11日○ 令和3年度学校薬剤師新人研修会 県薬ホール及びWEB 小泉主任検査技師、長嶺主任、事務局金城
- 12月○ 令和2年度沖縄県地域医療介護総合確保基金事業実績報告監査 県薬会議室 大城次長、玉寄係長、事務局金城
- 13火○ 2021年度第1回九州・山口地区実務実習調整機構臨時総会 WEB 佐藤常務理事
- 15木○ 離島市町村における新型コロナウイルスワクチン接種体制確保に関する連絡会議の開催について 県薬研修室 亀谷会長、吉田理事、大城次長、長嶺主任
- 15木○ Diabetes Symposium 2021 in Okinawa WEB 主催：アストラゼネカ株式会社
- 16金○ 令和3年度第1回会営薬局委員会 県薬研修室
- 18日○ 令和3年度第1回新型コロナワクチン充填作業に係る研修会 県薬ホール 講師：吉田・中尾両理事
- 20火○ 管理者会議 県薬研修室 亀谷会長、城間・宮里・中曽根各管理薬剤師、吉田典子（DI）、大城次長、小泉主任検査技師、玉寄係長、當山主任
- 21水○ 沖縄県保健医療部医療政策課来訪 県薬会長室 亀谷会長、大城次長
- 22木○ 琉球血栓症セミナー WEB 主催：バイエル薬品株式会社
- 23金○ 令和3年度沖縄県立学校保健主事研修会 沖縄県立総合教育センター 講師：笠原理事
- 23金○ 健康サポート薬局研修担当者全国会議 TKP市ヶ谷カンファレンスセンター 盛本理事
- 28水○ 令和2年度沖縄県薬業連合会会計監査 県薬研修室 上間宏（沖縄県医薬品配置協議会理事）、久保田輝雄（沖縄県医薬品登録販売者協会 顧問）、大城次長、玉寄係長
- 28水○ 第66回沖縄県薬業連合会理事会・総会 県薬研修室 亀谷会長、大瀬一修（沖縄県医薬品卸業協会 会長）、米村一成（沖縄県医薬品登録販売者協会 会長）、前里忍（沖縄県医薬品配置協議会 理事）、上間宏（沖縄県医薬品配置協議会 理事）、久保田輝雄（沖縄県医薬品登録販売者協会 顧問）、大城次長、玉寄係長
- 28水○ スポーツ 医・科学サポートプログラム説明会（沖縄県スポーツ協会主催） WEB 吉田典子（DI）
- 30金○ 令和3年度第1回九州山口地区薬剤師会薬局実務実習受入調整機関運営委員会 WEB 佐藤・宮城両常務理事、兼城崇
- 30金○ おきなわ電子おくすり手帳及びOKIPayに関する説明会 県薬ホール及びWEB 西川常務理事、長嶺主任



**令和3年5月**

- 6木○ 令和3年度第2回幹事会 県薬研修室
- 7金○ 令和3年度第1回沖縄県がん診療連携協議会 WEB 亀谷会長
- 7金○ 令和2年度下期監事監査 県薬研修室 亀谷会長、川満理事、神谷・江夏両監事、大城次長、玉寄係長、上原主任、事務局城間
- 7金○ 令和3年度第2回新型コロナワクチン充填作業に係る研修会 県薬ホール 講師：吉田・中尾両理事
- 8土○ 令和3年度第2回理事会 県薬研修室
- 12水○ 令和3年度第1回日本薬剤師会都道府県会長協議会 日本薬剤師会 亀谷会長
- 12水○ 社会保険診療報酬支払基金 運営委員会 書面開催 亀谷会長
- 12水○ 心不全の医療連携を考える WEB 主催：小野薬品工業株式会社
- 13木○ 中部地区CKD診療を考える会 WEB 主催：アストラゼネカ株式会社
- 16日○ 令和3年度第2学校薬剤師部会役員会 県薬部会室
- 17月○ 令和3年度第3回新型コロナワクチン充填作業に係る研修会 県薬ホール 講師：吉田・中尾両理事
- 19水○ 心不全地域医療連携セミナー in OKINAWA WEB 主催：アストラゼネカ株式会社
- 20木○ 沖縄県循環器病対策推進協議会 沖縄県医師会及びWEB 亀谷会長（現地）、前濱理事（WEB）
- 20木○ 薬剤師オンラインセミナー WEB 主催：大鵬薬品工業株式会社
- 20木○ 腎疾患医療連携オンラインセミナー WEB 主催：アストラゼネカ株式会社
- 21金○ 令和3年度第1回九州山口各県薬代表者会議 WEB 亀谷会長
- 21金○ 九州ブロック日薬代議員予備会議 WEB 亀谷会長
- 21金○ 九州山口地区薬剤師会薬局実務実習受入調整機関定時評議員会 WEB 亀谷会長
- 24月○ 令和3年度第2期薬局実務実習オリエンテーション 県薬ホール 佐藤・宮城両常務理事、兼城崇
- 27木○ 琉球大学後援財団・新田早苗常務理事訪問 琉球大学後援財団 佐藤常務理事、前濱理事、大城次長
- 27木○ 地元紙より取材（沖縄タイムス） 県薬会長室 亀谷会長
- 27木○ Expert Meeting ～沖縄県の心房細動を考える～ WEB 主催：バイエル薬品株式会社
- 27木○ 令和3年度第4回新型コロナワクチン充填作業に係る研修会 県薬ホール 講師：吉田・中尾両理事

**沖縄県薬剤師連盟**

**令和3年4月**

- 10土○ 西銘恒三郎衆議院議員との意見交換会 県薬会議室
- 18日○ 全国薬剤師フォーラム WEB 名嘉紀勝
- 24土○ 國場幸之助と語る沖縄振興セミナー 沖縄県男女共同参画セミナー 亀谷会長、吉田理事
- 27火○ 公明党沖縄県本部来訪 県薬会長室 亀谷会長、大城次長

**令和3年5月**

- 13木○ 令和3年度日本薬剤師連盟全国会長・幹事長拡大会議 ZOOM 亀谷会長、石川幹事長
- 28金○ 沖縄県薬剤師連盟総務会 県薬研修室



## 誌上ギャラリー（裏表紙）について

上 「ジャカランダの街路樹」 photo by 成川 玲子（有限会社成和興産）  
撮影地：南アフリカ共和国ヨハネスブルクプレトリア

左下 「サンゴ砂」 photo by 栢井 亮太（ミルク薬局 天久店）撮影地：新原ビーチ（南城市）

右下 「森の妖精」 photo by 吉川 肇（ハーブ薬局 つかざん店）撮影地：ビオスの丘（うるま市）  
シャボン玉は息子に吹いて貰いました。親子の合作です。僕独りでは撮影出来ない写真です。

### 編 集 後 記

あおむけでトンネル（？）の中に入り、円盤のようなものが鼻にくっつきそうなくらい迫ってきた。うっわー、近い近い。するとトンネル内で響くゴゴゴ、ガッガッの音。なんなんだ、この騒音は。これからスペースシャトルの発射です、といわんばかりのSF仕立て。実はこれ、初体験！のMRI検査。幸い腱板断裂はなく、肩関節周囲炎と診断された。いわゆる五十肩である。それもあり悪い。完治するまで半年から1年かかるというのだ。甘く見ていた。五十肩は放っておいてもいつのまにか治るものだとタカを括っていたから……。整形外科で週3回のリハビリに通いながら、自分の身体に向き合ういい機会だと、前向きに考えることにした。だけど……。ゴルフがしたいな～。（クララ）

新しいランニングウォッチを買ってから「ジョギング毎月100km」（だいたい那覇から名護までを往復の距離）を目標に走っている。今月は梅雨らしい天気が続いていたのであまり走れず残り1週間であと30km。なんとか達成できるだろうと思っていたら27日から月末までずっと雷雨の予報。慌てて雨が降るまでの2日間で15kmずつ走ってなんとか100km達成。後からくる筋肉痛と疲労感で年を感じる。今年は梅雨が長引いていて、早くても梅雨明けは7/3以降になるとの予報。梅雨が明けたら沖縄は一気に夏！コロナで湿った空気もカラッと快晴！！となることを期待したい。（ハンバーグ）

とある土曜日の夜、サッカー元日本代表の本田圭佑選手が参加するオンラインイベントが開催されるという情報が舞い込んできた。”『成功の条件』for沖縄”というテーマに惹かれた私は、軽い気持ちでの参加を試みた。が、参加対象者が県内でスポーツに取り組む中学生から大学生までの25歳未満という縛りがあるではないか。当然のことながら、私とサッカーをしている小4の息子は除外。仕方がないので中1になる娘の名前と生年月日を使ってログイン（因みに娘はスポーツには取り組んでおらず、）。普段使い慣れたzoomとは異なり、音声のみでお互いの顔は分からないという形式だ。質問する際に音声ミュートボタンを解除すると司会者から指名され、質問に対して本田選手が回答するという流れで行われた。イベントが終盤に差し掛かった頃、どうせ指名されないだろう（参加者が200名超えたので）と安易な考えから、ミュートボタンを連打しまくっての猛アピール！結果なんと、指名されてしまったではないか！！娘の名前が連呼されるも、本人は入浴中で横におらず、代理として嫁に出てくれとジェスチャーを試みるも、拒絶モード全開のオーラが迸る。間が開いた状況に焦った私は即座に返答。や、やばい、声でバレてしまうと戸惑いながらも本田選手に質問をぶつけてみた。そこは娘のお父さんだと気楽に捉えてくれたのか、特に主催者からの指摘はなくおもわず安堵の息を漏らしたのであった。本田選手と対話する私の姿を見ていた家族からは「すごい！」の一言。テーマである『成功の条件』は満たせずとも、威厳は保たれたという結果オーライであった。（ごり）

今年も無事、総会が終わりました。関係各位、このコロナ禍で、手配などありがとうございました。さてそのコロナもワクチン接種が徐々に進み、状況もこれから変わっていくのではと思っているのですが、如何せん副作用の部分が接種を足踏みさせている印象があります。私も例にもれず、優先接種で打ったのですが2回目の接種では発熱と倦怠感が出てしまいました。これから接種する諸先生方も体調には十分お気を付けください。梅雨も明けこれからが夏本番!ばてずに頑張っていきましょう! (松)

今年は例年よりも早く梅雨がきました。梅雨は1年なかでも最も嫌いな時期です。外は雨が降り、ジメジメしているので買い物にすら行きたくありません。日常生活に必要な物もネットで購入し、仕事以外はほとんど外出しない生活が続いています。休日はネットショッピングやYoutubeを見たりと、パソコンやスマホの前で過ごす時間が長くなりました。その結果、視力が急激に落ちています。一包化の錠剤を鑑査している時に錠剤の印字が見えにくくなっており、気のせいと思っていましたが、ちゃんと視力が落ちていました。コロナ禍の中、WEBでの会議や講演会が増え、自分と同じように視力が落ちた方もいるのではないのでしょうか。一応、ブルーライトカットの眼鏡を買い、これ以上視力が落ちないように気を付けていこうと思いますが、効果があるかは不明です。これ以上視力が落ちないことを願っています。皆さんも視力の低下には気を付けましょう。(チャゲ)

私のまわりには薬剤師が数名いるので毎月毎月「会報」が数冊送られてくる。ほとんど皆「ツン読」する人ばかりで、中には未開封の物もあったりする。会報作成に気持ちだけでも関わっている身としては、簡単に処分することなどできず家に持ち帰るので「会報」がどんどんたまってしまい、ダンボールいっぱいになってしまった。私が広報委員として会報に関わるようになったのは、平成17年8月号からで、まるまるとした「ゴーヤー」の表紙が印象深く記憶に残っている。毎回表紙に何を使うかは、かなり気を使って考えていたので、表紙だけ並べてみてもなかなかの力作揃いで見応えがある。処分してしまうには余りに惜しい。表紙に使われたのは写真技術はセミプロ級といえる会員の写真とか、会員が作成した絵画もあった。今の「世界の薬局」シリーズに変わったのは2015年(平成27年)7.8月号からで、2～3年続けば良いだろうと思っていたが、皆様のご協力のおかげで6年間も続いていて、まだ当分は大丈夫だろうという大城さん(編集長?)の力強い言葉があり、嬉しい限りである。

(ピアナ)



平成17年8月号表紙「ちびゴーヤー」photo by 山城 恵子(久米島町)

## 沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 <http://www.okiyaku.or.jp> e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp  
**■事務局** TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 **■薬事情報センター** TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937  
**■会営薬局医療センター前** TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 **■試験検査センター** TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932  
**■会営薬局うえはら** 〒903-0125 沖縄県中頭郡西原町字上原241-1 TEL 098-946-1185 FAX 098-944-0567  
**■会営薬局とよみ** 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-3415

## おきなわ薬剤師会報

第308号 令和3年7月12日発行

◇次号は、令和3年8月中旬発行予定です。

**発行人：**沖縄県薬剤師会 会長 前濱朋子

**編集：**広報委員会 委員長／宮城敦子 委員／池間記世・石川恵子・伊敷松太郎・運天芳生・宮本直樹  
久米島通信員／山城晶 宮古地区通信員／前里由紀子 八重山地区通信員／坏徳子  
事務局／大城喜仁

**印刷：**株式会社 東洋企画印刷





## 誌上ギャラリー

(会員作品)

お気軽にご投稿下さい。

